

2022年3月期 投資家向け説明会

2022年5月13日
ソフトバンクグループ株式会社

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（Arm Limitedを含み、以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」 (https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）、SBLA Advisers Corp.（以下「SBLA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、それぞれSBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 1」または「SVF1」）と、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 2」または「SVF2」）を含み、また、SBLAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」）¹を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド 1 及びビジョン・ファンド 2 並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びバンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA、SBIA及びSBLAは、ビジョン・ファンド 2、ビジョン・ファンド 1 及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA、SBIA又はSBLAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独、SBIA単独又はSBLA単独で運用されています。

¹ 2022年4月22日より、ラテンアメリカ・ファンドについても、SVF2のオルタナティブ投資ビークルとしてSBGAとその関係会社が運用することとなりました。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4
1米ドル	107.74	105.88	104.45	106.24	110.00	110.47	113.60	117.10
1人民元	15.16	15.27	15.71	16.31	17.01	17.09	17.75	18.43
期末レート	2020/6月末	2020/9月末	2020/12月末	2021/3月末	2021/6月末	2021/9月末	2021/12月末	2022/3月末
1米ドル				110.71				122.39
1人民元				16.84				19.26

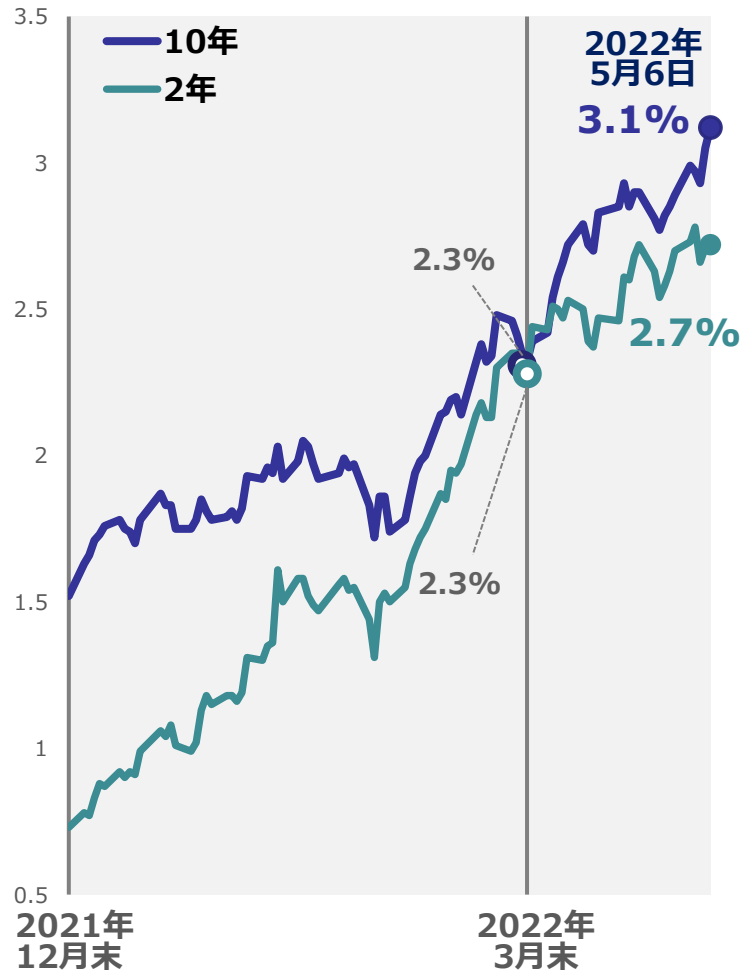
略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「株」を省略している箇所がある。

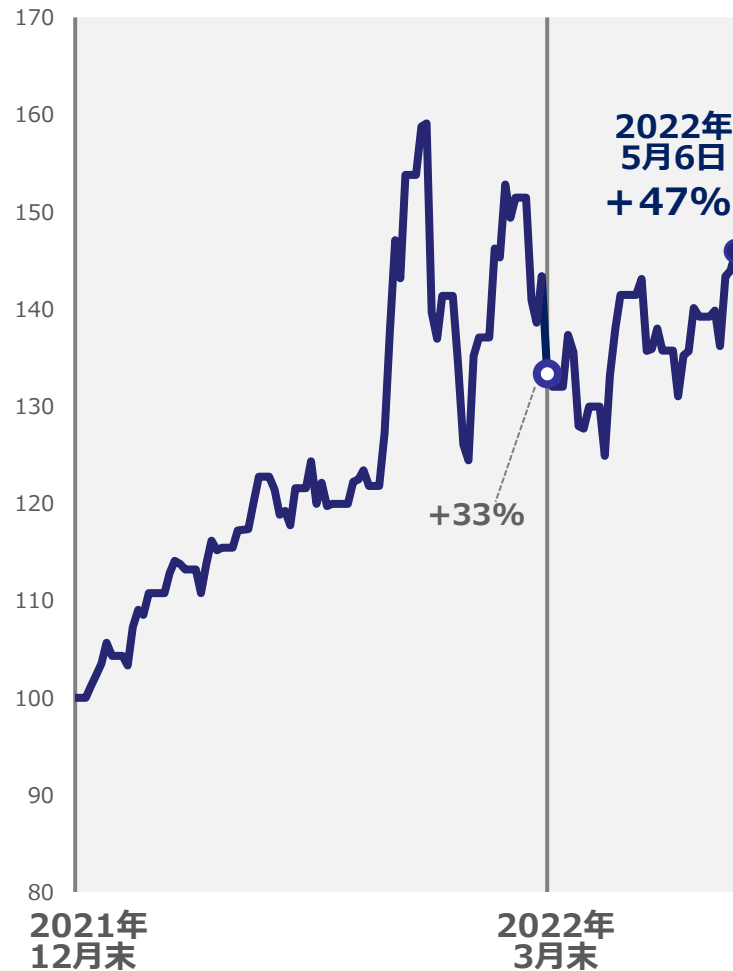
略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.および代替の投資ビークル
ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
SBGC	SoftBank Group Capital Limited
スプリント	Sprint Corporation
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アーム	Arm Limited
アリババ	Alibaba Group Holding Limited
WeWork	WeWork Inc.

環境認識について

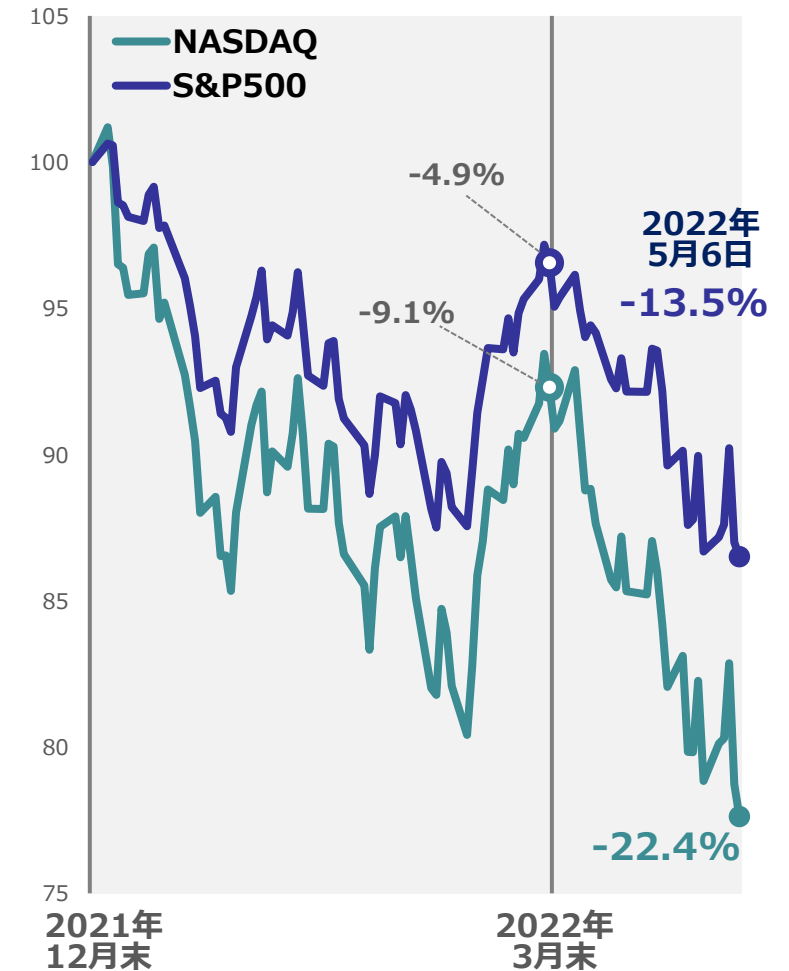
米国の金融政策の動向とロシア・ウクライナ問題による地政学リスクの高まり



米国国債金利



原油価格(WTI)
(2021年12月末を100として指数化)



NASDAQ総合指数・S&P500
(2021年12月末を100として指数化)

(注) S&P Capital IQを基に当社作成

環境認識について

米中両国の政策動向を受け、米国上場の中国株式は下落傾向

中国国内の規制および政策動向

- 21年 6月：データセキュリティ法可決
- 21年 8月：共同富裕の発表
- 22年 3月：全国人民代表大会（全人代）
- 22年夏頃：北戴河（ほくたいが）会議
- 22年秋頃：中国共産党第20回党大会

米国による中国企業への規制状況

- 20年12月：外国企業説明責任法制定
- 21年12月：外国企業説明責任法による情報開示義務の最終規則公表
- 22年3月：中国当局が規制遵守の姿勢を示す
- 22年5月：SECが約80社を上場廃止警告リストに追加



(注) Bloombergを基に当社作成

環境認識

- ◆ 現在の外部環境はボラティリティが高く、資本市場においてはリスクテイクの動きが停滞
- ◆ 特にロシア・ウクライナ問題に起因する地政学リスクの高まりと中国の政策動向により、現状の不透明感が当面続くものと思われる

FY21の当社の状況

- ◆ 不安定な市場環境のもと、保有株式価値は下落
- ◆ 一方で財務方針を堅持。2022年3月末もLTV < 25%を堅持
- ◆ 財務規律の範囲内で、新規投資と自社株買いも継続
- ◆ SVFによるユニコーン投資とアームが成長戦略の二本柱

更なるダウンサイドに備えつつ、
今後6-12カ月はリスク要因の見極めを図りながら、慎重な運営を続ける

- **經理編**
- **財務編**
- **SoftBank Vision & LatAm Funds**



經理編

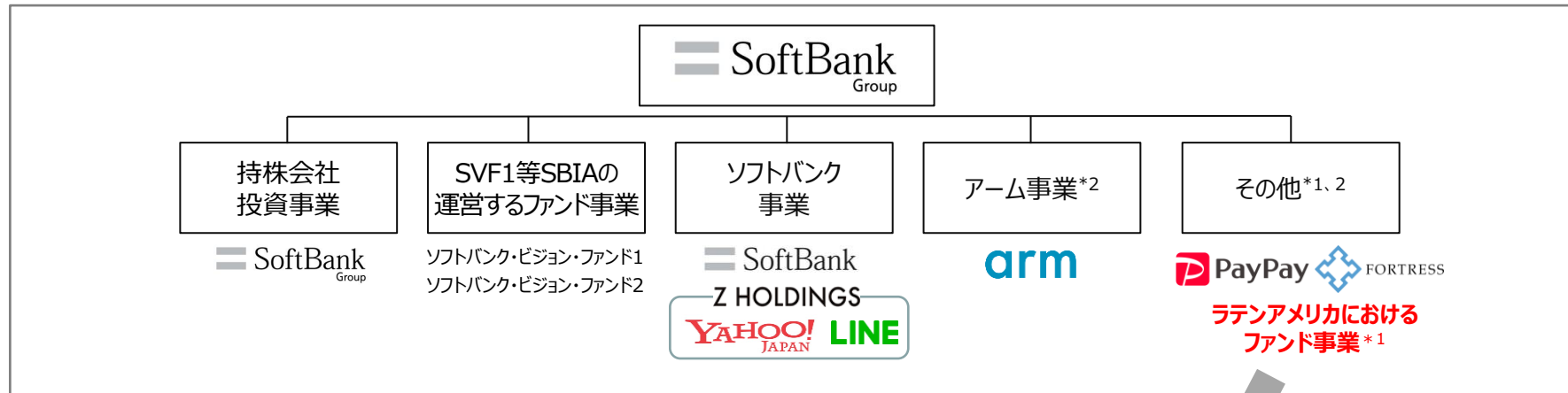
連結業績概況

(億円)	FY20	FY21	増減額	増減率
売上高	56,282	62,215	5,934	10.5%
税引前利益	56,705	-8,696	-65,400	—
当期純利益 (親会社所有者帰属分)	49,880	-17,080	-66,960	—
(参考)				
投資損益合計	75,290	-34,347	-109,637	—
持株会社投資事業	9,459	1,044	-8,416	-89.0%
SVF1およびSVF2等	62,920	-37,388	-100,308	—
ラテンアメリカ・ファンド事業	1,966	1,111	-855	-43.5%
その他	945	887	-58	-6.2%

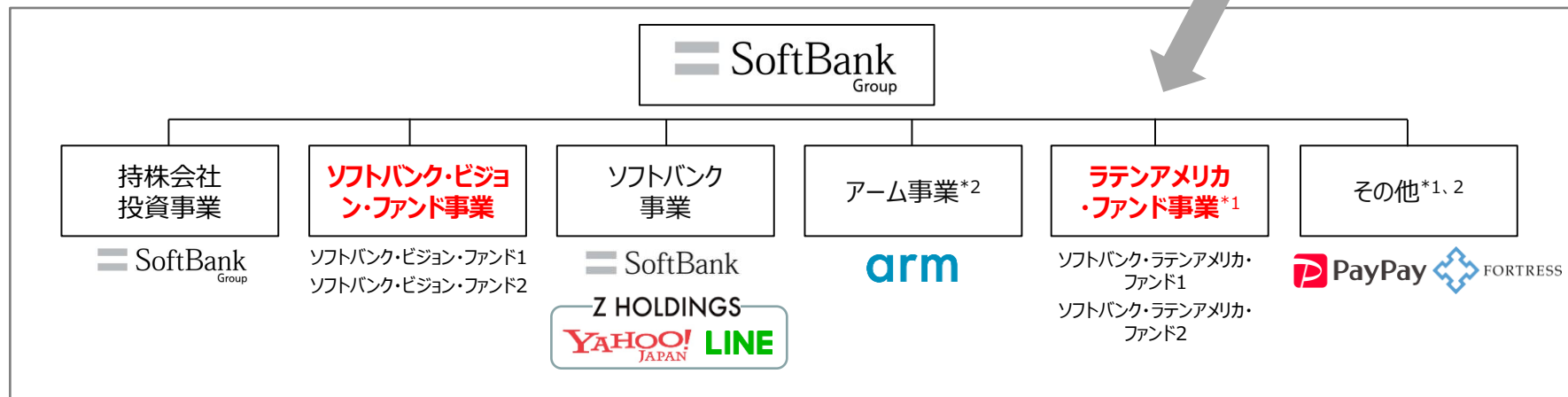
報告セグメントの変更

- FY21Q1より、従来「その他」に含めていた「ラテンアメリカ・ファンド事業」を独立した報告セグメントに
- FY21Q2に「SVF1等SBIAの運営するファンド事業」を「ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業」へ名称変更

FY20



FY21



*1 FY21Q1より、従前「その他」に含めていた「ラテンアメリカ・ファンド事業」について新たに独立した報告セグメントとして記載。FY20についても同様に組み替えて表示。

*2 アーム事業のうち、IoTに関連するサービスグループ (ISG事業) が別に管理されることとなったため、FY20とFY21のアーム事業の業績からISG事業を除く。ISG事業の業績は「その他」に含む。

(注) SVF2の運営会社であるSBGAがソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンドを運営することとなったため、ラテンアメリカ・ファンド事業はFY22Q1より「ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業」へ統合予定

アーム全株式の売却契約の解消：経理処理

- 2020年9月、アーム全株式のNVIDIAへの売却に合意
- **2022年2月、売却契約の解消**
 - 2020年9月に受領した現金20億米ドル
 - ✓ 12.5億米ドル：SBGCが前受金として受領
 - 返金の義務はなく、**FY21Q4に利益**として146,375百万円を認識
 - アーム株式の持分に応じて、75.01%は持株会社投資事業に、24.99%はソフトバンク・ビジョン・ファンド事業の「その他の損益」にそれぞれ計上
 - FY20に前受金として受領済みのため、FY21の現預金増加は無し
 - ✓ 7.5億米ドル：アームがライセンス契約の対価として受領
 - ライセンス契約は継続（ライセンス契約期間に収益として認識）
 - アームは引き続き連結子会社（従前から変更なし）

セグメント利益：持株会社投資事業

(億円)

P/L項目	FY20	FY21	摘要
持株会社投資事業からの投資損益	9,461	1,041	
アリババ株式先渡売買契約決済益	—	2,000	アリババ株式を活用した先渡売買契約の一部を現物決済したことによる利益
Tモバイル株式売却関連損益	4,218	31	Tモバイル株式売却取引の詳細はp6参照
資産運用子会社からの投資の実現損益	-205	549	SB Northstar：上場株式等への投資の結果
資産運用子会社からの投資の未実現評価損益	1,342	-3,936	
資産運用子会社からの投資に係るデリバティブ関連損益	-6,107	895	SB Northstar：主に上場株式に係る買建コールオプションの損益
投資の実現損益	2,222	-2,659	FY21：WeWork株式を保有する100%子会社の株式をSBGからSVF2に売却 ^{*1} し、4,587億円の實現損失を計上
投資の未実現評価損益	6,084	2,828	
当期計上額	6,097	-1,566	FY21：Tモバイル +228億円、Lemonade -907億円、SoFi Technologies -843億円、ドイツテレコム -485億円
過年度計上額のうち実現損益への振替額	-13	4,394	FY21：WeWork株式を保有する100%子会社の株式をSBGからSVF2に売却 ^{*1} し、過年度に当事業で計上した未実現評価損失4,781億円を「投資の実現損益」に振り替え
投資に係るデリバティブ関連損益	1,858	1,015	FY21：Tモバイル株式に係る条件付対価 ^{*2} の公正価値の増加 +930億円
為替換算影響額	—	125	未実現評価損益と実現損益の換算に使用する為替レートの差により生じた金額
その他	50	194	
販売費及び一般管理費	-1,023	-857	
財務費用	-2,186	-2,771	SBGと資金調達を行う100%子会社の支払利息：YoY +560億円（主に社債発行やマージン・ローンによる借入に伴う有利子負債の増加のため）
為替差損益	-1,402	-7,051	FY21：円安の影響（詳細はp19、20参照）
持分法による投資損益	6,014	3,764	FY21：アリババに係る持分法投資利益 +3,879億円
デリバティブ関連損益（投資損益を除く） 主にアリババ株式の先渡売買契約の影響	-4,775	12,364	FY21：アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連利益 +1兆1,330億円
その他の損益	1,521	3,169	FY21：アームの売却対価として受領した前受金12.5億米ドルの75.01%（SBGCのアーム株式保有割合）に当たる1,098億円を利益計上。詳細はp4参照
セグメント利益（税引前利益）	7,609	9,659	

*1 内部取引のため連結決算では消去

*2 スプリント/T-Mobile US合併取引の対価として受領した、一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利。詳細はp9参照

2021年9月に実施したTモバイル株式の一部売却

取引内容	調達額 (億米ドル)	実行時期	所有株式数 (百万株)	
			Tモバイル株式	ドイツテレコム株式
a Tモバイル株式106.3百万株を担保とした借入 (マージン・ローン)	43.8	2020年7月		
2021年6月末現在の所有株式数			106.3	—
b Tモバイル株式17.9百万株を活用した先渡売買契約による資金調達	18.1	2021年9月		
c Tモバイル株式43.0百万株を担保とした借入 (マージン・ローン)	26.5			
d bおよびcで得た資金を用いてaの借入を返済	-43.8			
e Tモバイル株式45.4百万株を担保とした満期60日間の借入 (ブリッジ・ローン)	12.5			
f Tモバイル株式45.4百万株をドイツテレコムに売却*1し、その対価としてドイツテレコム株式225百万株を受領	—		-45.4	225.0
2021年9月末現在の所有株式数			60.9	225.0
g ドイツテレコム株式225百万株を利用したカラー取引による資金調達	30.4*2	2021年10月		
h gで得た資金の一部を用いてeの借入を返済	-12.5			
2021年12月末現在の所有株式数			60.9	225.0
i Tモバイル株式6.9百万株を利用した先渡売買契約による資金調達	6.8	2022年3月		
j iで得た資金の一部を用いてcの借入の一部を返済	-5.9			
2022年3月末現在の所有株式数			60.9	225.0
k Tモバイル株式21.2百万株をドイツテレコムに売却*1し、その対価として24.0億米ドルを受領	24.0	2022年4月		
l kで得た資金の一部を用いてcの借入の一部を返済	-12.0			
追加売却後の所有株式数			39.8	225.0

*1 ドイツテレコムによるコールオプションの一部行使に伴う

*2 調達額のユーロ換算額は26.4億ユーロ

Tモバイル株式：当社所有株式数（ドイツテレコム保有のコールオプション未行使分を含む）および公正価値

FY21末時点の当社所有Tモバイル株式数：6,092万株（下記(i)+(ii)）

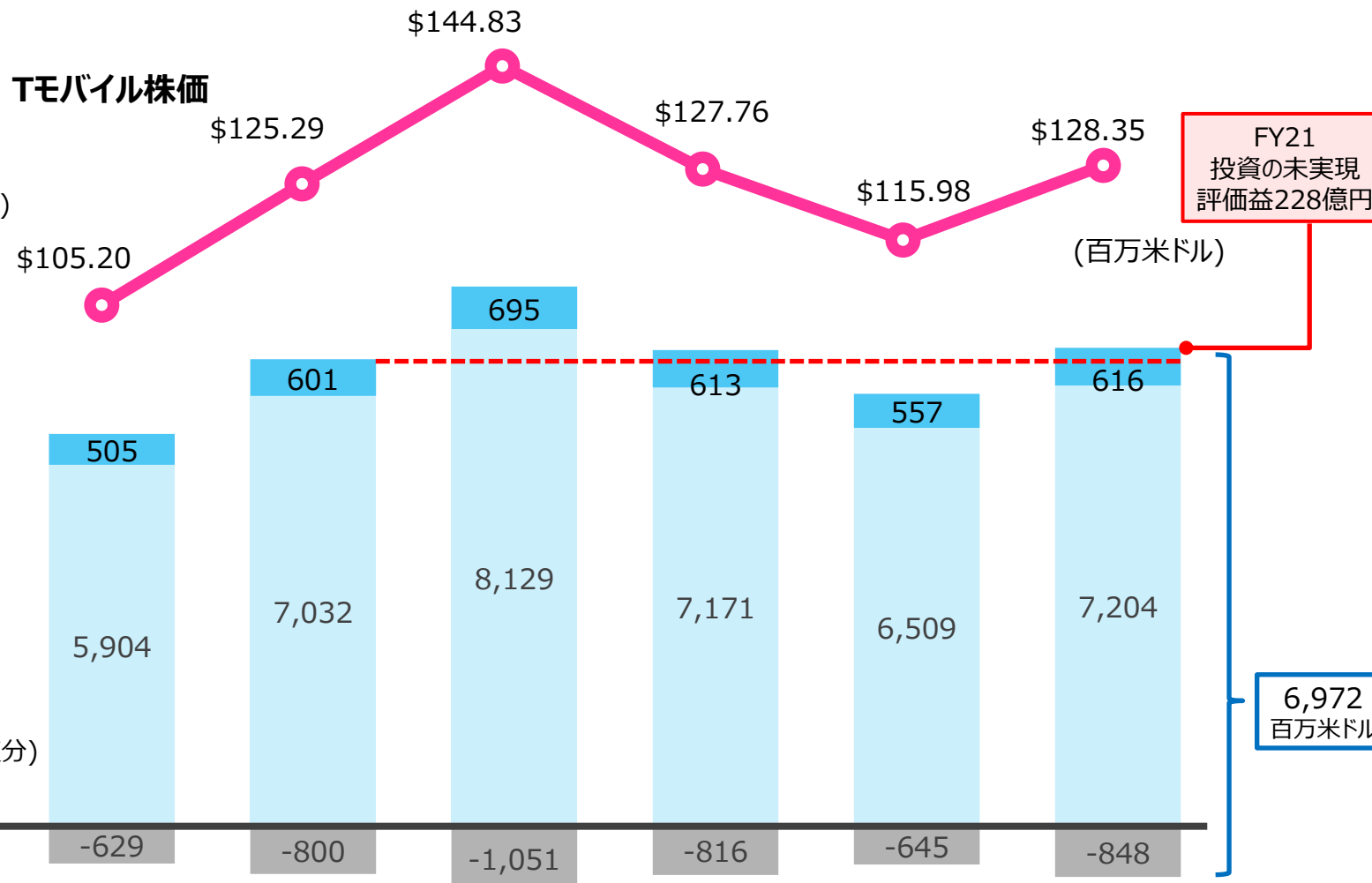
(i) ドイツテレコム保有のコールオプション（未行使分）：5,612万株

(注) FY22Q1に2,115万株を行使済み
→未行使分は3,497万株

(固定オプション：673万株、変動オプション：2,824万株)

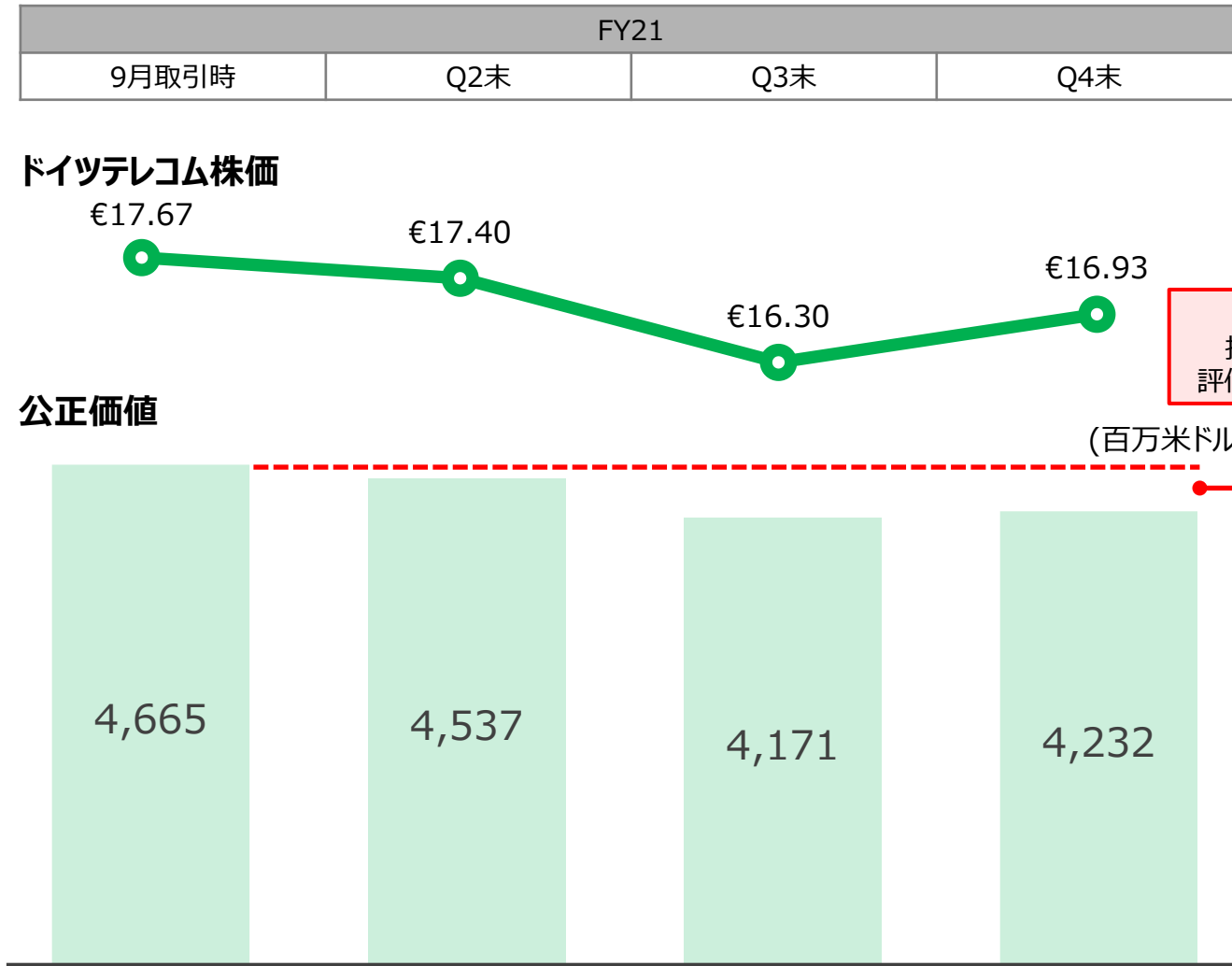
(ii) 同オプション対象外：480万株

FY20		FY21			
6/26	Q4末	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末



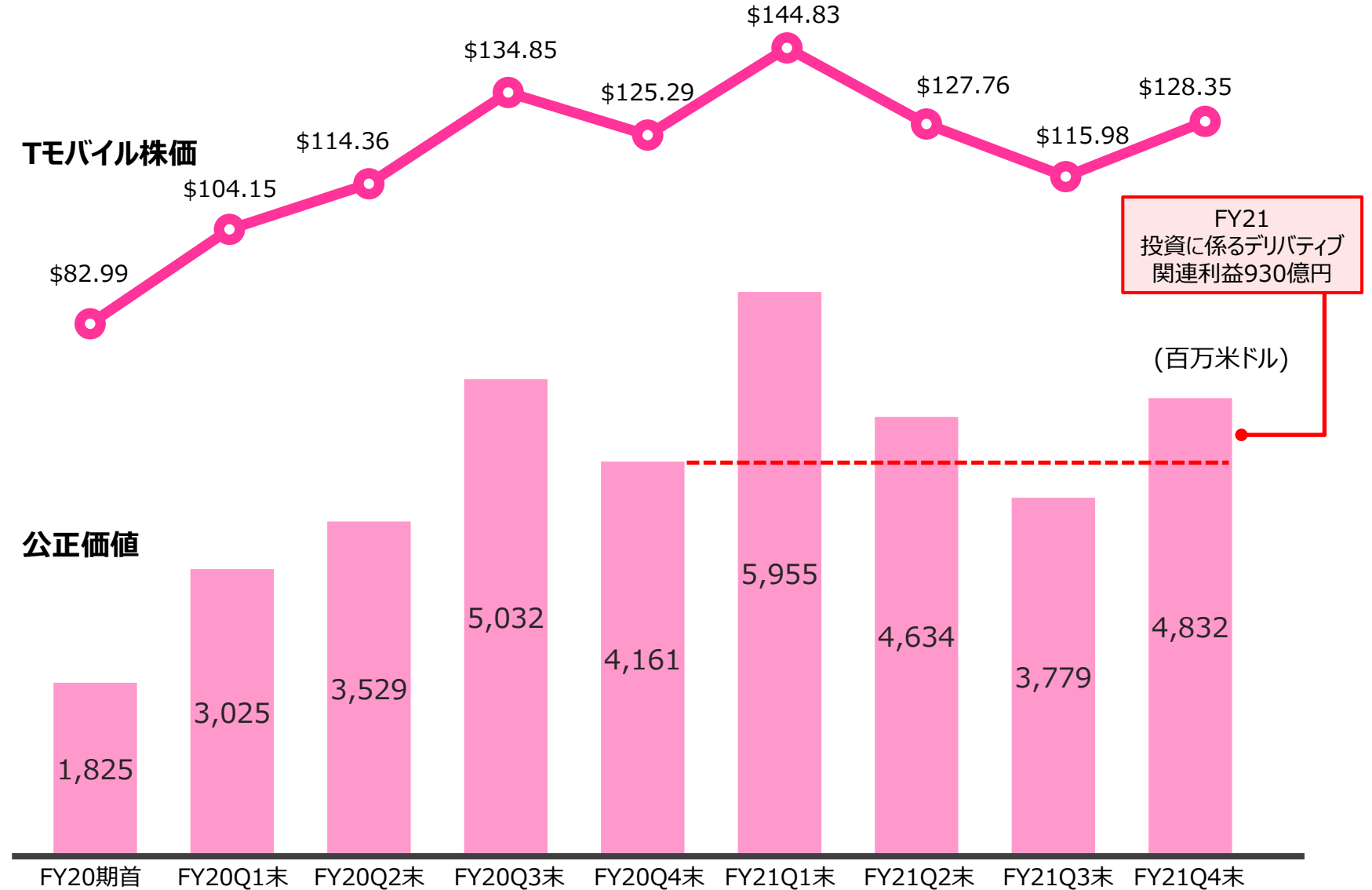
ドイツテレコム株式：当社所有株式数および公正価値

2021年9月、Tモバイル株式売却の対価として当社はドイツテレコム株式225百万株を取得



Tモバイル株式：条件付対価の公正価値

- 条件付対価：**
 一定の条件を満たした際に、当社がTモバイル株式4,875万株を無償で取得できる権利
- 取得条件：**
 2022年4月1日から2025年12月31日の間におけるTモバイル株式の45日間のVWAP (出来高加重平均価格) \geq 150米ドル



上場株式等への投資におけるB/SとP/L（投資損益）への主な影響

(億円)

投資元	投資種別	連結B/S計上科目	連結B/S残高 (マイナスは負債)		連結P/L計上科目	連結P/L計上額 FY21	活動開始からの 累計損益	
			FY20末	FY21末				
SBG	現物株式	投資有価証券	合計2.2兆円 → 3,510億円		投資の実現損益*1	376	2,596	
			155	351	投資の未実現評価損益*1	-180	243	
	現物株式等	資産運用子会社からの投資	7,553	3,140	資産運用子会社からの投資の実現損益	549	343	
		資産運用子会社における担保差入有価証券	14,273	19	資産運用子会社からの投資の未実現評価損益*3	-3,934	-2,593	
信用取引	借入有価証券*2	-87	-1,250					
SB Northstar	上場株式に係る 買建コールオプション	資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産	1,766	485				
		上場株式に係る 売建コールオプション	-93	—				
	売建株価指数 先物取引	—	—					
	デリバティブ	上場株式に係る トータル・リターン・スワップ取引	資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産	71	—	資産運用子会社からの投資に係るデリバティブ関連損益	895	-5,212
		資産運用子会社におけるデリバティブ金融負債	-54	—				
	上場株式等に係る 買建フォワード契約	資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産	44	—				
資産運用子会社におけるデリバティブ金融負債	—	-19						
					持株会社投資事業からの投資損益	-2,295	-4,624	
					非支配持分に帰属する純利益*4, 5	830	2,487	
					親会社の所有者に帰属する純利益への影響額*5	-1,465	-2,136	

*1 FY20Q1およびQ2にSBGが取得した上場株式の一部を、FY20Q2にSB Northstarへ移管。本移管後にSB Northstarが当該上場株式を外部に売却した部分については、SBGによる取得価額とSB Northstarへの移管価額の差額を「投資の実現損益」に含めて表示。SB Northstarが当該上場株式を外部に売却した際に、当該差額を「投資の未実現評価損益」から「投資の実現損益」に振り替えた。

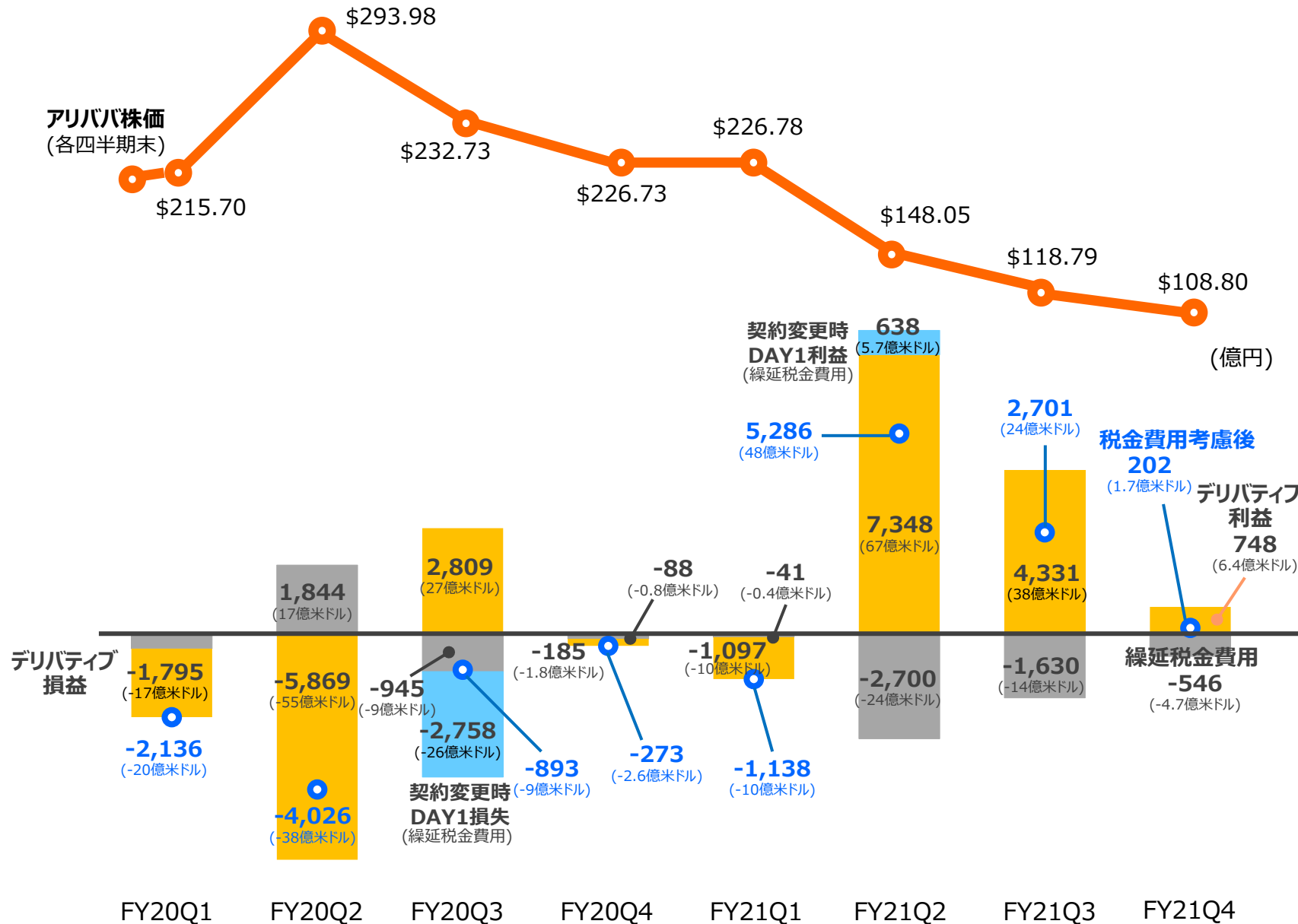
*2 売建信用取引で借り入れた有価証券の公正価値

*3 内部取引控除後

*4 SB Northstarの投資損益の33%

*5 販売費及び一般管理費や税金費用などの影響を含まない。

アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ関連損益（四半期推移）



(P/L影響額)

(億円)	FY21
税引前利益	11,330 (101億米ドル)
純利益	7,051 (63億米ドル)

(アリババ株式先渡売買契約に係る B/S計上額)

(億円)	FY20末	FY21末
デリバティブ金融資産	7,037	15,724
デリバティブ金融負債	-281	-677
純額	6,756	15,047
株式先渡契約金融負債	30,857	41,961

連結P/L総括 IFRSベース

(億円)

P/L項目	FY20	FY21	増減
継続事業			
売上高	+56,282	+62,215	+5,934
売上総利益	+28,749	+32,656	+3,906
投資損益			
持株会社投資事業からの投資損益	+9,459	+1,044	-8,416
SVF1およびSVF2等からの投資損益	+62,920	-37,388	-100,308
ラテンアメリカ・ファンド事業からの投資損益	+1,966	+1,111	-855
その他の投資損益	+945	+887	-58
投資損益合計	+75,290	-34,347	-109,637
販売費及び一般管理費	-22,715	-25,517	-2,802
財務費用	-3,073	-3,825	-753
為替差損益	-1,372	-7,061	-5,689
持分法による投資損益	+6,164	+3,414	-2,750
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	-4,803	+12,347	+17,150
SVF1およびSVF2における外部投資家持分の増減額	-22,464	+9,727	+32,191
その他の損益	+927	+3,912	+2,985
税引前利益	+56,705	-8,696	-65,400
法人所得税	-13,032	-5,926	+7,105
継続事業からの純利益	+43,673	-14,622	-58,295
非継続事業			
非継続事業からの純利益	+7,109	—	-7,109
純利益	+50,782	-14,622	-65,404
親会社の所有者に帰属する純利益	+49,880	-17,080	-66,960

持株会社投資事業からの投資損益 +1,044億円 (詳細はp5参照)

- ・上場株式等への投資による投資損失：-2,295億円
- ・アリババ株式先渡売買契約決済益：+2,000億円
- ・Tモバイルおよびドイツテレコムへの投資に係る損益 (投資に係るデリバティブ関連損益、未実現評価損益、Tモバイル株式売却関連損益)：+703億円

SVF1およびSVF2等からの投資損益 -3兆7,388億円 (詳細はp22参照)

未実現評価損失 (純額) SVF1：-2兆9,223億円、SVF2：-2,655億円

ラテンアメリカ・ファンド事業からの投資損益 +1,111億円

未実現評価益 (純額)：+1,189億円

為替差損益 -7,061億円

円安の影響 (詳細はp19、20参照)

(参考) 為替換算差額 (連結B/S)：+2兆1,769億円 (p18参照)

持分法による投資損益 +3,414億円

アリババに係る持分法投資利益：+3,879億円

デリバティブ関連損益 (投資損益を除く) +1兆2,347億円

アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連利益 +1兆1,330億円

法人所得税

- ・SBKKやヤフーで当期税金費用を計上
- ・上記デリバティブ関連利益の計上に伴い繰延税金費用を計上

FY20：スプリントの支配喪失利益を計上 +7,208億円

(+：利益にプラス、-：利益にマイナス)

(マイナスは費用)

	FY21	
	率 (%)	金額 (億円)
税引前利益 (マイナスは損失)		-8,696
法定実効税率	31.5%	2,736 ^{*1}
(主な税率差異要因)		
①永久差異 (主に税率差異)	-127.1%	-11,052
②連結消去された内部取引に係る法人税等	35.5%	3,083
③繰延税金資産の回収可能性	-28.2%	-2,452
④所在地国課税	11.1%	966
⑤外国関係会社等合算所得	6.0%	524
⑥英国税制改正による影響	3.7%	320
その他	-0.7%	-51
法人税等の負担率	-68.2%	-5,926 ^{*2}

*1 税金費用のマイナス (利益方向)

*2 税率差異要因を反映した税金費用

繰越欠損金 (2022年3月末現在)

(億円)

	所得ベース	税額ベース	評価性引当金	B/S計上額
国内会社合計	35,517	11,288	-10,832	456
海外会社合計	3,351	478	-216	262
連結合計	38,868	11,766	-11,048	718

連結B/S総括 IFRSベース - 1

(億円)

B/S項目	主な科目	2021/3月末	2022/3月末	増減
		108,202	100,286	-7,916
流動資産	現金及び現金同等物	46,627	① 51,690	+5,063
	資産運用子会社からの投資	6,582	A 1,581	-5,001
	資産運用子会社における担保差入有価証券	14,273	B 19	-14,254
	資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産	1,881	C 485	-1,396
	デリバティブ金融資産	3,833	10,504	+6,671
	その他の金融資産	6,719	7,626	+907
	その他の流動資産	4,467	3,341	-1,126
	売却目的保有に分類された資産	386	—	-386
		349,303	375,161	+25,858
非流動資産	有形固定資産	16,686	18,427	+1,742
	のれん	46,844	48,979	+2,135
	無形資産	23,084	24,276	+1,192
	持分法で会計処理されている投資	43,500	52,345	+8,845
	FVTPLで会計処理されているSVF1およびSVF2からの投資	136,468	137,664	+1,196
	SVF1	124,033	83,653	-40,380
	SVF2	12,435	54,011	+41,576
	投資有価証券	37,068	③ 42,086	+5,018
デリバティブ金融資産	9,087	13,338	+4,251	
その他の金融資産	19,193	22,506	+3,314	
	資産合計	457,505	475,447	+17,942

① SB Northstarからの投資に係る流動資産
 A: 上場株式の売却などにより減少
 B: 投資を売却したことにより減少
 C: 上場株式に係る買建コールオプションの公正価値が減少

アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ金融資産の増加: +6,745億円 (デリバティブ関連利益の計上、決済日まで1年以内となったデリバティブ金融資産の非流動資産からの振替、新たな先渡売買契約の締結により増加)

未収税金の減少 (FY20に発生したSBGJからSBGへの配当に関する源泉所得税還付など): -1,031億円

② SVF1およびSVF2からの投資 13兆7,664億円 (+1,196億円)
 ・SVF1: -4兆380億円 (公正価値減少: -252.8億米ドル、売却: -216.2億米ドル、投資: +30.5億米ドル)
 ・SVF2: +4兆1,576億円 (投資: +384.3億米ドル、売却: -38.7億米ドル、公正価値減少: -21.6億米ドル)

③ 投資有価証券 4兆2,086億円 (+5,018億円) (詳細はp16参照)

ヤフーが「Yahoo!」「Yahoo! JAPAN」に関連する日本での商標権などを1,785億円で取得

(参考) FY21末のアリババ株式の簿価: 4兆5,721億円

・アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ金融資産の増加: +1,943億円
 ・Tモバイル株式に係る条件付対価*の公正価値増加: +1,307億円

*スプリント/T-Mobile US合併取引の対価として受領した、一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利。詳細はp9参照

連結B/S 投資有価証券 (主な投資先)

(億円)

	2021/ 3月末	2022/ 3月末	増減	摘要
投資有価証券	37,068	42,086	+5,018	
FVTPL	31,876	37,309	+5,433	
ラテンアメリカ・ファンド	4,410	11,232	+6,822	・新規/追加投資、公正価値増加 ・FY21末投資先：101銘柄* ¹
Tモバイル	14,744	9,571	-5,173	ドイツテレコムがコールオプションを一部行使したことに伴い、当社が保有するTモバイル株式のうち45.4百万株をドイツテレコムへ売却したことなどにより減少
ドイツテレコム	—	5,180	+5,180	Tモバイル株式売却の対価としてドイツテレコム株式225百万株を受領
SoFi Technologies	2,041	1,102	-939	新規上場時(2021年6月)の一部売却に伴う関連会社からの除外(持分法で会計処理されている投資から振替)+98億円、一部売却(2021年11月)による減少-349億円、公正価値減少-843億円
Lemonade	1,236	387	-849	
WeWork* ²	1,684	—	-1,684	FY21Q2にSVF2へ移管
InMobi	609	—	-609	FY21Q1にSVF2へ移管
Cybereason	400	—	-400	FY21Q1にSVF2へ移管
Ola Electric Mobility	182	—	-182	FY21Q3にSVF2へ移管
その他	6,570	9,837	+3,267	
FVTOCI等	5,192	4,777	-415	

*1 当社子会社への投資1件を含む。

*2 SVF1が保有するWeWork株式は「FVTPLで会計処理されているSVF1およびSVF2からの投資」に含まれる。

連結B/S総括 IFRSベース - 2

(億円)

B/S項目	主な科目	2021/3月末	2022/3月末	増減
流動負債		128,910	123,815	-5,095
	有利子負債	77,352	73,289	-4,064
	リース負債	3,074	2,402	-672
	銀行業の預金	11,092	13,314	+2,221
	営業債務及びその他の債務	19,703	19,689	-14
	デリバティブ金融負債	3,222	1,196	-2,026
	その他の金融負債	660	5,548	+4,889
	未払法人所得税	3,919	1,834	-2,085
	その他の流動負債	9,524	6,203	-3,322
	売却目的保有に分類された資産に直接関連する負債	113	—	-113
非流動負債		209,039	234,554	+25,515
	有利子負債	107,777	141,286	+33,508
	リース負債	7,276	6,259	-1,016
	SVF1およびSVF2における外部投資家持分	66,018	55,598	-10,420
	その他の金融負債	4,154	2,105	-2,049
	繰延税金負債	20,307	24,360	+4,054
	その他の非流動負債	2,075	2,126	+51
負債合計		337,949	358,369	+20,420

1 SB Northstar : 借入金 (流動) -1兆8,330億円
 短期借入金1兆1,704億円の減少、アリババ株式マージン・ローン60.0億米ドルの返済

- ・ドイツテレコムがTモバイル株式を対象とするコールオプションを一部行使したことなどによるデリバティブ金融負債の減少：-1,011億円
- ・2021年4月のWeWork株式公開買付け完了によるデリバティブ金融負債の取り崩し：-768億円 (当該負債は、取得見込みの普通株式・優先株式の評価額と取得予定額との差額としてFY20末に計上していたもの)

- ・FY20に発生したSBGJからSBGへの配当に対する源泉所得税を納付：-2,451億円
- ・アームの売却対価として受領した前受金の取り崩し (同額を利益計上)：-12.5億米ドル

2 SBG : 社債 (流動+非流動) +1兆1,727億円

- ・国内ハイブリッド社債：発行 +4,050億円、償還 -4,556億円
- ・外貨建て普通社債：発行 +38.5億米ドル、+29.5億ユーロ
- ・国内劣後社債：発行 +1兆500億円、償還 -7,660億円

資金調達を行う100%子会社：

- ・**借入金 (流動+非流動) +9,830億円**
アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスの借入による増加：+80.0億米ドル
- ・**株式先渡契約金融負債 (流動+非流動) +1兆4,508億円**
主にアリババ株式先渡売買契約の新規締結による増加
- ・**SVF1およびSVF2 : 借入金 (流動+非流動) +6,238億円**
・SVF1 アセットバック・ファイナンスによる借入金の減少：-12.6億米ドル
・SVF2 アセットバック・ファイナンスによる借入金の増加：+59.8億米ドル

アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ金融資産の公正価値増加に伴う繰延税金負債の増加

(注) 有利子負債とリース負債の会社別内訳はFY21決算短信p39参照

連結B/S総括 IFRSベース - 3

(億円)

B/S項目	主な科目	2021/3月末	2022/3月末	増減
資本合計		119,556	117,078	-2,478
	資本金	2,388	2,388	—
	資本剰余金	26,185	26,346	161
	その他の資本性金融商品*	4,969	4,969	—
	利益剰余金	88,104	45,157	-42,947
	自己株式	-22,901	-4,064	18,837
	その他の包括利益累計額	3,383	24,962	21,578
	親会社の所有者に帰属する持分合計	102,131	99,757	-2,374
	非支配持分	17,425	17,321	-104
親会社の所有者に帰属する持分比率 (自己資本比率)		22.3%	21.0%	-1.3%

1

- 親会社の所有者に帰属する純利益：-1兆7,080億円
- 自己株式の消却に伴い減額：-2兆4,758億円
2021年5月に366,860,600株を消却（2021年4月末の発行済株式総数に対する割合17.6%）

2

取得終了

- 2020年7月取締役会決議に基づく取得分：2,578億円（25,980,400株）
- 2021年5月に自己株式を消却

取得中


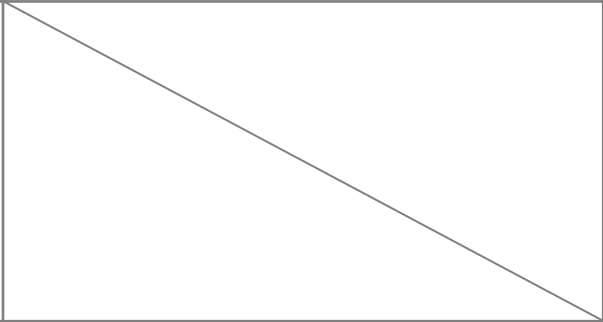

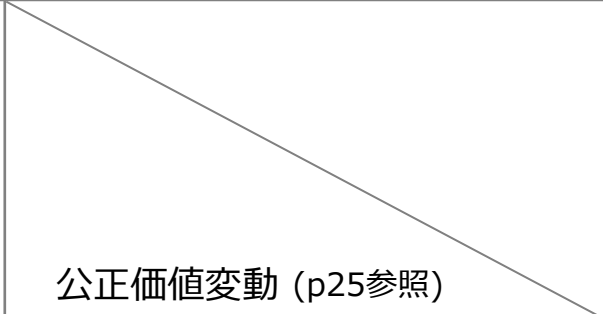

総額1兆円を上限とする2021年11月取締役会決議に基づく2021年11月～2022年3月の取得分：3,446億円（67,257,900株）

3

円安の影響で在外営業活動体の為替換算差額が増加：+2兆1,769億円
（海外を拠点とする子会社・関連会社を円換算する際に生じる為替換算差額が対米ドルや中国人民元の為替換算レートが円安となったことに伴い増加。詳細はp19、20参照）
（参考）FY21の為替差損益（連結P/L）：-7,061億円（p12参照）

*SBGが2017年7月に発行した米ドル建永久劣後特約付社債。IFRS上資本性金融商品に分類。

P/L・B/Sへの円安影響（概念図）

エンティティー	種別	P/L 為替差損益	B/S 為替換算差額
SBG単体+ 国内資金調達子会社	外貨建て現預金・ 貸付金 (投資を除く)	 為替差益 (p20参照)	
	外貨建て負債 (借入金・社債)	 為替差損 (p20参照)	
機能通貨が外貨の 在外子会社・関連会社 (例：SVF1&2、アリババ)	純資産 (プラス)	 公正価値変動 (p25参照)	 為替換算差額 (p20参照)

FY21の円安影響

FY21 連結P/L 為替差損益：-7,061億円 (うちSBG単体の影響が9割弱)

- ・SBG単体 在外子会社からの外貨建て借入に係る為替差損益：-7,084億円
- ・SBG単体 外貨建て社債に係る為替差損益：-1,460億円

SBG単体残高	FY20末 ¥110.71/\$	FY21末 ¥122.39/\$
外貨建て負債(借入金・社債) (在外子会社からの借入を含む)	577億米ドル	897億米ドル
外貨建て現預金・貸付金 (投資を除く)	278億米ドル (現預金114億米ドル、 貸付金164億米ドル)	326億米ドル (現預金182億米ドル、 貸付金144億米ドル)
ネット (負債)	299億米ドル	571億米ドル

FY21末 連結B/S 為替換算差額：+2兆1,769億円 (うちSVF1&2：+8,786億円、アーム：+3,208億円)

主に子会社株式・関連会社への投資に関わるもの

(参考) 子会社純資産	FY20末 ¥110.71/\$	FY21末 ¥122.39/\$
SVF1&2	1,206億米ドル (13兆3,535億円)	1,183億米ドル (14兆4,843億円)
アーム	297億米ドル (3兆2,867億円)	283億米ドル (3兆4,665億円)

連結B/Sの為替換算差額は、連結上の内部取引も考慮しているため、子会社純資産の変動額とは一致しない。

連結C/F総括 IFRSベース

(億円)

C/F項目	FY20	FY21	増減	FY21の主な内訳
営業活動によるCF	5,573	27,255	21,682	36,593 営業キャッシュ・フロー小計
				-8,737 法人所得税の支払額
				2,844 法人所得税の還付額
投資活動によるCF	-14,686	-30,187	-15,501	-9,935 投資の取得による支出
				4,302 投資の売却または償還による収入
				-40,775 SVF1およびSVF2による投資の取得による支出
				22,218 SVF1およびSVF2による投資の売却による収入
				-8,351 有形固定資産及び無形資産の取得による支出
				4,868 拘束性預金の払戻による収入
財務活動によるCF	21,941	6,022	-15,919	-11,738 短期有利子負債の収支
				128,810 有利子負債の収入
				-87,977 有利子負債の支出
				-12,287 SVF1における外部投資家に対する分配額・返還額
				-6,024 自己株式の取得による支出
				-758 配当金の支払額
				-3,096 非支配持分への配当金の支払額
現金及び現金同等物の期首残高	33,690	46,627		
現金及び現金同等物の期末残高	46,627	51,690		

営業CF YoY +2兆1,682億円

- ・SB Northstarの投資売却などによるキャッシュ・インフローへの増加影響：+2兆445億円
- ・法人所得税の支払額の増加：-2,851億円 (キャッシュ・アウト・フロー)

ラテンアメリカ・ファンドの新規/追加投資：-4,714億円 (-41.9億米ドル)

SVF1およびSVF2による投資の取得による支出 -4兆775億円

- ・SVF1：2,116億円 (18.9億米ドル) の追加投資
- ・SVF2：3兆8,658億円 (345.8億米ドル) の新規/追加投資

SVF1およびSVF2による投資の売却による収入 +2兆2,218億円

- ・SVF1：Uber、DoorDash、Coupangなどの上場株式を一部売却
- ・SVF2：投資先1銘柄の全売却とKE Holdingsを含む投資先3銘柄の一部持分を売却

短期有利子負債の収支 -1兆1,738億円

(SB Northstar) 短期借入金の減少：-1兆1,832億円 (純額)

有利子負債の収入 +12兆8,810億円

- (SBG) 社債発行：+2兆2,697億円 (資金調達を行う100%子会社)
- ・アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入：+9,368億円 (+80.0億米ドル)
- ・アリババ株式マージン・ローンによる借入：+2,056億円 (+18.8億米ドル)
- ・アリババ株式先渡売買契約の締結：+1兆8,767億円 (+166.9億米ドル) (SVF1&2)
- アセットバック・ファイナンスによる借入
- SVF1：+3,320億円 (+30.0億米ドル)、SVF2：+7,938億円 (+70.0億米ドル)

有利子負債の支出 -8兆7,977億円

- (SBG) 社債償還：-1兆2,266億円
- (SB Northstar) アリババ株式マージン・ローン返済：-6,628億円 (-60.0億米ドル) (資金調達を行う100%子会社)
- アリババ株式マージン・ローン返済：-4,547億円 (-40.0億米ドル) (SVF1&2)
- アセットバック・ファイナンスによる借入金の返済
- SVF1：-4,958億円 (-42.8億米ドル)、SVF2：-1,079億円 (-9.7億米ドル)

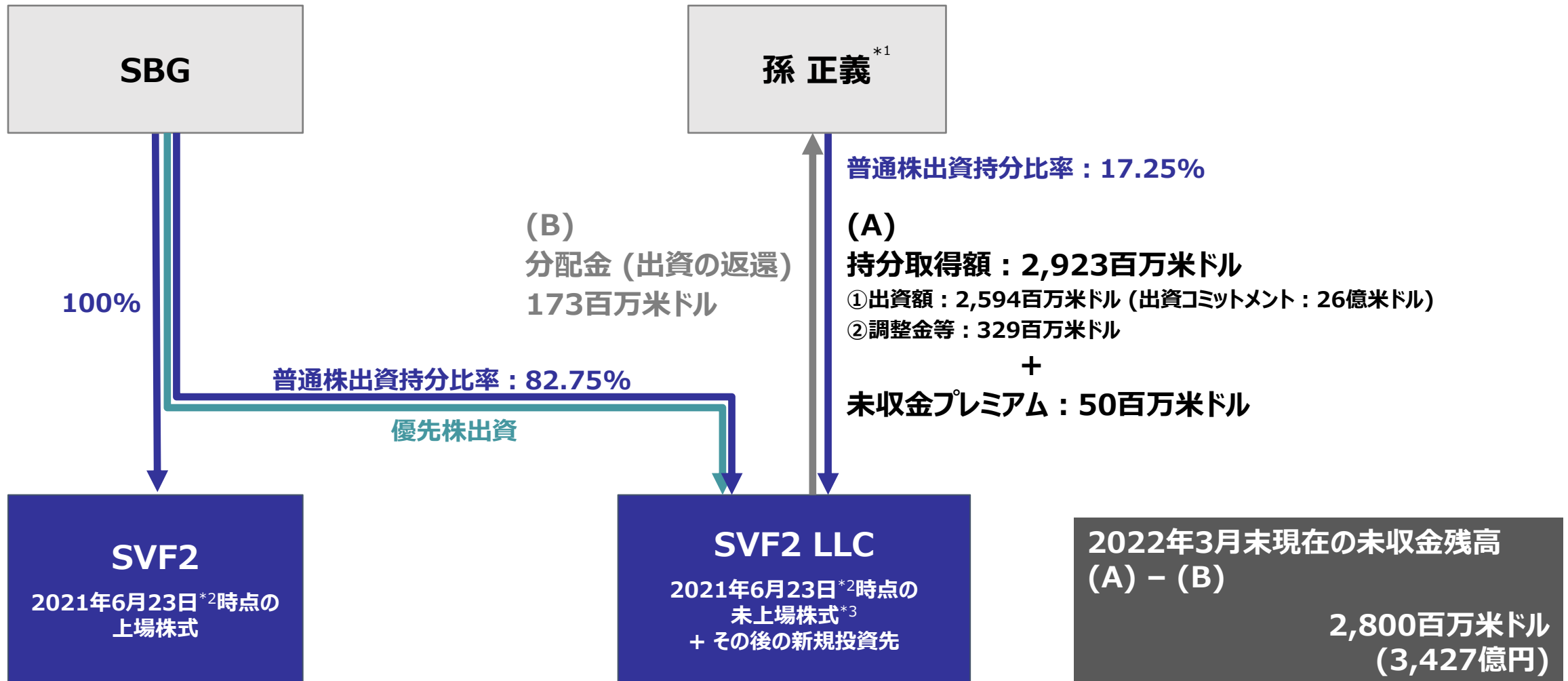
セグメント利益：ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業

(億円)

P/L項目	FY20	FY21	FY21摘要
SVF1およびSVF2等からの投資損益	63,575	-35,474	
投資の実現損益*	4,196	13,547	SVF1：+1兆2,261億円 投資先3銘柄の全株式とDoorDash、Coupang、Uberなど計13社の一部株式の売却 SVF2：+1,286億円 投資先1銘柄の全株式とKE Holdingsの一部株式の売却
投資の未実現評価損益*	58,971	-48,178	
当期計上額	60,134	-30,399	FY21末に保有する投資の未実現評価損益 SVF1：-2兆7,680億円 (-23,894百万米ドル) SVF2：-2,719億円 (-2,202百万米ドル) ・上場投資先：合計 -31,788百万米ドル ・上場投資先：合計 -1,049百万米ドル ・非上場投資先：合計 +7,894百万米ドル ・非上場投資先：合計 -1,153百万米ドル 詳細はFY21決算短信p21、22参照
過年度計上額のうち実現損益への振替額	-1,163	-17,779	FY21に売却した投資に係る未実現評価損益の過年度計上額を「投資の実現損益」に振り替えた金額 SVF1：-1兆4,638億円、SVF2：-3,141億円
投資先からの利息及び配当金	298	506	
投資に係るデリバティブ関連損益	11	-496	
為替換算影響額	98	-853	未実現評価損益と実現損益の換算に使用する為替レートの差により生じた金額
販売費及び一般管理費	-742	-698	主にSBIA、SVF1、SVF2の管理費用
財務費用	-104	-316	
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	—	21	
SVF1およびSVF2における外部投資家持分の増減額	-22,464	9,727	SVF1&2の投資損益から、①SBIAがSVF1から受領する管理報酬および成功報酬、②SBGAがSVF2から受領する管理報酬および業績連動型管理報酬、③各ファンドの営業費用およびその他の費用を控除した金額を、持分に応じて外部投資家に分配した成果分配額および固定分配額の合計額
その他の損益	4	346	FY21：アームの売却対価として受領した前受金12.5億米ドルの24.99% (SVF1のアーム株式保有割合) に当たる366億円を利益計上。詳細はp4参照
セグメント利益 (税引前利益)	40,268	-26,394	

*純額で表示

SVF2共同出資プログラム：関連当事者との取引



(注) 関連当事者との取引の詳細はFY21決算短信p93、94参照。

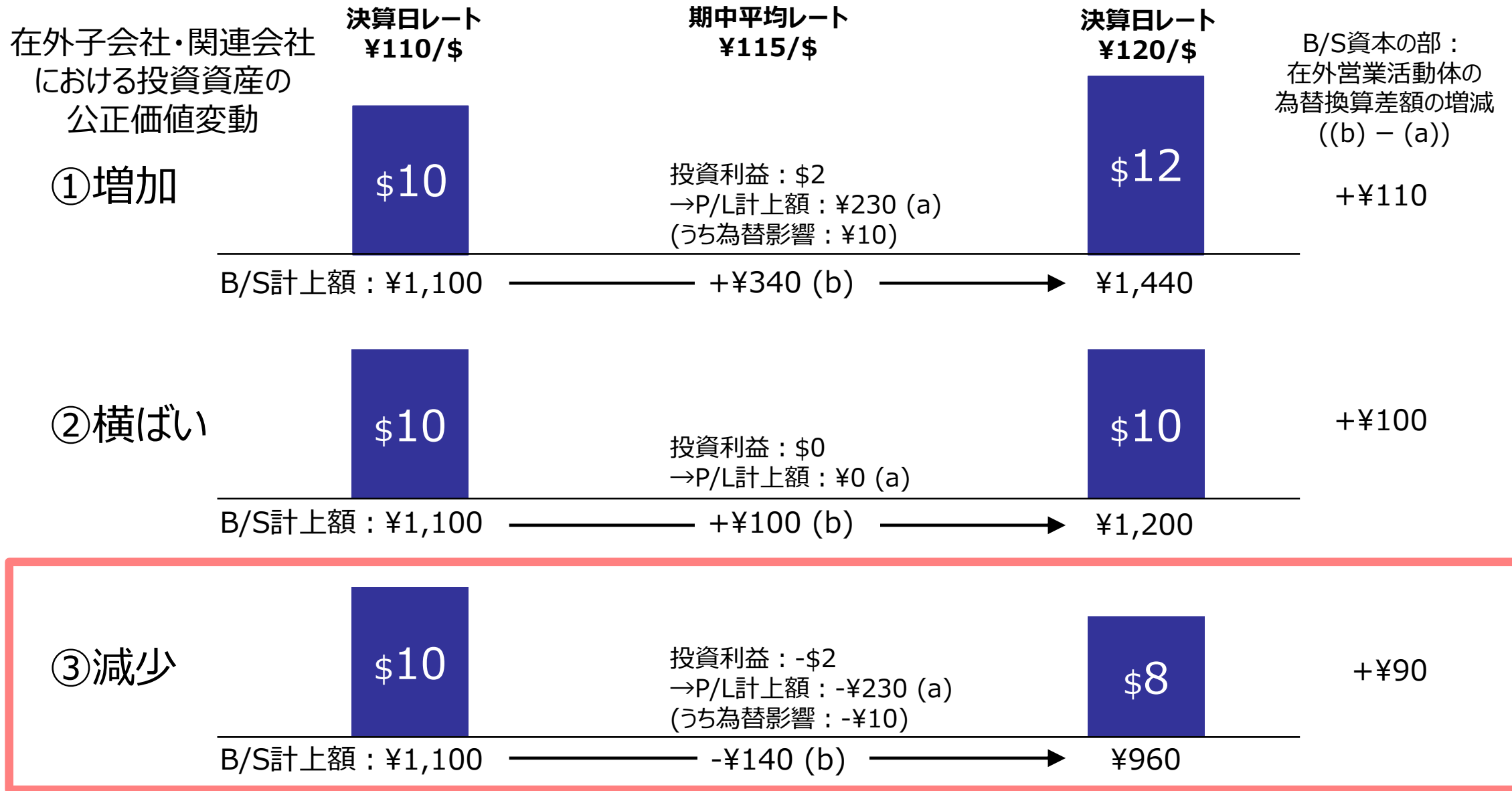
*1 孫正義以外の経営陣の参加は2022年4月末時点で未決定だが、将来的に参加を予定。

*2 2021年6月23日はSBG取締役会において本共同投資プログラムが条件付きで承認された日。

*3 2021年6月23日時点で上場済または上場発表済の投資先、並びに、SBG取締役会で本プログラムの対象から除外することが承認された投資先を除く。

Appendix

円安進行時：在外子会社・関連会社の投資資産の公正価値変動



WeWorkへの投資

- 2021年8月、SBGは、投資対象ポートフォリオの取扱い方針に則りWeWork株式（普通株式および優先株式）を保有している100%子会社SBWWをSVF2に移管
- 2021年10月21日、WeWorkはSPAC（特別買収目的会社）であるBowX Acquisition Corp.との合併（De-SPAC）を通じてニューヨーク証券取引所に上場
- De-SPACに伴い、優先株式は普通株式に転換。De-SPAC以前から保有する普通株式については、SVF2へのSBWW移管後はSVFセグメント^{*1}にてFVTPLで評価するが、調整額で同額を消去の上、従来通り持分法で処理（発行株式数の6.41%（2022年3月末現在））
- 2022年3月、SBGは、レターオブクレジットファシリティ延長の対価として取得したワラント等をSVF2に移管

（百万米ドル）

投資元	累計取得価額 (SBG連結ベース)		移管時公正価値 (C)	FY21末		累計損益 (SBG連結 ベース)	累計損益 の算出式
	キャッシュ (A)	ペニーワラント (B)		公正価値 (D)	経済的持分比率 (完全希薄化後)		
SBG	7,501	867 ^{*2}	2,444	—	—	-5,924	C - (A + B)
	—	102 ^{*3}	75	—	—	-27	C - B
SVF2	—	—	2,519	2,525	44.03%	6	D - C
SVF1	3,400 ^{*4}	—	—	622	10.85%	-2,778	D - A
合計	10,901	969	—	3,147	54.88% ^{*5}	-8,723	D - (A + B)

*1 ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業

*2 レターオブクレジットファシリティに対するクレジットサポートおよび無担保債券の引受義務の対価として受け取った1株当たり0.01米ドルまたは0.02米ドルでWeWork普通株式を取得可能なワラント。867百万米ドルは、当初認識時のワラントの公正価値から行使対価である1百万米ドルを差し引いた額。

*3 レターオブクレジットファシリティ延長の対価としてFY21Q3に新たに取得したワラント。102百万米ドルは当初認識時のワラントの公正価値。

*4 SVF1の累計取得価額には、WeWork Asia Holding Company B.V. (WeWork Asia) への投資額が含まれる。WeWork Asia株式は1株当たり11.60米ドルで2020年4月にWeWork優先株式に交換された。なお、SBWWのSBGからSVF2への移管は、SVF1によるWeWorkへの投資に影響を与えない。

*5 同社の株主総会で行使された議決権証券の49.9%を超える議決権を行使することが制限され、また、当社は同社の取締役会にて議決権の過半数を保有せず、同社を支配できないため、同社は当社の子会社ではない。

（注）過去の傾向が投資期間にわたり継続するという保証はなく、また、将来実施される投資が、本資料に示される投資と同等のパフォーマンスを有するという前提とするものではない。

のれん・無形資産の内訳

(億円)

B/S 項目	主な内訳	2021/ 3月末	2022/ 3月末	増減			摘要
				償却費	為替変動	その他	
のれん*		46,844	48,979				
	アーム	26,216	28,981	—	+2,766	—	
	SBKK	9,075	9,075	—	—	—	
	LINE	6,279	6,306	—	—	+27	企業結合における暫定評価の修正による増加
	ZOZO	2,129	2,129	—	—	—	
主な無形資産	テクノロジー	3,681	3,577				
	主な内訳						
	アーム	3,617	3,577	-388	+349	—	定額法 償却年数：8-20年
	顧客基盤	6,749	6,286				
	主な内訳						
	ZOZO	3,036	2,906	-130	—	—	定額法 償却年数：18-25年
	LINE	2,369	2,175	-145	—	-49	定額法 償却年数：12-18年 その他：企業結合における暫定評価の修正による減少
	アーム	957	933	-116	+91	—	定額法 償却年数：13年
商標権	3,852	5,439				ヤフーによる「Yahoo!」「Yahoo! JAPAN」に関連する日本での商標権などの取得に伴う増加(+1,785億円)を含む	
マネジメント契約	332	282					
	フォートレス	332	282	-78	+28	—	定額法 償却年数：5-10年

*SBGによる支配獲得時に認識したのれんの金額。支配獲得後に当該子会社が行ったM&Aの結果認識したのれんは含まない。ただし、アームはFY20の組織構造変更の結果、アーム事業に再配分された金額。

FY21：Tモバイル株式 ドイツテレコムのコールオプション一部行使と 同行使に係るTモバイル株式一部売却による損失

- 2021年9月、ドイツテレコムがコールオプションを一部行使

(行使されたコールオプションの内訳)

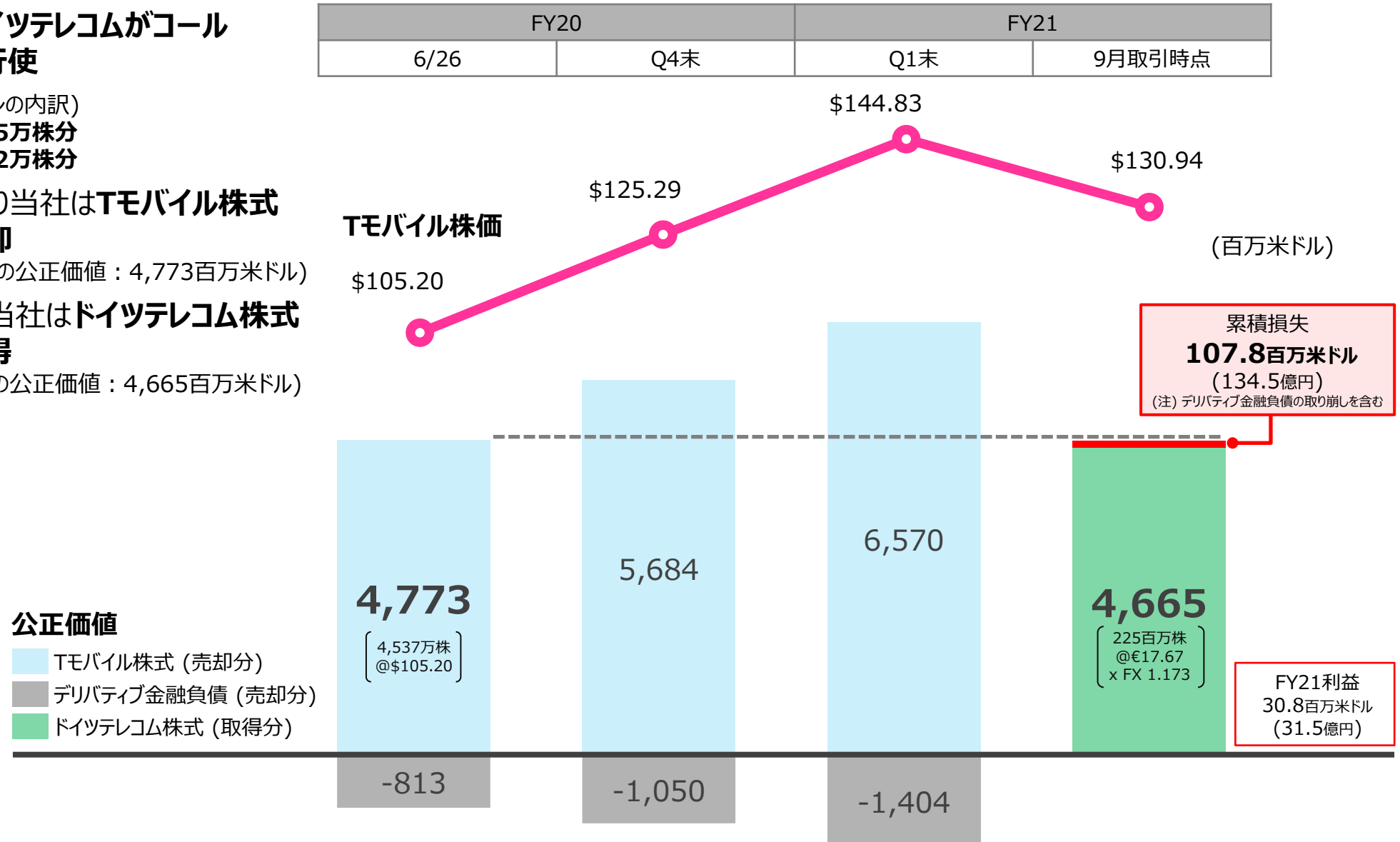
- 固定オプション：2,635万株分
- 変動オプション：1,902万株分

- オプション行使により当社はTモバイル株式4,537万株を売却

(2020年6月26日時点の公正価値：4,773百万米ドル)

- 売却の対価として当社はドイツテレコム株式225百万株を取得

(2021年9月取引時点の公正価値：4,665百万米ドル)



財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（Zホールディングスをはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、ラテンアメリカ・ファンド、アームおよびPayPay等です。

不安定な市場環境下でも財務方針を堅持し、投資活動と株主還元を着実に継続

<p>業績・NAV</p>	<p>主に上場投資先の株価下落により純損失1兆7,080億円を計上</p> <ul style="list-style-type: none"> - 投資損失を3兆4,347億円、純損失*2を1兆7,080億円計上 - NAVは18.5兆円（前年度末比31%減少）
<p>財務活動</p>	<p>安定的な財務運営のもと、着実に資金調達を実行</p> <ul style="list-style-type: none"> - LTV 20.4%、手元流動性 2.9兆円*3 - アセットバック・ファイナンス +\$22.3B（純額）（アリババ、アーム、Tモバイル、ドイツテレコム） - 社債発行、償還 +1兆481億円（純額）
<p>投資活動</p>	<p>新規投資と収穫およびポートフォリオの分散が進展。自社株買いも実行</p> <ul style="list-style-type: none"> - ファンドによる投資：\$44.2B（SVF1&2）、\$4.3B（ラテンアメリカ・ファンド） - ファンドの売却・資金化：合計\$24.6Bの売却や資金化（SVF1&2） - ファンドからの分配：SVF1 & 2から合計\$15.2B*4の分配金受領（SBG） 投資からの分配金を再投資へ - ポートフォリオの分散：保有株式価値に占めるアリババの割合は23%に - 自社株買い：4,330億円（2021年11月～2022年4月）

*1 別途記載がある場合を除き、2022年3月31日時点

*2 親会社の所有者に帰属する純損失

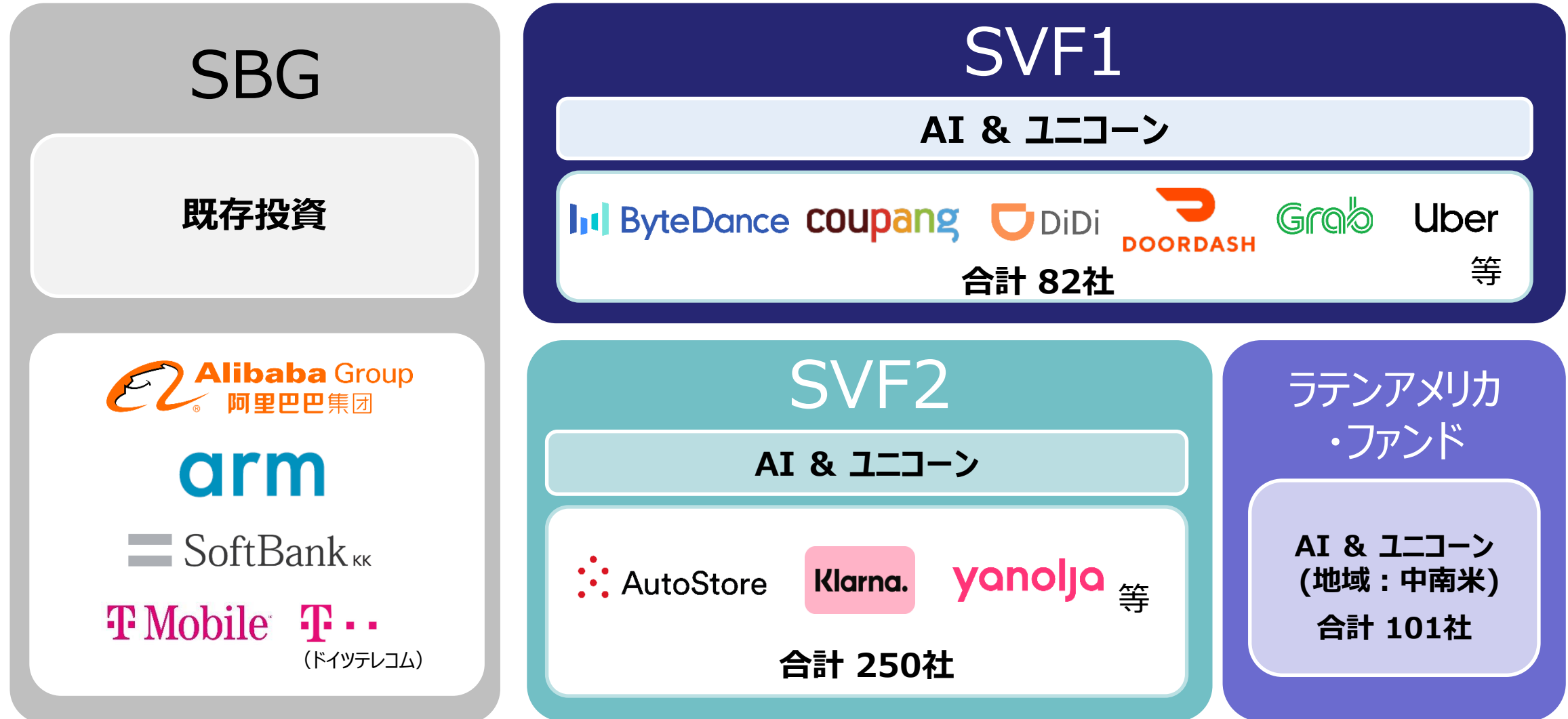
*3 現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋コミットメントライン未使用枠。2022年3月末のコミットメントライン未使用枠は1,247億円。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

*4 SVF1のインセンティブスキームへの分配金（\$1.0B）を含む。

- **投資事業の状況**
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

グループの投資活動

複数の投資エンティティがそれぞれの分野で活動し、本格的なAI時代の到来に備える



(注)
 1. 2022年3月31日時点で保有する投資先を記載
 2. 本頁の情報はグループの投資活動の説明目的でのみ記載されており、各投資エンティティの投資対象を網羅するものではない。

ソフトバンクグループ = 情報革命の資本家

- 資本を提供することによって、投資先やグループ会社と情報革命を推進し、ビジョンを実現
- 中長期視点での投資リターンの最大化に注力

SVF等を通じて世界のユニコーン企業に投資

- 投資先を通じてAIによるイノベーションを促す

アームのさらなる成長とエコシステムの確立

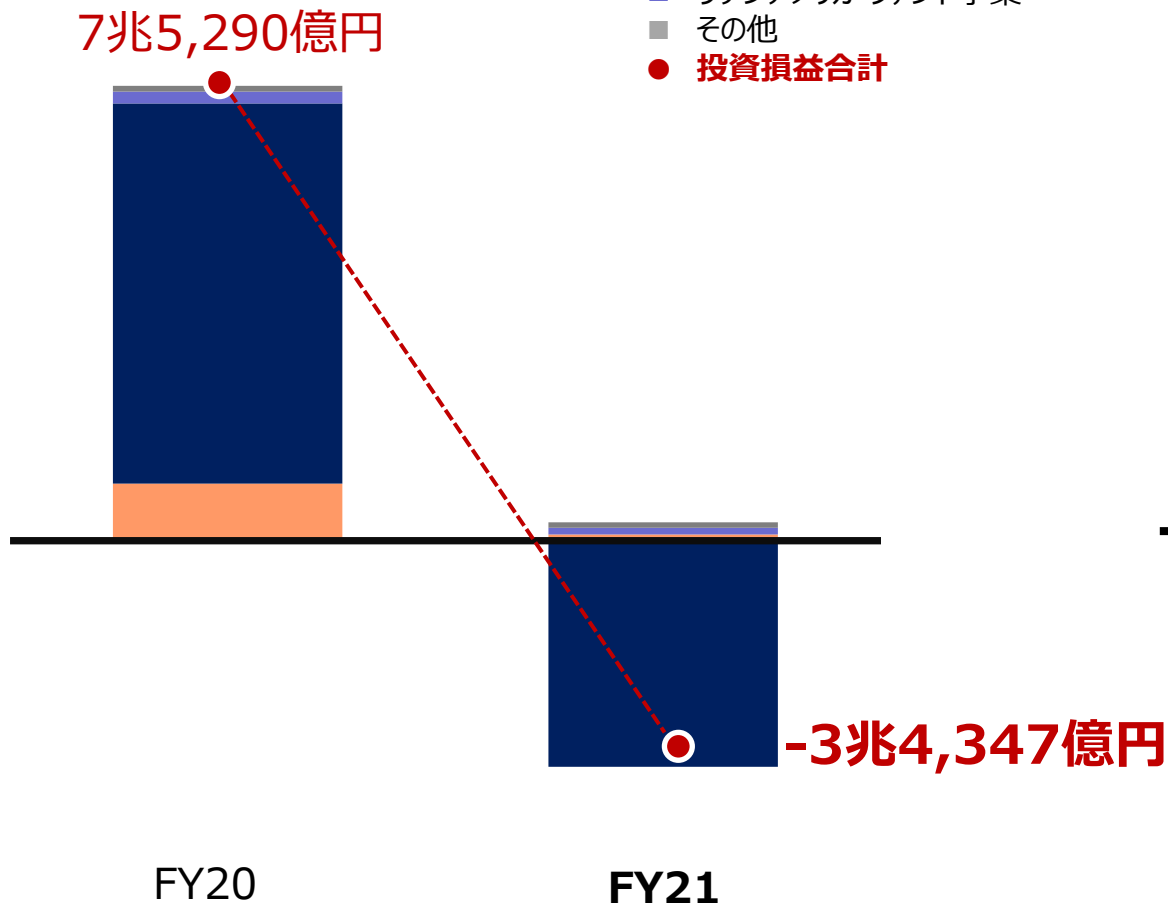
- 情報革命のあらゆる分野でのアームアーキテクチャーの浸透

投資損益・純利益

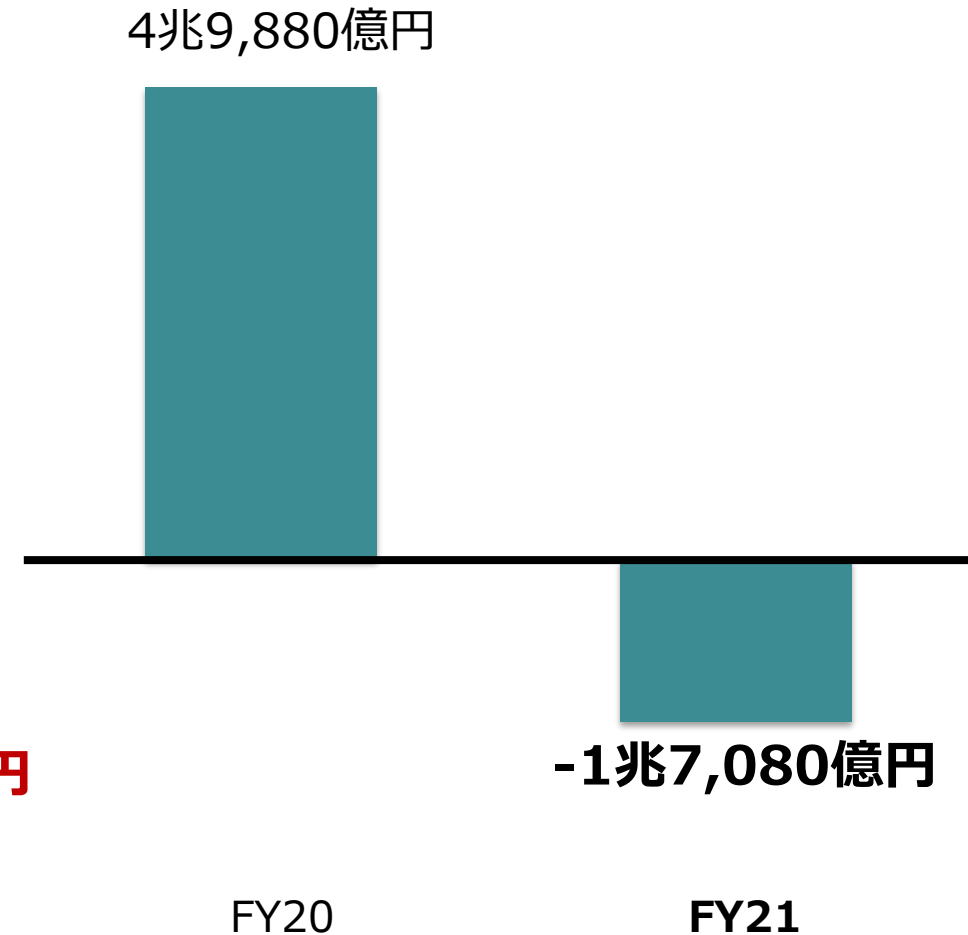
投資損失3兆4,347億円、連結純損失1兆7,080億円を計上

投資損益

- 持株会社投資事業
- SVF1&2
- ラテンアメリカ・ファンド事業
- その他
- 投資損益合計



純利益 (親会社の所有者帰属分)



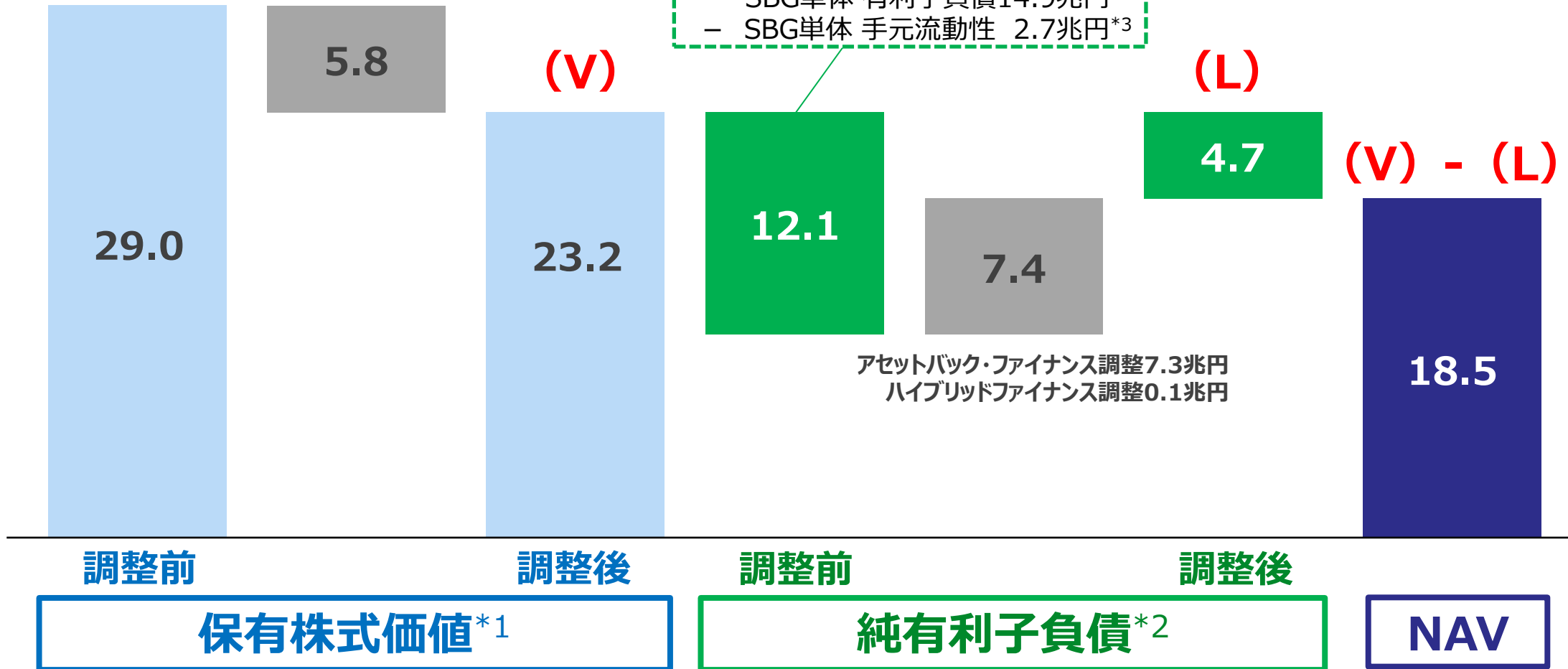
NAV (Net Asset Value) の計算 (2022年3月末時点)

NAVは18.5兆円

(兆円)

アセットバック・ファイナンス調整

SBG単体 有利子負債14.9兆円*3
 - SBG単体 手元流動性 2.7兆円*3



*1 詳細についてはp48~51を参照

*2 詳細についてはp52~53を参照

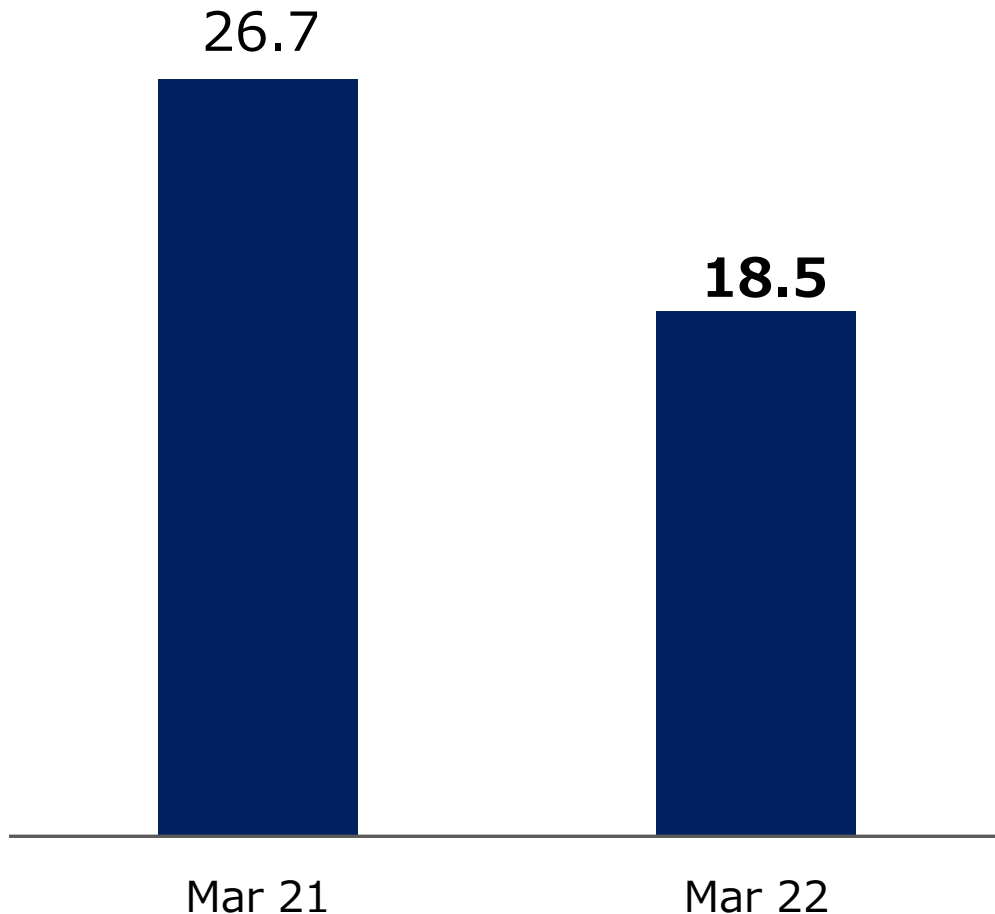
*3 SB Northstarを除く。

NAV・1株当たりNAV

NAVは前年度末比31%減少

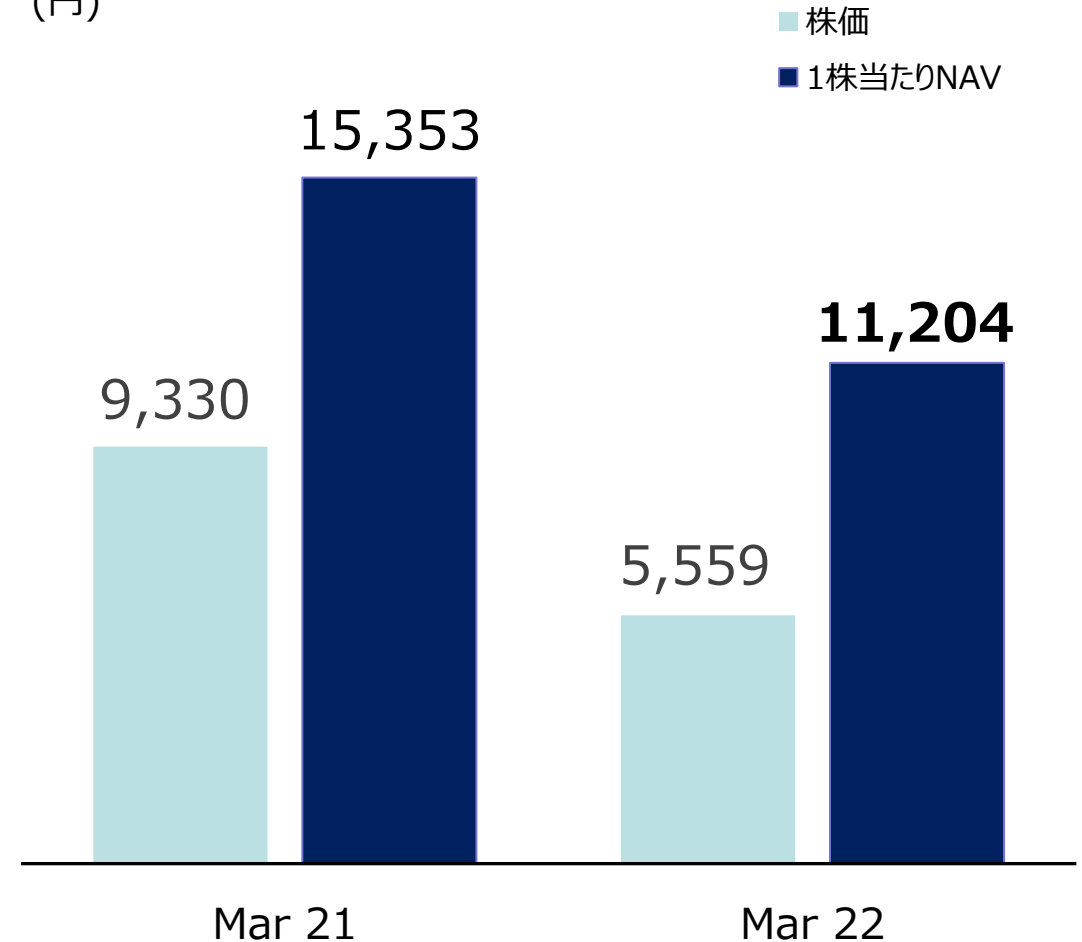
NAV (Net Asset Value)

(兆円)



1株当たりNAV*1と株価

(円)



(注) 各年度末時点

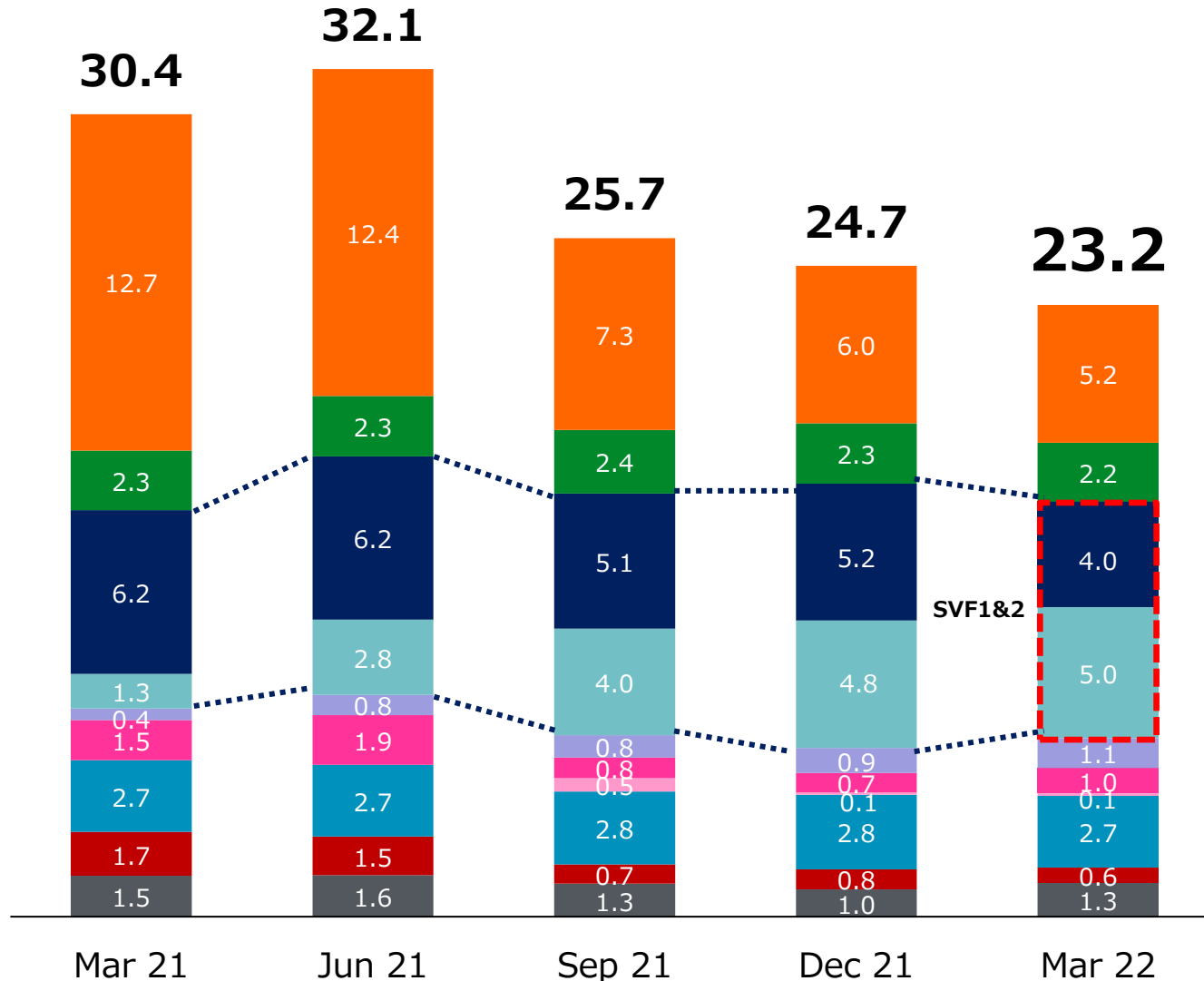
*1 1株当たりNAV = NAV ÷ 発行済株式総数 (自己株式を除く)

保有株式価値

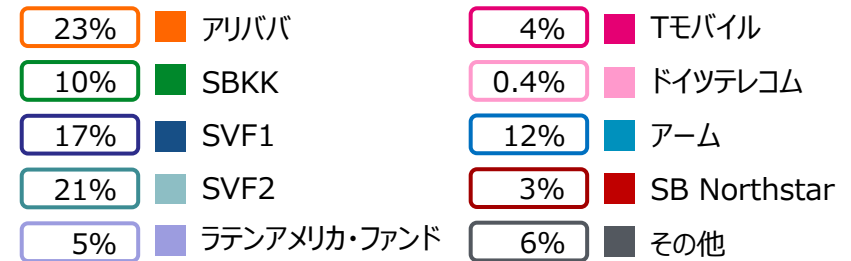
保有株式価値は23.2兆円に減少

アセットバック・ファイナンス除く

(兆円)



構成比 (2022年3月31日時点)



2022年3月末時点の詳細はAppendix参照

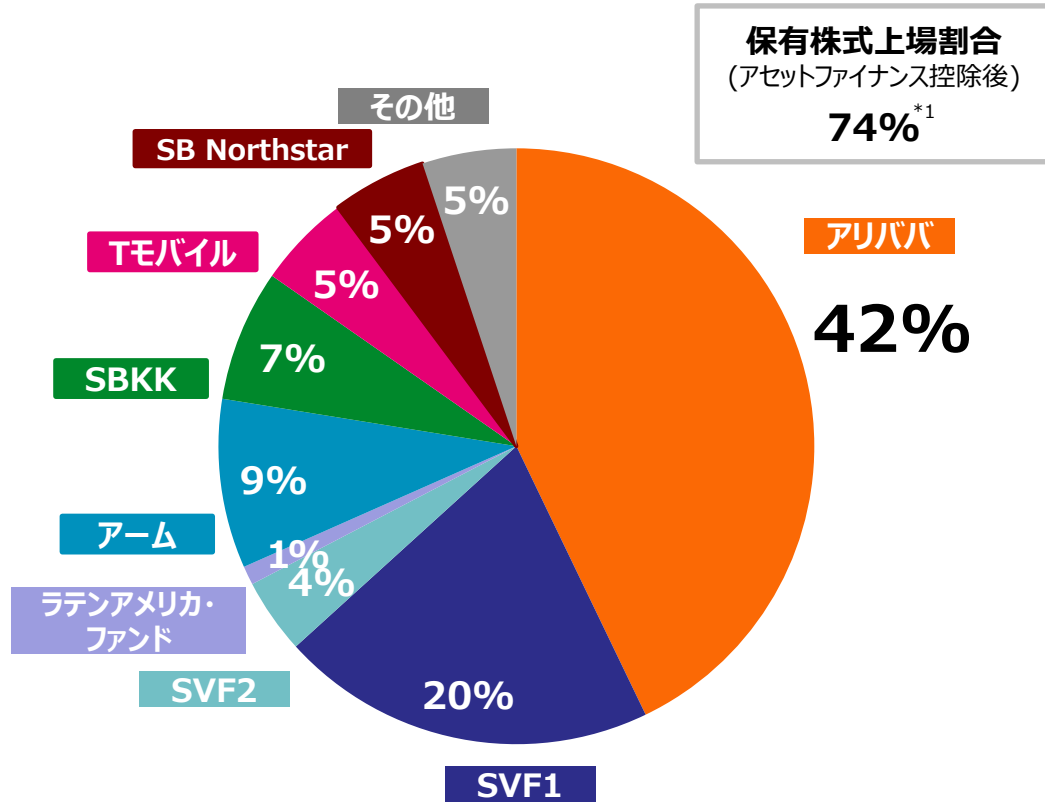
- (注) 各四半期末時点
- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数に同証券の株価を乗じ算出。アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約 (フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド) のうち、未決済分の満期決済金額 (同社株価 (米国預託証券) で算出) の合計額、アリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除。SB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除 (FY2021Q1まで)
 - SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出。SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額を控除
 - SVF1: SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込金額等
 - SVF2: SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
 - ラテンアメリカ・ファンド: ラテンアメリカ・ファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込金額
 - Tモバイル: SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出 (ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数 (2022年3月末時点: 56,124,954株) を含む)。一定の条件下でTモバイル株式 (48,751,557株) をSBGが無償で取得できる権利の公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算。ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額、Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額およびTモバイル株式を活用した先渡売買契約 (カラー契約) の満期決済金額を控除。(Tモバイル株式を活用したマージン・ローンについては、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としている)。
 - ドイツテレコム: SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出。同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額を控除
 - アーム: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出 (FY2021Q3まで)。SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づきSBG持分 (発行済株式の75.01%) の公正価値から、SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除して算出。
 - SB Northstar: SB NorthstarのNAV (Net Asset Value) に対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出。SB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を加算して算出 (FY2021Q1まで)。
 - その他: 上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値 (公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価) に基づいて算出

保有株式価値：ポートフォリオの分散

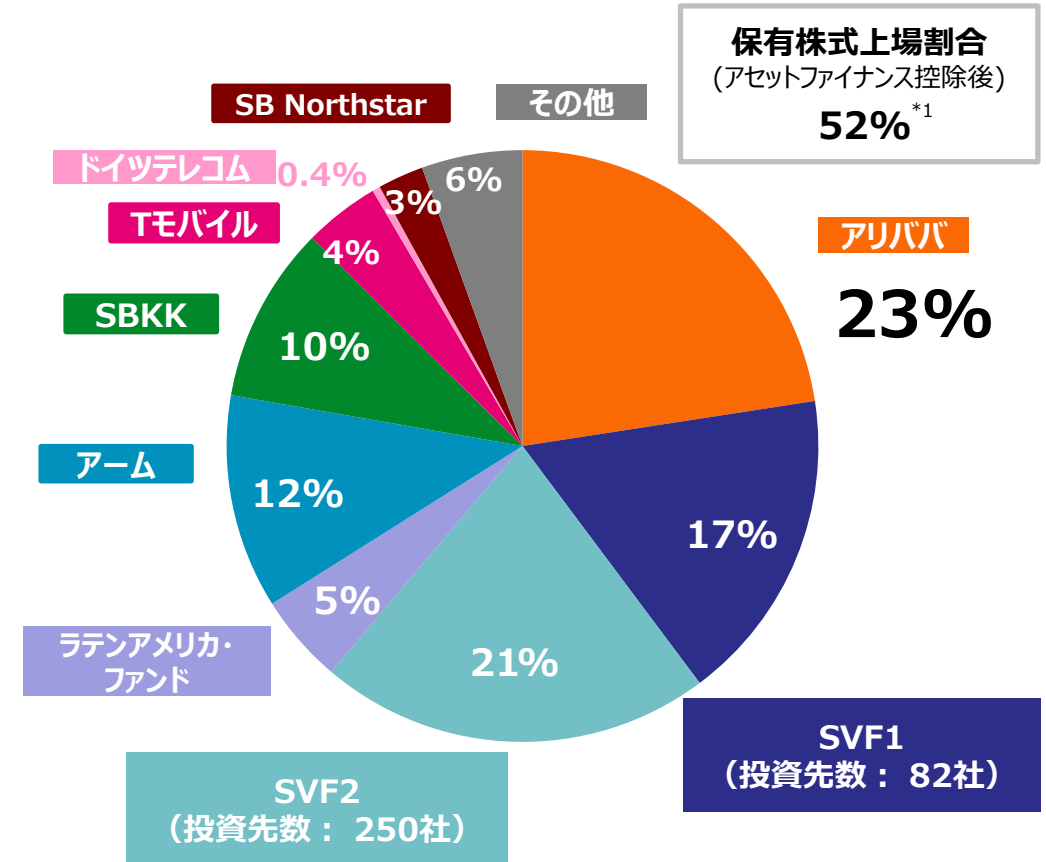
SVF2などの投資進捗により資産の分散が進む

アセットバック・ファイナンス除く

2021年3月末



2022年3月末

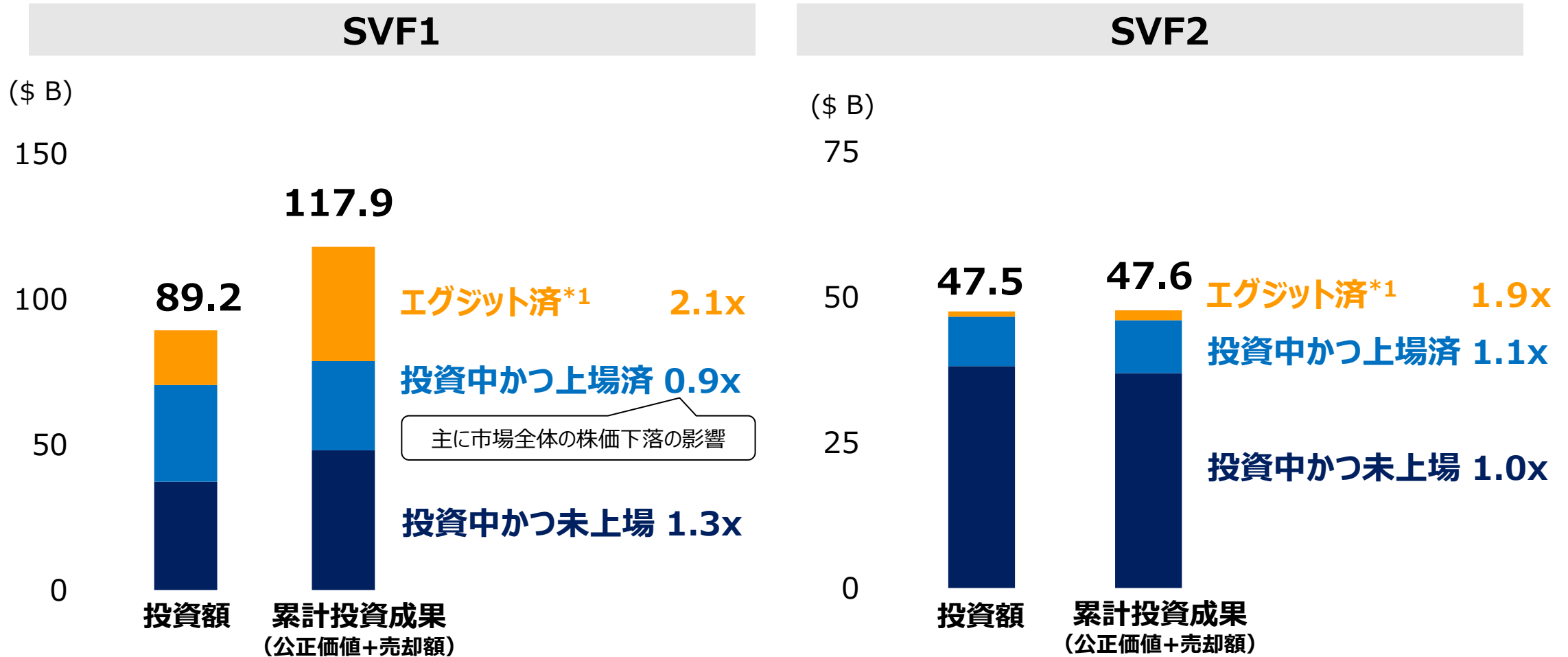


(注) 保有株式価値の内訳は、財務編p48を参照

*1 保有株式価値（総額）に占める、上場株式の割合。アリババ、SVF1・SVF2・ラテンアメリカ・ファンドおよびSB Northstarが保有する上場株式、SBKK、Tモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む（ただし、SVF1・SVF2はSBGの持分のみを含む）。

SVF1&2：累計投資成果（SBG連結ベース、2022年3月末時点）

累計投資成果はSVF1で\$117.9B、SVF2で\$47.6B



(注)

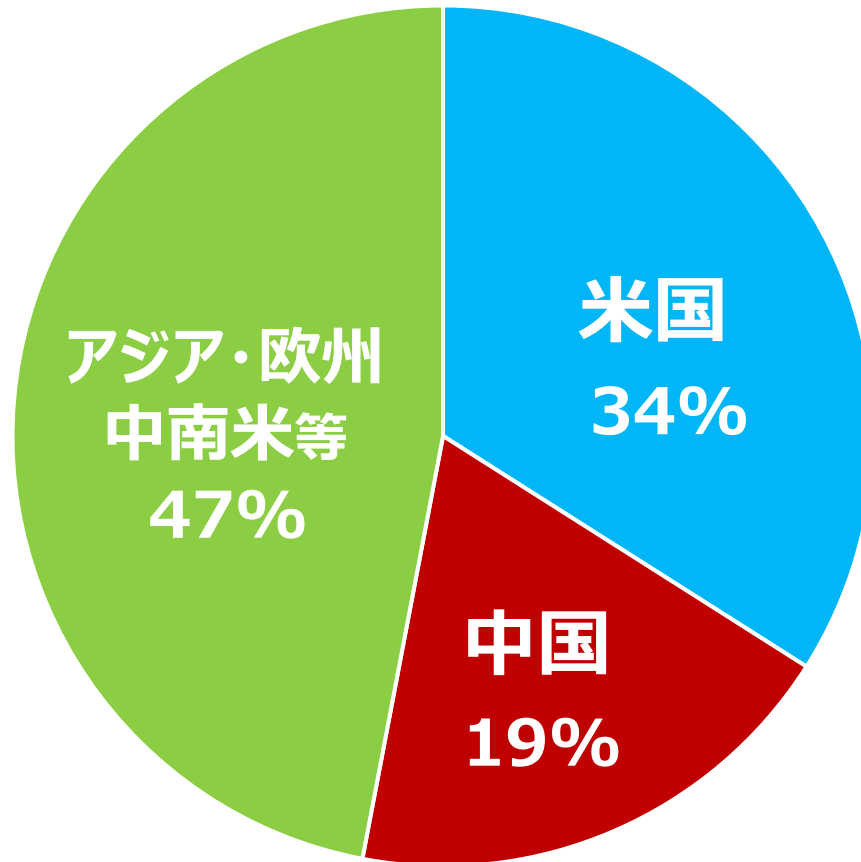
1. 当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めていない。

2. 外部投資家持分および税金等の控除前

*1 エグジット済には、投資に係るデリバティブ関連損益および投資先からの利息や配当金を含む。

SVF1&2等投資先 時価 (2022年3月末時点・売却済除く)

地域別構成比は2021年12月末比でほぼ横ばい



中国への投資（時価）は
12月末比で減少したが、
他地域の時価も減少

(注)
 1. SVF1&2等：SVF1, SVF2、ラテンアメリカ・ファンド、その他のSBGによる上場投資および非上場投資（アリババ、Tモバイル、ドイツテレコム、SBKK、アーム、SB Northstarを除く）
 2. 時価に基づく比率を表示
 3. 時価：2022年3月末時点の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づき算出。売却済除く
 4. 国・地域：投資先の本社所在地に基づき定義
 5. アジア：中国を除く

SVF1&2：平均投資額の縮小

SVF2の1社あたり平均投資額は\$0.2B

SVF1

1社あたり平均投資額



累計投資額 **\$87B**

累計投資件数 **94件**

(株式交換や現物配当により取得した4件を除く)

SVF2

1社あたり平均投資額



累計投資額 **\$41B**

累計投資件数 **242件**

(SBGからSVF2に移管された9件を除く)

(注)

1. 2022年3月31日時点

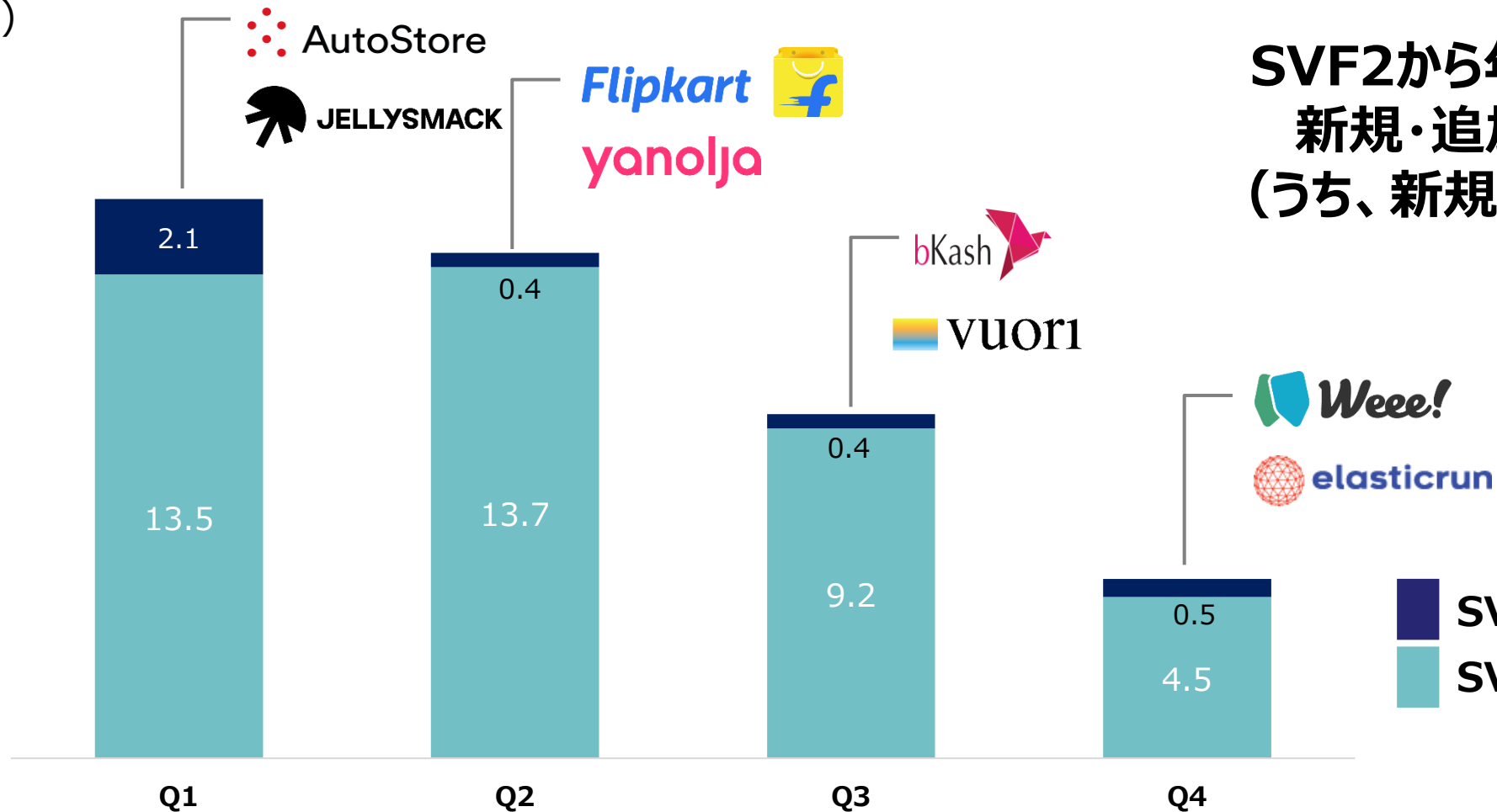
2. 累計投資額および累計投資件数にはエグジット済みの投資先を含む。

SVF1&2の投資活動（FY21）：投資

SVF2を中心に、SVF1&2から合計\$44.2Bの新規・追加投資を実行



(\$B)



SVF2から年間\$40.8Bの新規・追加投資を実行
 (うち、新規投資207銘柄)

SVF1&2の投資活動（FY21）：新規上場

大型上場を複数実施し、合計21銘柄が新規上場



ファンド	上場済み					
SVF1		COMPASS			满帮 *1	
		policy bazaar	ROIVANT SCIENCES	商汤	wework *1	
	計12銘柄、公正価値合計\$13.9B（2022年3月末）					
SVF2	创新奇智			叮咚买菜 (Dingdong)		
	满帮 *1		JDL 京东物流 (JD Logistics)		wework *1	掌门教育
	計11銘柄、公正価値合計\$8.5B（2022年3月末）					

(注) 投資の売却又はIPOに関する情報への言及は、SVF1およびSVF2の過去及び現在の投資対象のうち上場に係る情報の提供のみを目的としており、SVF1およびSVF2の投資対象の全てを網羅するものではない。SVF1およびSVF2の特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはならない。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではない。SBIAが、同社の投資に係る目的、方針及び戦略を実行又は達成するという保証はない。本資料に記載される計画の実現は、投資家の同意又は監督官庁の承認等の不確実性とリスクを含み、ここに記載の全て又は一部の条件で実現することを保証するものではない。

*1 SVF1およびSVF2からの投資

SVF1&2の投資活動（FY21）：売却・資金化

合計\$24.6Bの売却・資金化*1,2を実施

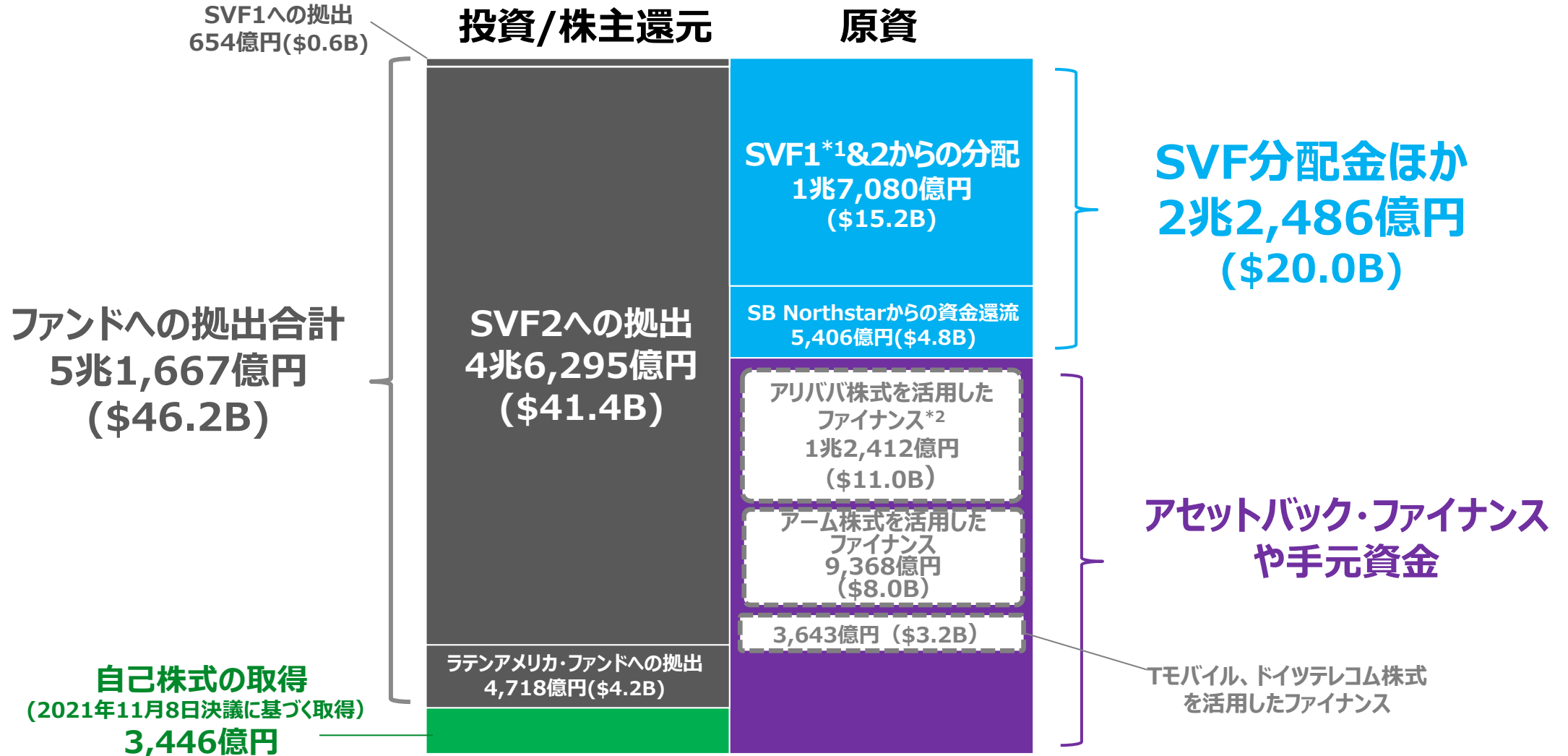
	投資	新規上場	売却・資金化
ファンド			売却・資金化*1
SVF1			 等、計13銘柄の一部と2銘柄*1の全株式を売却
			合計\$16.5B*1,2
SVF2			 KE Holdings (Beike) (一部) 等、計3銘柄の一部と1銘柄の全株式を売却
			合計\$8.1B*2

*1 株式交換を除く。

*2 アセットバック・ファイナンスを含む。

投資と回収のサイクル (FY21)

約2.2兆円を回収し新規投資へ充当。自己株式の取得も継続



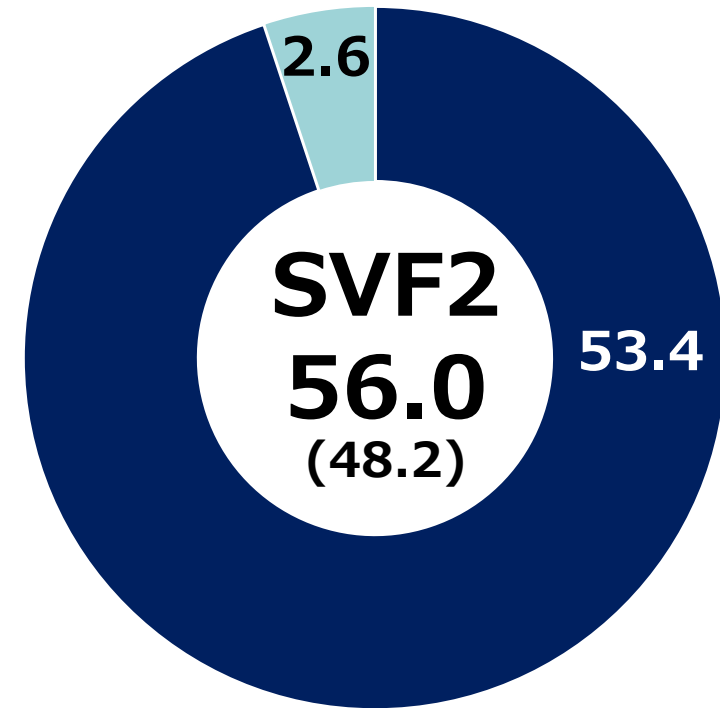
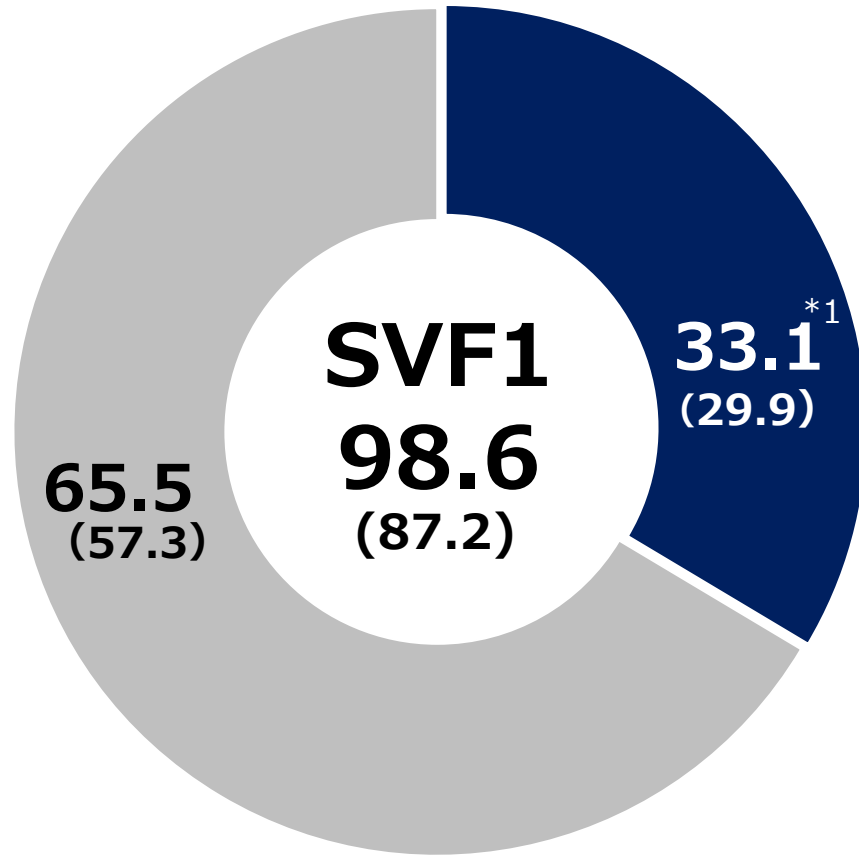
(注) 各四半期の期中平均レートで換算

*1 SVF1のインセンティブスキームへの分配金 (\$1.0B)を含む。

*2 アリババ株式を活用した先渡し買契約およびマージン・ローンによる調達額 (純額)

SVF1&2 : コミットメント状況 (2022年3月末時点)

(\$ B)



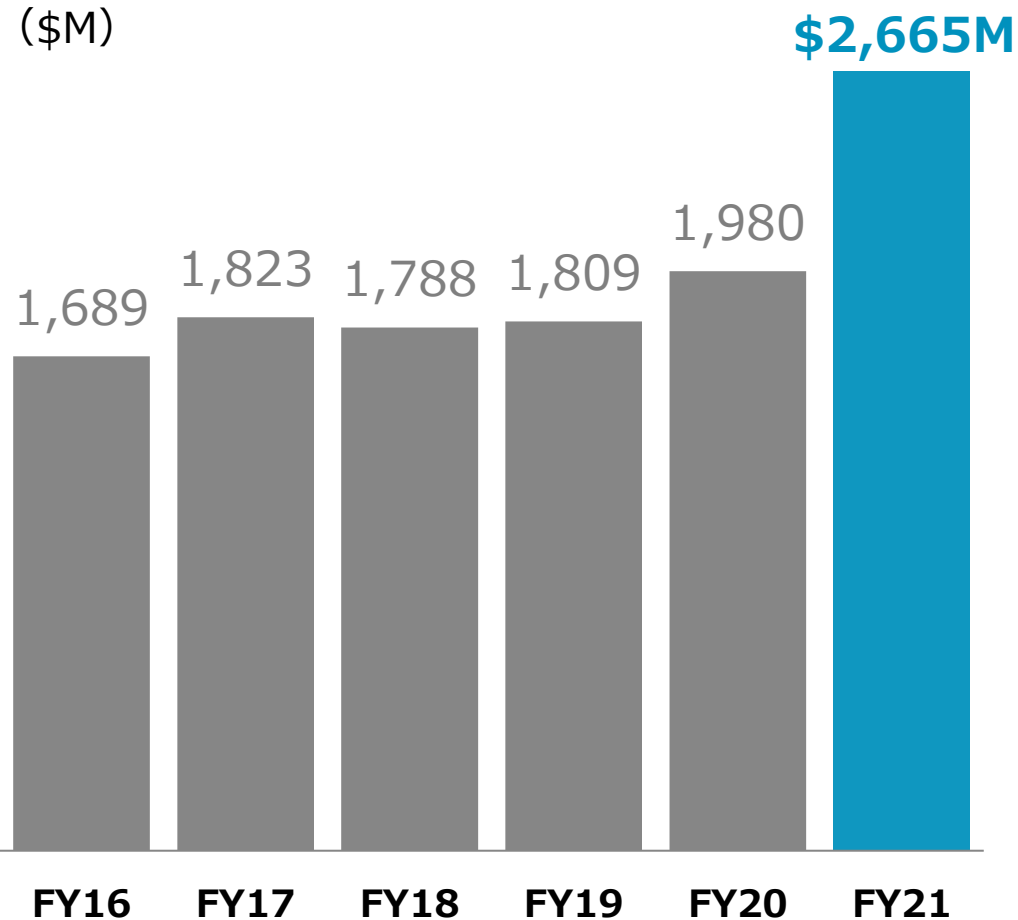
※ 括弧内は拠出額

*1 SVF1への当社の出資コミットメントは、アーム株式を活用した\$8.2B相当の支払義務履行分（全該当株式を拠出済み）のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される\$2.5Bを含む。

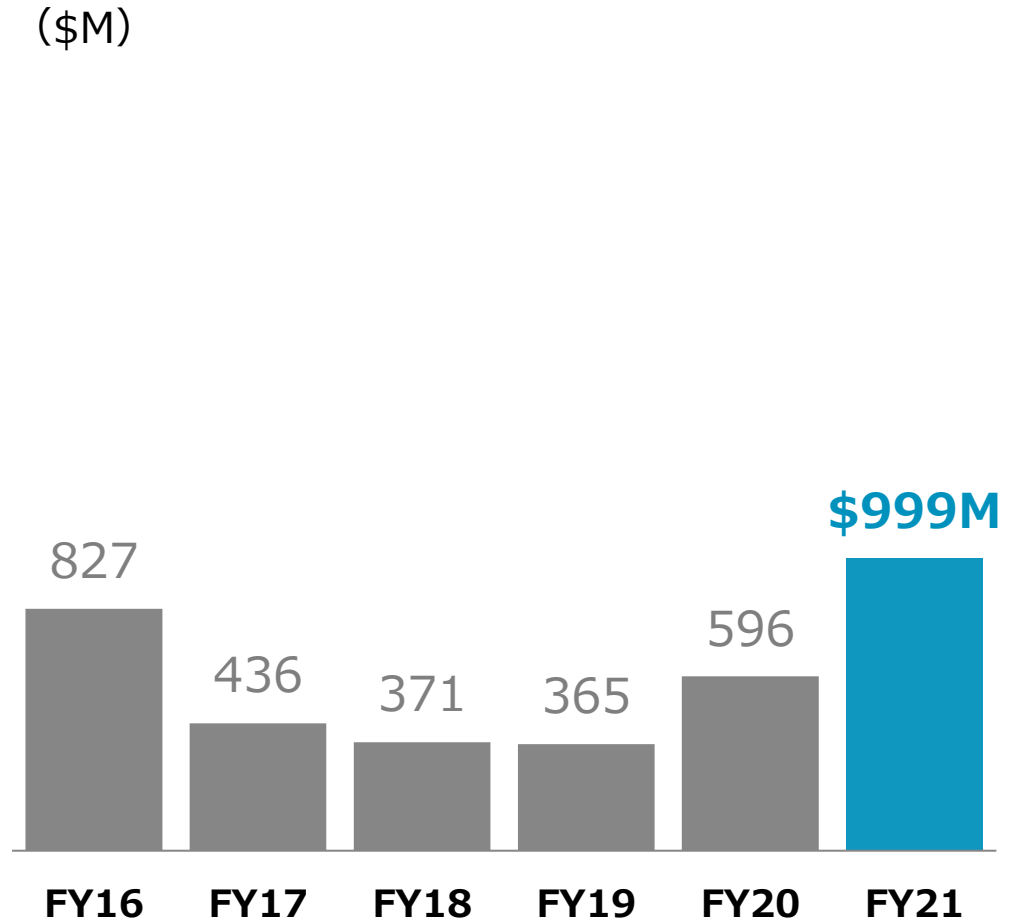
*2 孫 正義以外の経営陣の参加は2022年4月末現在未決定だが、将来的に参加を予定。2022年3月末時点で出資は全額が未払い

アーム：売上高・調整後EBITDA

売上高*1（年間）



調整後EBITDA*2（年間）



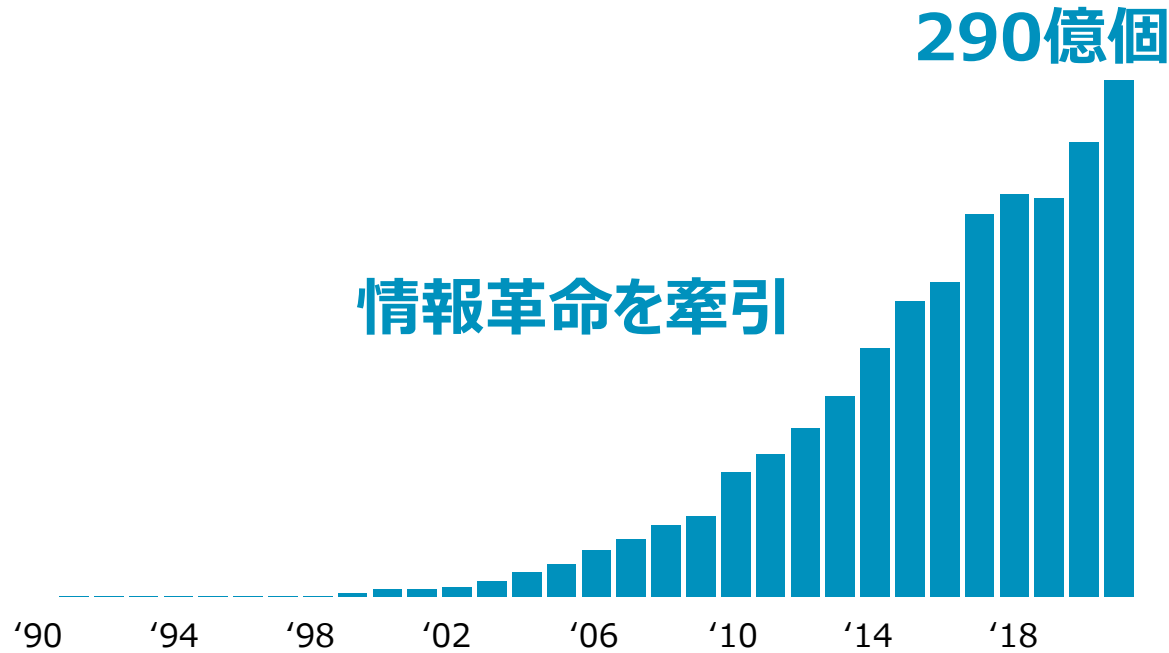
(注)

1. 出所：アーム
 2. IFRSを基準としているが、完全に準拠しているとは限らない。
 3. 全ての数字は未監査であり、方向性を示す目的としてのみ情報を提供する。
 4. 全ての数字は暫定的なものであり、変更になる可能性がある。
 5. SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負わない。
- *1 FY17以降：ISG事業を除く。
 *2 FY18～FY19：ISG事業に係る直接費用を除く。FY20～FY21：ISG事業に係る直接費用およびISG事業に関連する本社費用を除く。
 ISG事業：Internet-of-Things Services Group；IoTに関連するサービスグループ

アーム：上場準備へ

アームベースチップ出荷数（単年）*1

マーケットシェア*2



モバイル
95%

IoT
63%

成長産業のキープレイヤーに

自動車
24%

クラウド
5%

上場準備へ アームチャイナのガバナンスは正常化*3

(注) 本スライドは例示のみを目的として提供しており、アームから提供された情報に基づいて作成している。SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負わない。

*1. アームベースチップ出荷数：単年の出荷数（出所）アーム

*2. モバイル：スマートフォンとタブレットのアプリケーションプロセッサにおけるマーケットシェア(数量ベース)、IoT：産業向け・IoT製品向けの組込型チップ及びIoTチップにおけるマーケットシェア(数量ベース)、自動車：プロセッサを搭載した自動車向けチップにおけるマーケットシェア(数量ベース)、クラウド：クラウド事業者のサーバにおけるマーケットシェア(数量ベース)、各2021年の年間マーケットシェア（出所）アームによる推定(2022年4月提供)

*3. 詳細は、2022年2月8日付プレスリリース「当社子会社Arm Limited全株式の売却契約の解消及びArm Limitedの株式上場の準備に関するお知らせ」、および、2022年4月30日付プレスリリース「Arm China Majority Shareholders Announce the Company's Corporate Governance Issue Has Been Resolved」を参照

- 投資事業の状況
- **財務の状況**
- 財務戦略
- ESGの推進

FY21Q4の主な財務活動

アセットバック・ファイナンスを機動的に実施

社債	国内劣後社債	
	国内劣後社債の発行（2月）	+5,500億円（+\$4.7B）
	国内劣後社債の満期償還（2月）	-4,044億円（-\$3.5B）
アセットを活用した 資金調達	アーム株式	
	アセットバック・ファイナンス（3月）	+\$8.0B（+9,368億円）
	アリババ株式	
	フォワード取引（1月、3月）	+\$4.1B（+4,833億円）
	Tモバイル株式	
	カラー取引（3月）	+\$0.7B（+798億円）
	マージン・ローンの返済（3月）	-\$0.6B（-685億円）

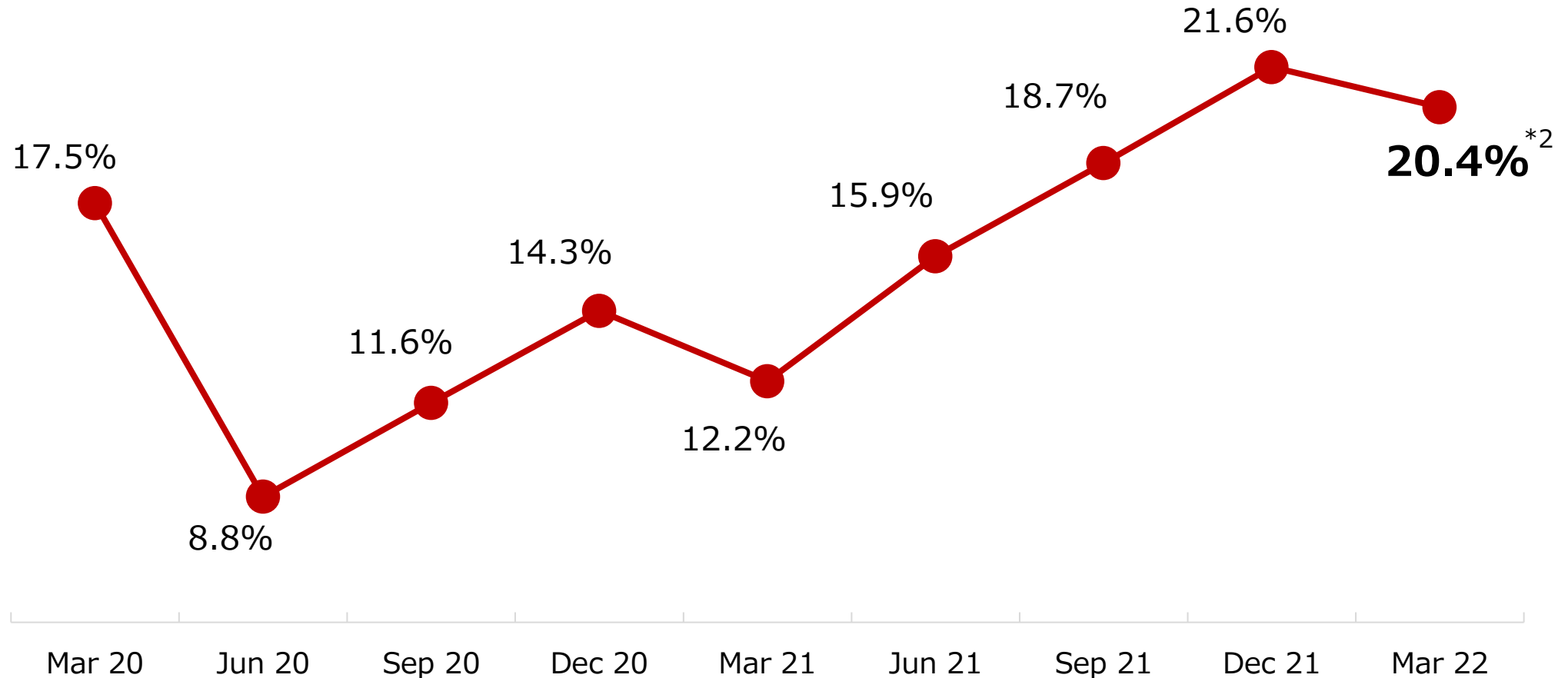
（注）社債の償還金額は額面ベース。1ドル=117.10（期中平均レート）にて算出

LTVの推移*1

十分な財務バッファを引き続き確保

アセットファイナンス除く

25%



*1 各四半期末時点の数値を記載

*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

手元流動性

社債償還2年分を超える潤沢な手元流動性を維持

手元流動性

社債償還スケジュール*2

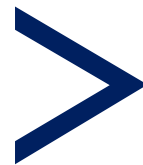
2.9兆円*1

(億円)

1,247 } コミットメントライン未使用枠*3

27,499

今後2年間の社債償還 (1.3兆円)



4,260

8,732

7,118

10,212

Mar 22

Apr 22 - Mar 23

Apr 23 - Mar 24

Apr 24 - Mar 25

Apr 25 - Mar 26

1年後

2年後

3年後

4年後

*1 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

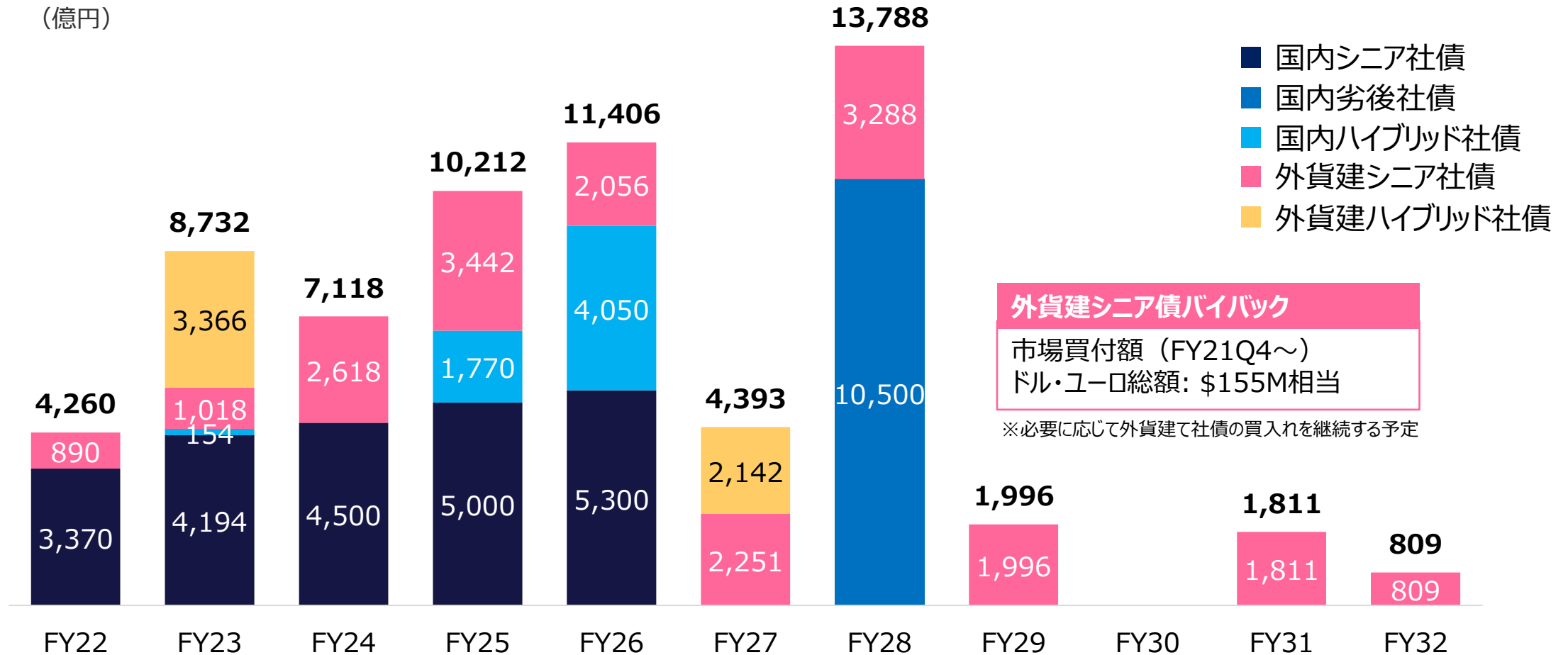
*2 社債償還金額はバイバックにより取得した社債を除く

*3 2022年3月末時点のコミットメントライン総額6,755億円のうち未使用枠は1,247億円

社債償還スケジュール

市場環境に配慮した起債運営により償還対応

(億円)



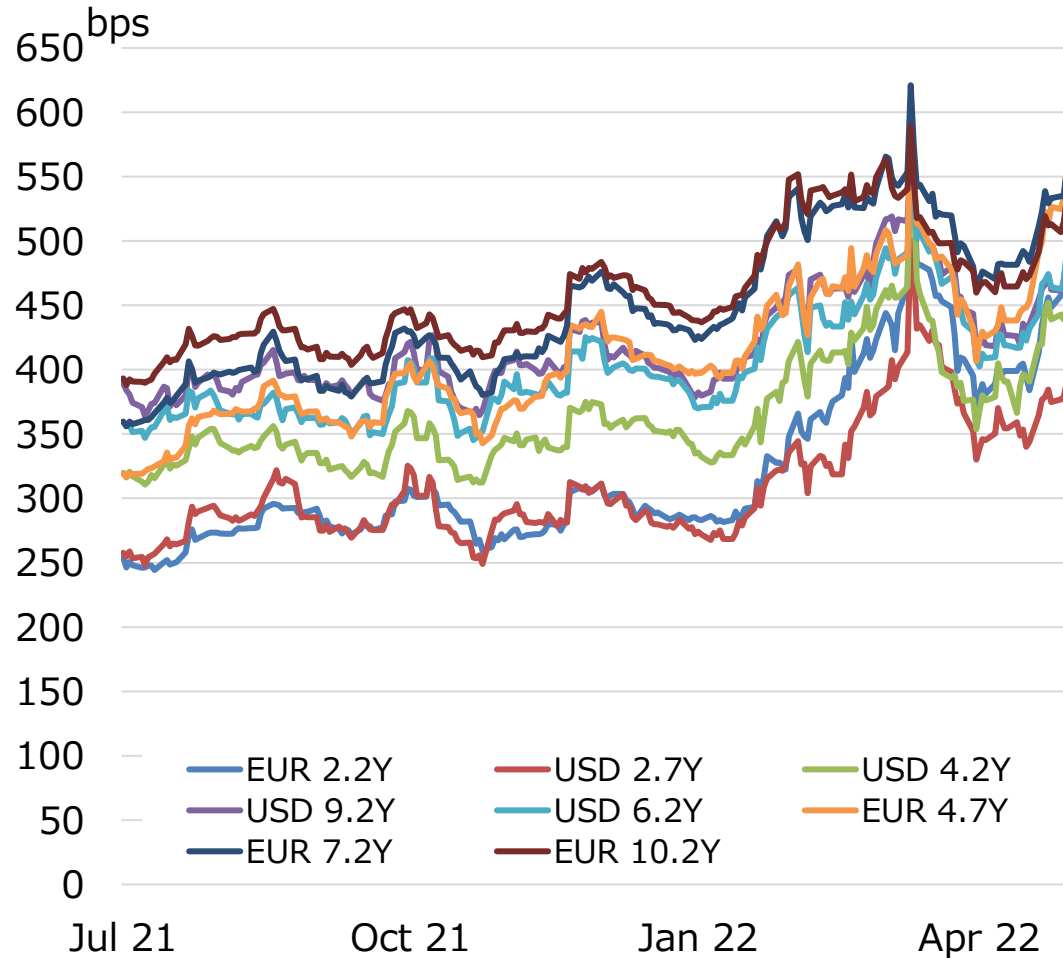
外貨建シニア債バイバック
 市場買付額 (FY21Q4~)
 ドル・ユーロ総額: \$155M相当
 ※必要に応じて外貨建て社債の買入れを継続する予定

(注)
 1. 2022年3月31日時点発行残高
 2. ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
 3. 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=122.39円、1ユーロ=136.70円にて換算
 4. バイバックにより取得した社債を除く

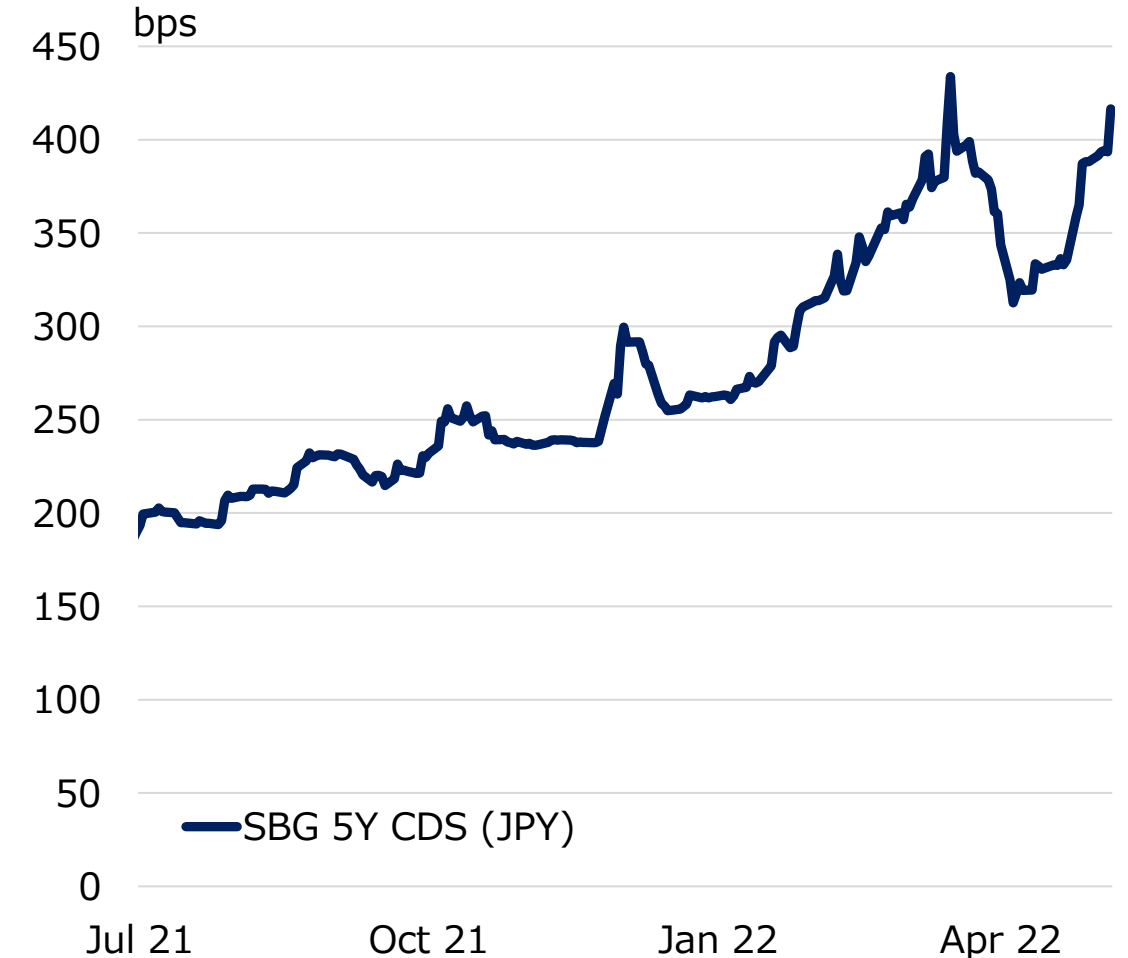
当社クレジットスプレッドの状況

クレジット市場の悪化を背景に、年初から当社クレジットは軟化

SBG外債スプレッド



SBG 5年CDS



(注) 2022年5月6日時点。Bloombergを基に当社作成。2021年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス（2022年3月）

IPOを目指すアーム株式の早期資金化。財務柔軟性の向上に寄与

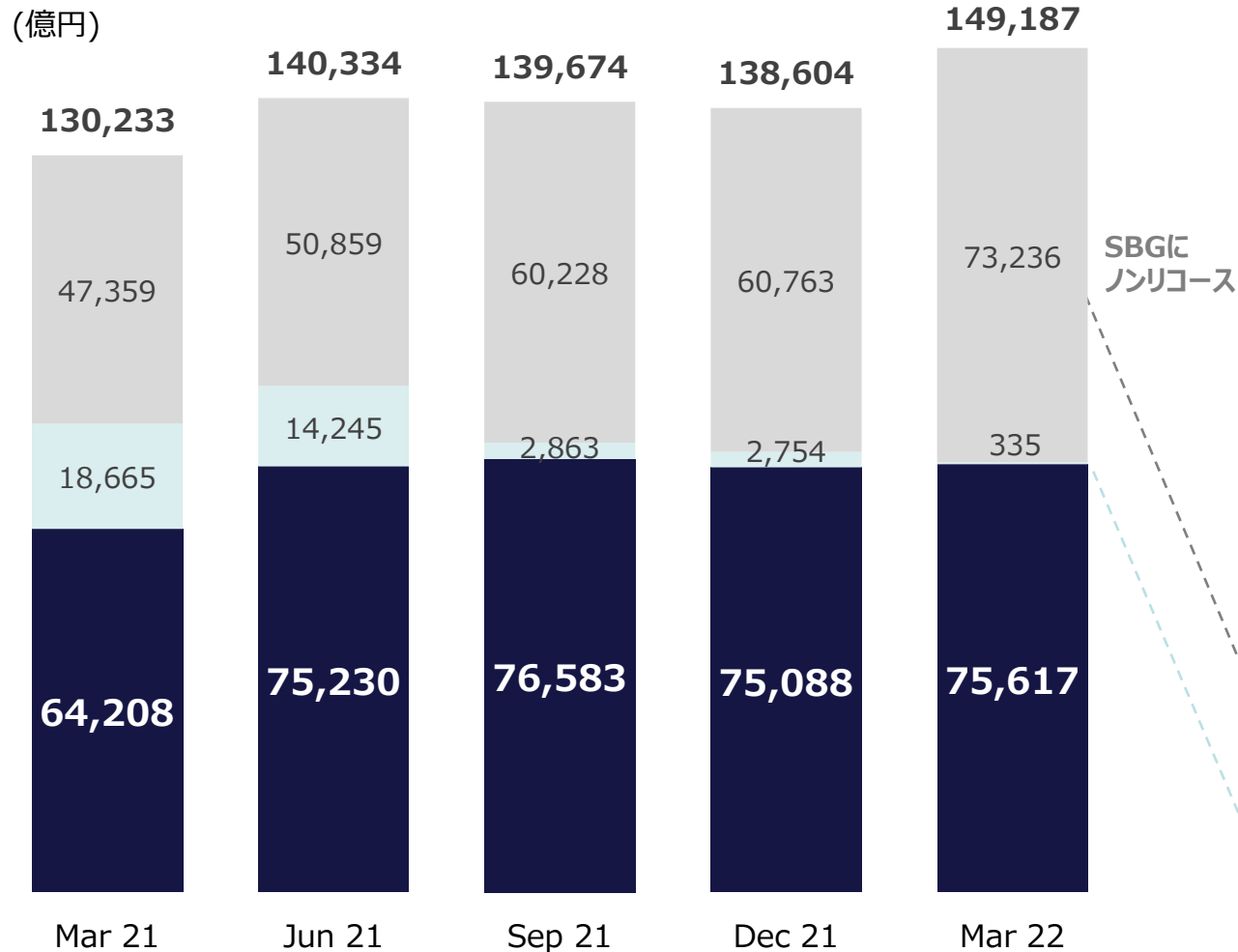
調達条件	
調達総額	80億米ドル
担保	SBG保有のアーム株式（75.01%）等
リコース	SBGにノンリコース
返済方法	期日一括返済
返済期日 ^{*1}	1. アームのIPO完了から3ヶ月後 2. 借入から24ヶ月後 のいずれか早い方

参加金融機関
JP Morgan
みずほ銀行
Goldman Sachs
Barclays Bank
Banco Santander
三井住友銀行
Natixis
BNP Paribas
Deutsche Bank
Crédit Agricole
大和PIパートナーズ

*1 タームローンの返済期日

SBG単体 有利子負債*1

ノンリコース分除く有利子負債は横ばいで推移



2021年12月末からの主な変動要因

- 国内劣後社債の発行 +5,500億円
- 国内劣後社債の満期償還 -4,044億円
- アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス +\$8.0B
- アリババ株式を活用した株式先渡売買契約の締結 +\$4.1B
- アリババ株式を活用した株式先渡売買契約の現物決済 -6,049億円

2022年3月末 内訳

2022年3月末 内訳 (億円)	
SBG 借入金	
銀行ローン	11,707
ハイブリッドローン	835
その他	9
小計	12,551
SBG 社債・CP	
国内シニア債	22,262
国内劣後債/ハイブリッド債	16,241
外債	20,680
CP	2,568
小計	61,751
SBG リース負債	
	121
子会社 有利子負債	
株式先渡契約金融負債	45,366
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,137
アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス	9,615
マージン・ローン (SBGにノンリコース*2)	14,118
マージン・ローン (SBGにリコース*2)	700
SB Northstar	335
その他	494
小計	74,765
合計	149,187

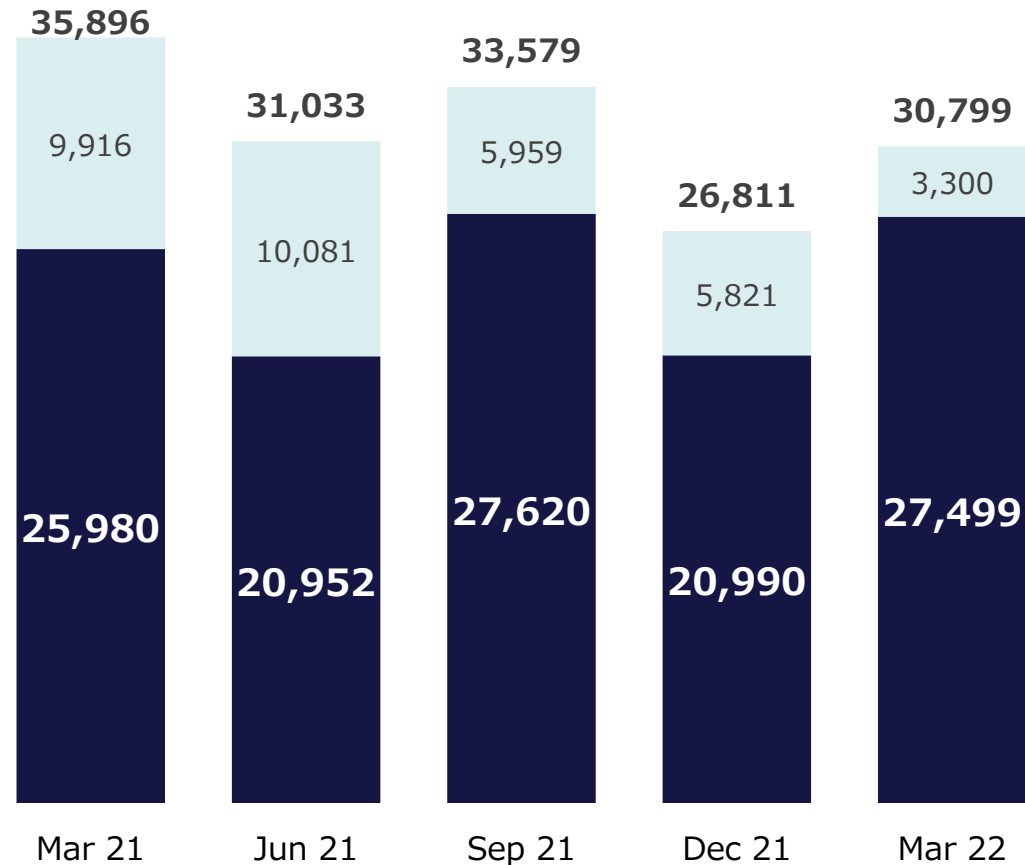
*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

*2 TEMモバイル株式を活用したマージン・ローン(借入総額\$2.06B)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$0.57B)を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額とする。尚、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージン・ローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている。

SBG単体 手元流動性

アセットバック・ファイナンスにより、手元流動性は増加

(億円)



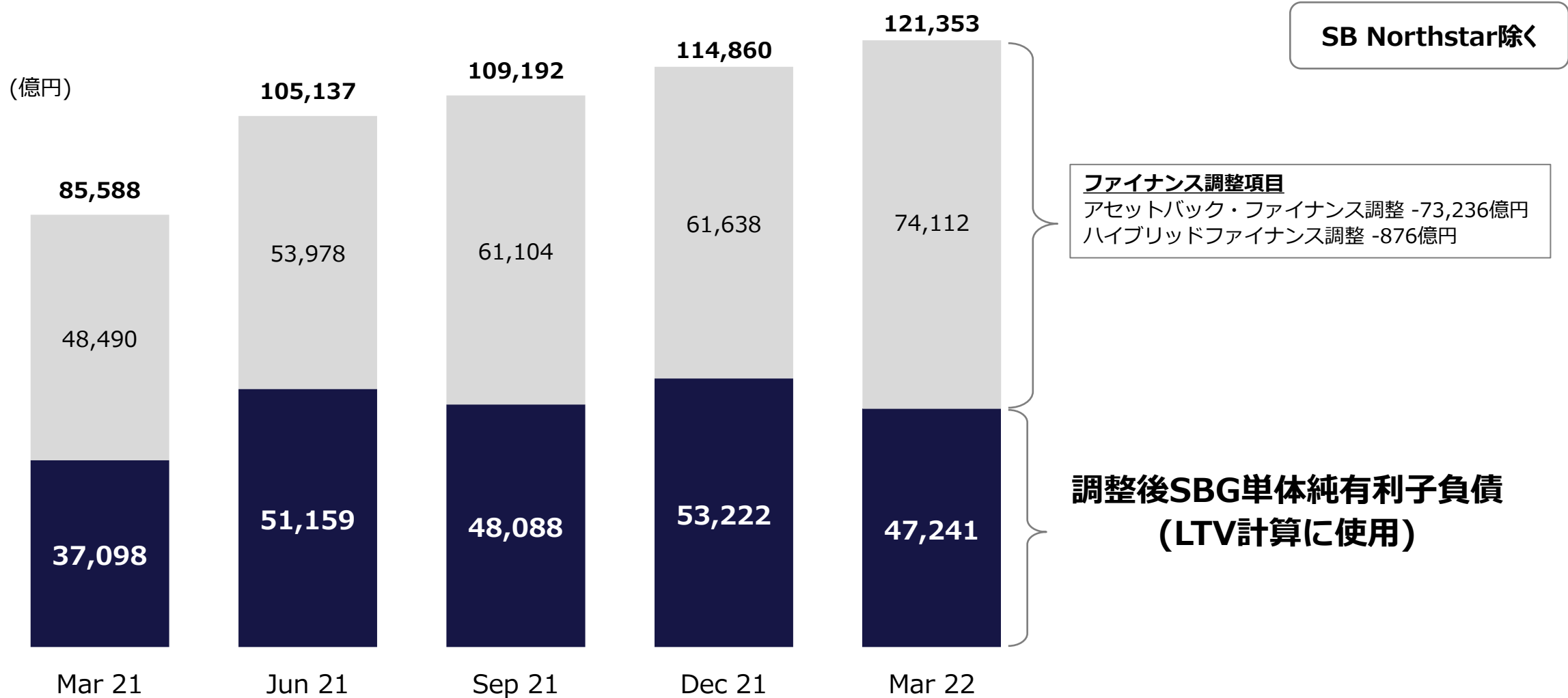
SB Northstar 手元流動性

2021年12月末からの主な変動要因	
増加	減少
・アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス (+\$8.0B)	・SVF2のキャピタルコール (-\$4.8B)
・国内劣後社債の発行 (+5,500億円)	・国内劣後社債の満期償還 (-4,044億円)
・アリババ株式を活用した株式先渡売買契約の締結 (+\$4.1B)	・自社株買い (-2,739億円)
・SVF1&2からの分配金 (+\$2.2B)	・その他投資 (-\$1.7B)

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース

SBG単体 純有利子負債

資金化加速により、調整後純有利子負債は減少

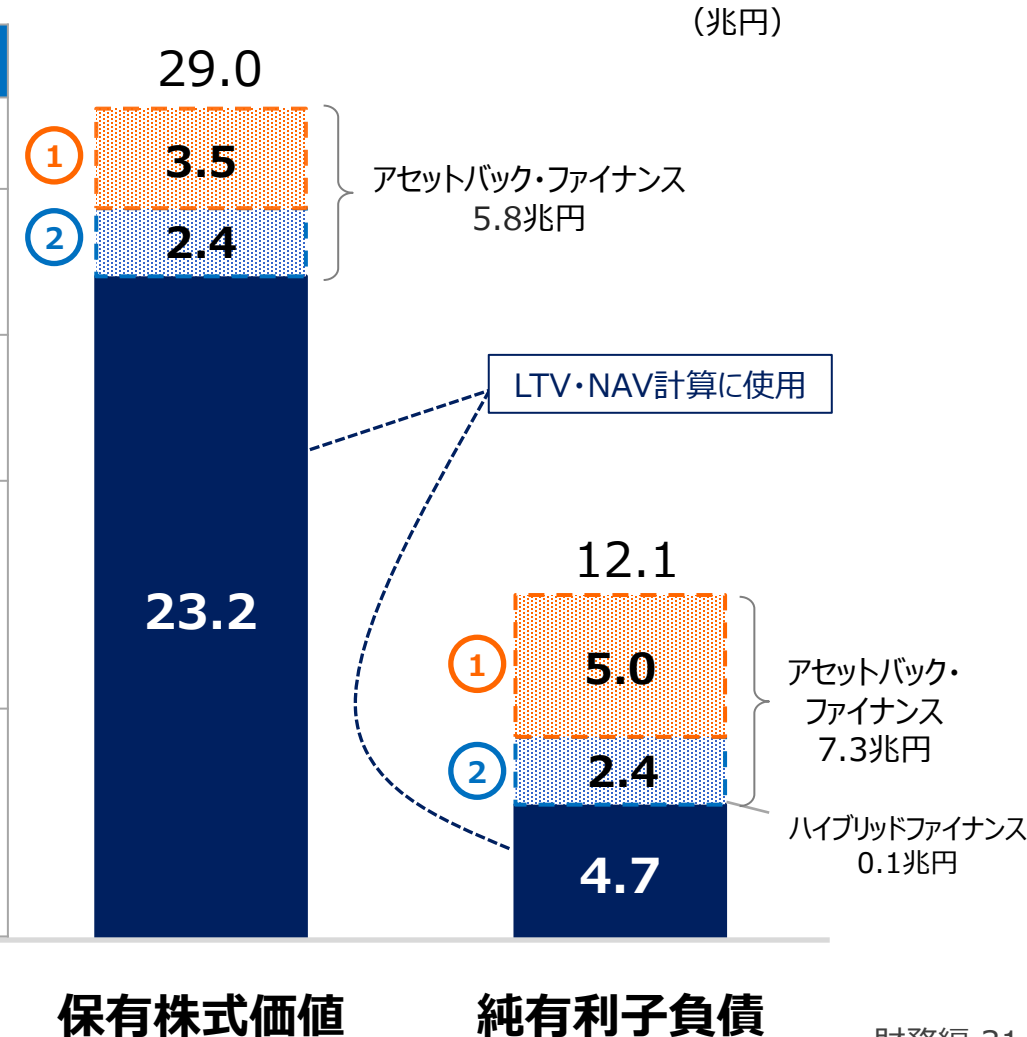


(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」に記載

LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除
同時に、決済に必要となるアセット価値をアセットから控除

	① フォワード／カラー／プット	② マージンローン等
対象株式	アリババ／Tモバイル／ドイツテレコム	アリババ／Tモバイル／SBKK／アーム
内容	株式先渡契約 ^{*1} に基づく資金調達 (SBGにノンリコース)	株式を担保に借入を行う資金調達 (SBGにノンリコース)
デット 控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変 	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変
アセット 控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額 ・株価水準によって変動 	返済に必要なアセット相当額 (バランスシート上のデット計上額)
株価下落の 影響	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少 ・追加担保等や期限前返済は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要 ・返済金額は不変



*1 あらかじめ合意された価格 (フォワード) または価格レンジ (カラー・プット) で満期に対象株式を売買する契約を締結する

(参考) フォワード・カラー取引

<p>目的</p>	<p>デリバティブを活用したノンリコースの資金調達</p>
<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 将来時点で、当初合意した価格もしくはレンジで決済する取引 • 株式担保とそれを参照するデリバティブを見合いに資金調達 • 原則、満期において現金と株式による決済のいずれも選択可 • 株価下落で満期時の決済金額が減少、株価上昇で増加する
<p>フォワード取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 担保株式を、あらかじめ合意した先渡価格で決済 • 決済価格は、担保株式の株価変動にかかわらず固定。よって将来の株価上昇によるアップサイドは享受できない
<p>カラー取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 担保株式を、あらかじめ合意した価格レンジで決済 • 株価下落時でも、価格レンジ下限で決済可。他方、株価上昇によるアップサイドは価格レンジ上限に限定

- 投資事業の状況
- 財務の状況
- **財務戦略**
- ESGの推進

投資会社として最適な財務運営体制をすでに確立

①財務方針の堅持

②あらゆる変化に
対応できる柔軟かつ
機動的な財務運営

①財務方針の堅持

1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)

2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3. SVF1&2や子会社から 継続的な配当収入 を確保

②あらゆる変化に対応できる柔軟かつ機動的な財務運営

- ◆ すでに投資会社として「投資」→「回収／資金化」→「再投資（一部株主還元）」のサイクルを確立
- ◆ この仕組みのもと、財務方針を堅持しつつ、投資活動・株主還元を継続

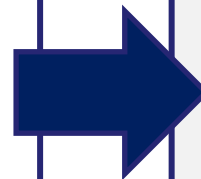
過去2年の運営実績

FY20

4.5兆円プログラムの資金化を原資に、大規模な自社株買いと財務改善を実施した結果、LTVは2020年3月末の17.5%から12.2%に改善

FY21

ファンドからの分配と資金化等の合計5.6兆円を活用して5.8兆円*1の新規投資・自社株買いを実施。LTVも20.4%でコントロール



今後の運営方針

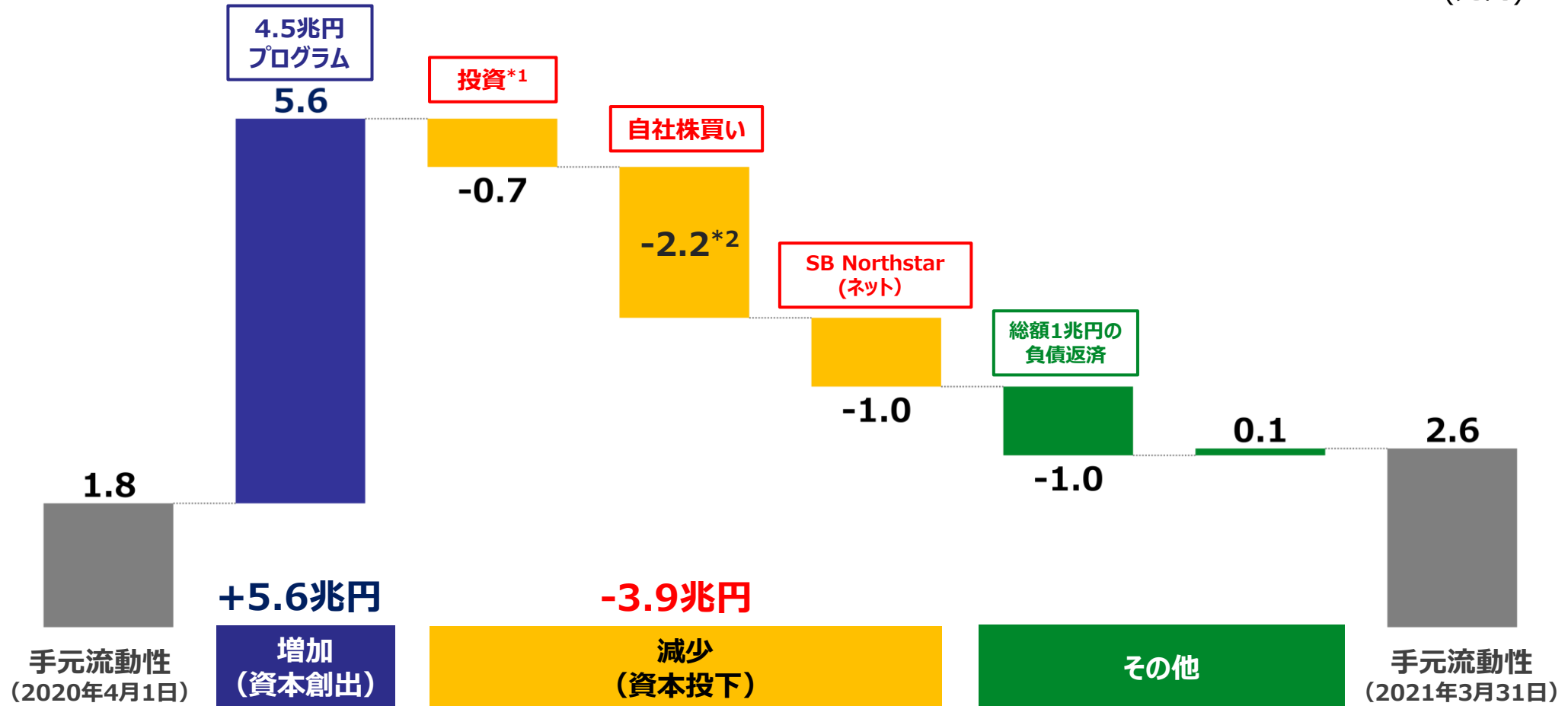
- ◆ 更なるダウンサイドに備えつつ、慎重に運営を続け、リスク要因を見極め
- ◆ 外部環境のあらゆる変化に柔軟かつ機動的に対応

*1 4.5兆円プログラムに基づく2021年4月～5月までの自己株式の取得額（2,578億円）を含む

FY20の投資回収サイクル：投資と資金化のブレイクダウン

4.5兆円プログラムにより創出した資本を主に自社株買い、財務改善に配分
SB Northstarへの投資を通じた余資運用を開始

(兆円)

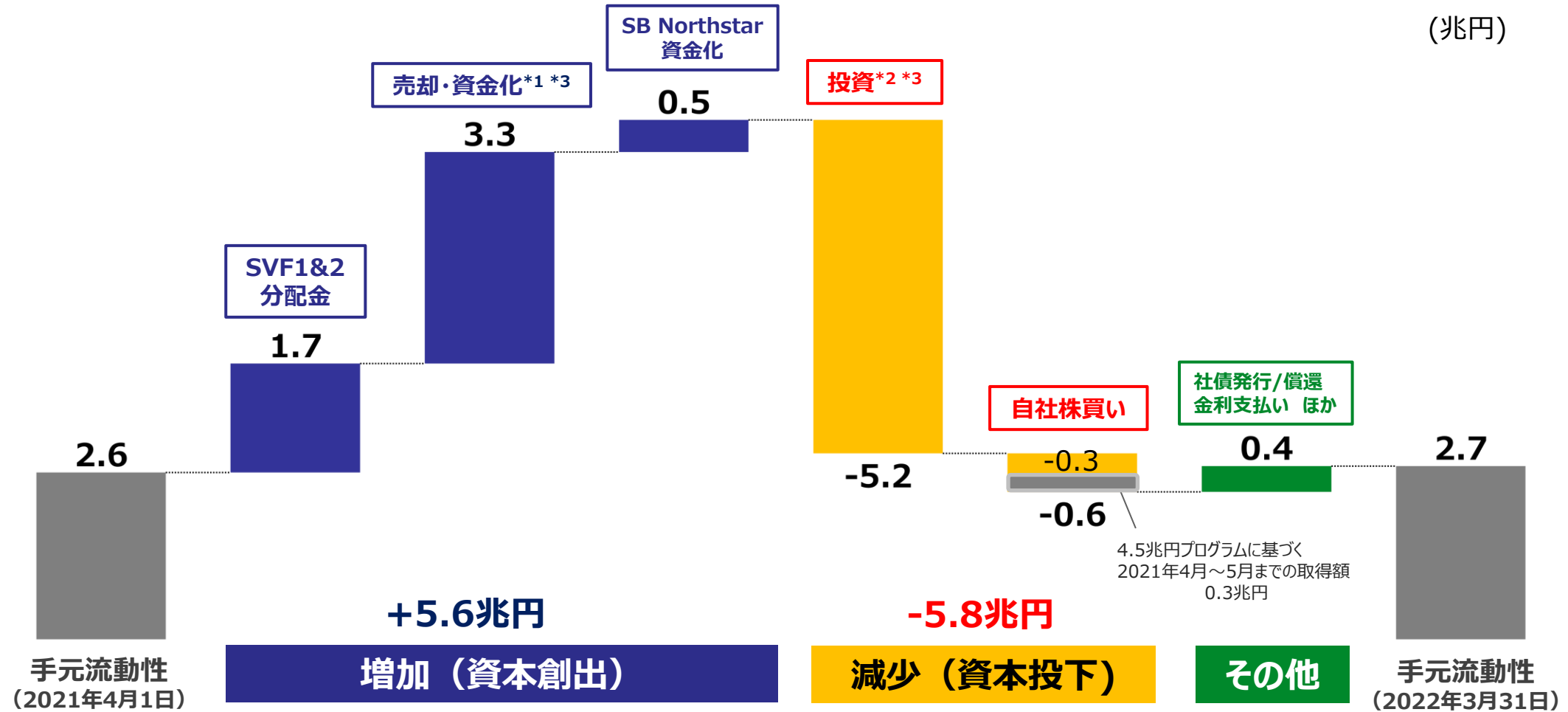


*1 SVF1&2およびラテンアメリカ・ファンドへの拠出額

*2 4.5兆円プログラム以前に決定された自己株式の取得 (取得期間: 2020年3月16日~2020年6月15日) のうち、FY20に取得した4,840億円を含む

FY21の投資回収サイクル：投資と資金化のブレイクダウン

様々な手段により創出した資本を主に新規投資に配分



*1 売却・資金化による収入と返済による支出の純額

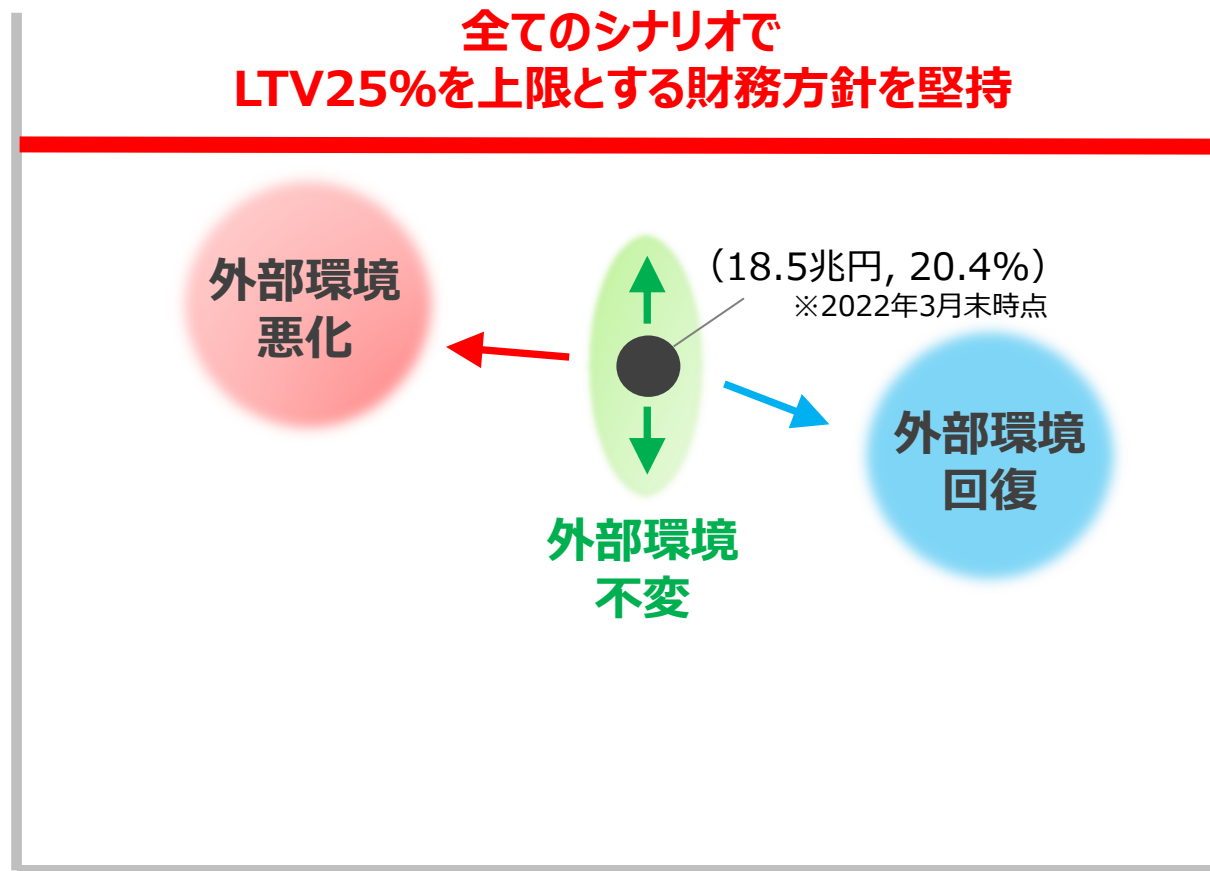
*2 SVF1&2およびラテンアメリカ・ファンドへの拠出額

*3 FY21にSBGからSVF2へ移管した投資 (0.7兆円) を含む。

FY22の財務運営方針（イメージ）

外部環境のあらゆる変化に柔軟かつ機動的に対応可能

LTV (%)



NAV (兆円)

シナリオ	前提	対応方針
外部環境不変	外部環境の不透明さが継続し、保有株式価値が2022年3月末から 不変	資金化の範囲内で新規投資と自社株買いを継続
外部環境回復	外部環境が回復し、保有株式価値が2022年3月末から 増加	LTVを維持しながら投資加速のためのレバレッジ活用も視野に
外部環境悪化	外部環境がさらに悪化し、保有株式価値が2022年3月末から 減少	資金化対比で新規投資を大幅にスローダウンすることでLTV25%未満を維持

取得内容

総額：1兆円（上限）

取得期間：2021年11月9日～2022年11月8日

考え方

1. 財務方針の堅持

2. 投資機会

3. NAVディスカウントの水準

**これらを考慮しながら機動的に
自己株式を取得**

**上記バランス次第では取得期間内に1兆円の上限に達しない
可能性あり**

取得実績

2021年11月～2022年4月：4,330億円（8,331万1,000株）

- 投資事業の状況
- 財務の状況
- 財務戦略
- **ESGの推進**

FY21の取り組み概要：ガバナンス

取締役会の多様性強化

- スキル・ジェンダー・国籍の点で多様性を実現
- 社外取締役が9人中5人と過半を占める

ESGに関するグループポリシーの整備

- 重要性の高いESG領域に関するグループポリシーを整備し、グループ全体でESGを推進
 - 『ポートフォリオ会社のガバナンス・投資指針に関するポリシー』改訂
 - 『環境ポリシー』新設
 - 『サプライヤー行動規範』新設
- 今後もESGに関する重要ポリシー策定や子会社との連携を推進し、**グループガバナンス体制の強化**を図る

FY21の取り組み概要：環境

温室効果ガス削減目標の設定および削減の推進

- 主要子会社：削減目標達成に向けて順調に推移

	arm	SoftBank	Z HOLDINGS	YAHOO! JAPAN
目標	<p>2030年までに ネットゼロカーボン達成</p>	<p>2030年度までに カーボンニュートラル達成</p>	<p>2030年度までに ZHDグループ全社で カーボンニュートラル達成</p>	<p>2023年度までに 使用電力の100% 再生可能エネルギー化</p>
進捗	<p>FY21：自社使用電力の95% 再エネ化達成見込み</p>	<p>FY21：基地局再エネ比率 50%以上達成見込</p>	<p>FY21：主要各社のGHG削減 のマイルストーン設定</p>	<p>FY21：5月に再エネ電力 購入開始</p>

- SBG：気候変動対応の取り組み強化

- SBG単体でカーボンニュートラル達成済
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に沿った情報開示を検討
2022年6月までにグループ目標とともに開示予定

FY21の取り組み概要：社会

人権への取り組みの推進

- SBG
 - 全役職員を対象としたアンケートを実施し、当社における人権リスクを特定。対応策に活かす
 - 今後は取引先およびグループ全体を対象に、人権への取り組みの拡大を目指す
- SBKK
 - 主要なステークホルダーを対象に、人権DD（リスクの特定、評価、対策、コミュニケーション）を実施
 - 今後も継続的なモニタリング・改善を行い、更なるリスク低減を目指す

新型コロナウイルスへの対応

- 全国のべ13か所でのワクチン接種実施により、感染拡大防止に貢献*
 - 約24万接種完了（2022年5月5日現在）
 - 対象：医療従事者、地域住民、取引先社員、グループ社員および家族
- 機動的な唾液PCR検査提供が可能な「**移動式PCR検査車**」を開発
 - 国や自治体が進める新型コロナウイルスの検査体制確保に貢献



*1回目～3回目接種でのべ数。接種に協力している「東京乃木坂ワクチン接種センター」と「WeWorkみなとみらい会場」も含む

FY21の取り組み概要：投資を通じたESGの推進

気候変動の緩和、循環経済、多様性や包摂の確保、格差や差別の解消等、ESGの推進に寄与するサービスを提供するスタートアップに積極的に投資

※下記は投資先・支援先の一部

SVF2

SB Opportunity Fund

Emerge

情報開示の拡充と主なESG Index等の状況

情報開示の拡充

- ・ アニュアルレポートおよびサステナビリティレポートにおける非財務情報の拡充
 – 開示対象会社および対象施策を大幅拡充。今後も継続的に開示拡充を行う

主なESG IndexおよびESG評価の状況

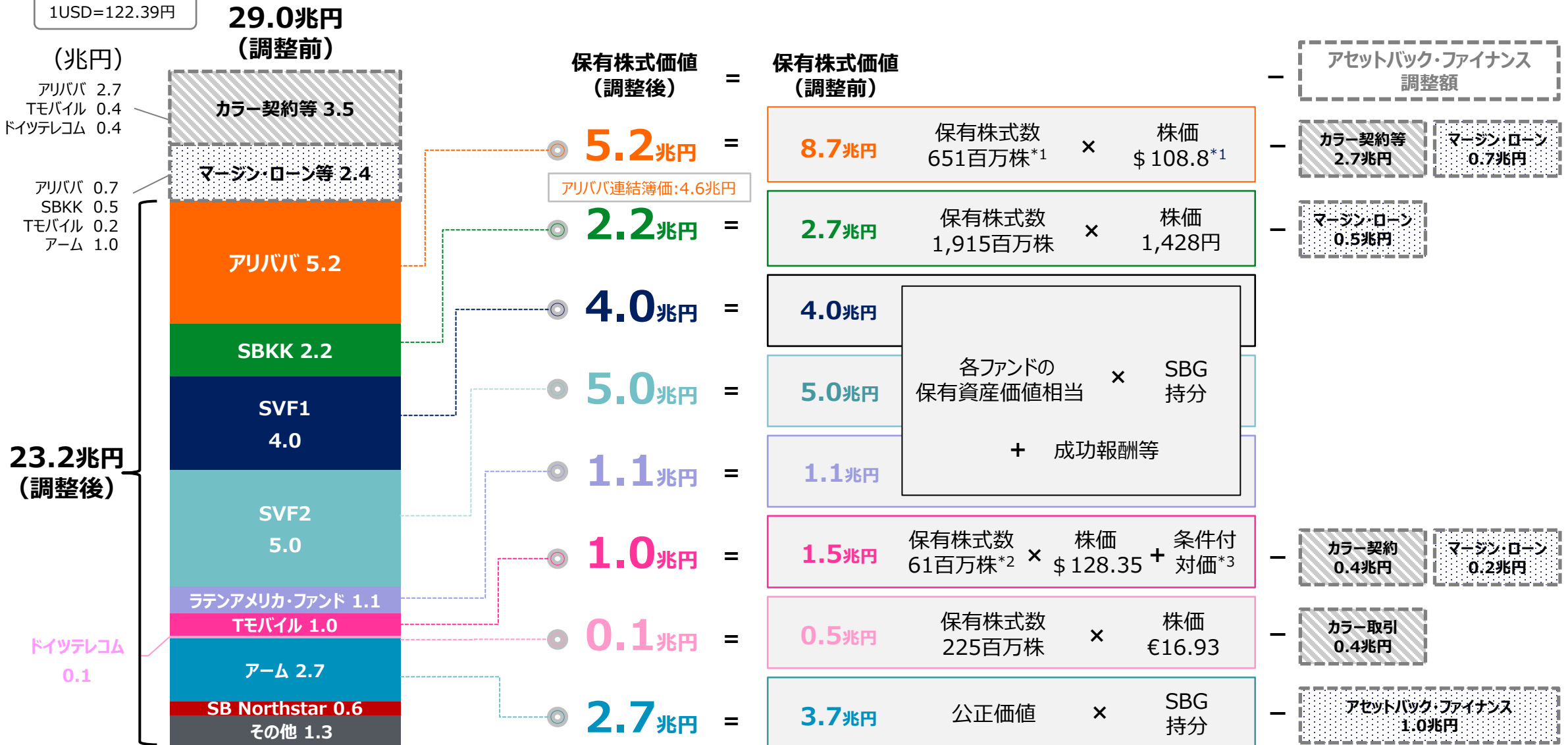
- ・ 取り組み強化と開示の拡充により、主要ESG Index評価等が継続的に改善

	GPIF採用 ESG Index					その他	環境
名称	FTSE Blossom Japan 	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 	MSCI JPN ESGセレクトリーダーズ 	MSCI / JPN 女性活躍指数 	S&P/JPX カーボン エフィシエント 	S&P Global Corporate Sustainability Assessment 	CDP
分野	ESG総合	ESG総合	ESG総合	S：社会	E：環境	ESG総合	E：環境
組入	○	○	—	○	○	73 (セクター上位15%)	A-

Appendix

保有株式価値（算出方法）

1USD=122.39円



Mar 22

(注) 各計算式の詳細はp50~51,53参照。 *1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価
 *2 ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数を含む。 *3 一定の条件下でTモバイル株式をSBGとその子会社が取得できる権利の公正価値

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

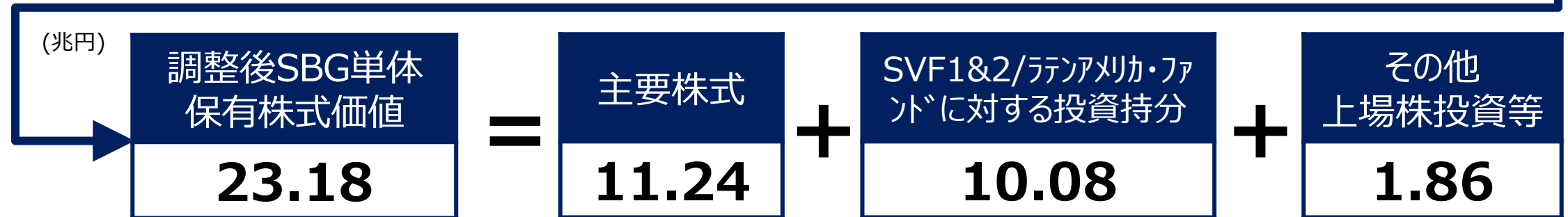
(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

4.72兆円

=20.4%

(V) 調整後
SBG単体 保有株式価値*1

23.18兆円



アリババ	+8.67	SBKK	+2.73	Tモバイル	+1.49
アセットバック・ファイナンス	-3.44	アセットバック・ファイナンス	-0.50	アセットバック・ファイナンス	-0.53
アリババ (調整後)	+5.23	SBKK (調整後)	+2.24	Tモバイル (調整後)	+0.96
ドイツテレコム	+0.52	アーム	+3.68		
アセットバック・ファイナンス	-0.42	アセットバック・ファイナンス	-0.96		
ドイツテレコム(調整後)	+0.10	アーム (調整後)	+2.71		

SVF1	+3.99	SB Northstar	+0.58
SVF2	+4.96	その他	+1.28
ラテンアメリカ・ファンド [®]	+1.13		

*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細についてはp50~51を参照

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(a) アリババ	5.23	
調整前	8.67	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-3.44	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 <ul style="list-style-type: none"> ・複数の先渡し買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（2022年3月31日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（2兆7,072億円） ・マージン・ローン負債残高相当額（7,315億円）
(b) SBKK	2.24	
調整前	2.73	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.50	SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（4,987億円）
(c) SVF1	3.99	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
(d) SVF2	4.96	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
(e) ラテンアメリカ・ファンド	1.13	ラテンアメリカ・ファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額
(f) アーム	2.71	
調整前	3.68	SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づくSBG持分（発行済株式の75.01%）の公正価値
アセットバック・ファイナンス調整	-0.96	SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（9,615億円）

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(g) Tモバイル	0.96	
調整前	1.49	SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数（2022年3月末時点：56,124,954株）を含む）×同社株価 + 一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値 + Tモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
アセットバック・ファイナンス調整	-0.53	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 ・ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債 ・Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（2,516億円）のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額（1,816億円）*1 ・Tモバイル株式を活用した先渡し買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）（3,502億円）
(h) ドイツテレコム	0.10	
調整前	0.52	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.42	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（4,158億円）
(i) SB Northstar	0.58	SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数×同社株価
(j) その他	1.28	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値 （公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出
SBG単体 調整後保有株式価値	23.18	p50からの(a)～(j)までの合計額

*1 Tモバイル株式を活用したマージン・ローン（借入総額\$2.06B）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$0.57B）を控除した金額をノンリコースのアセットバック・ファイナンスによる借入額としている。

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

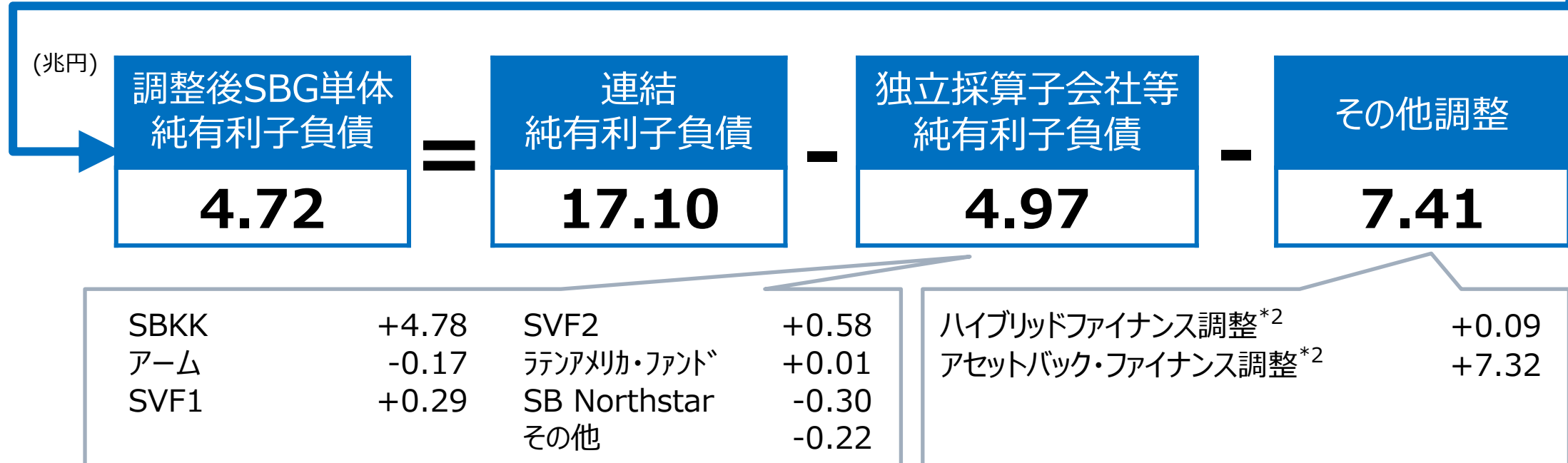
(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債*1

4.72兆円

=20.4%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

23.18兆円



*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

*2 詳細についてはp53を参照

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

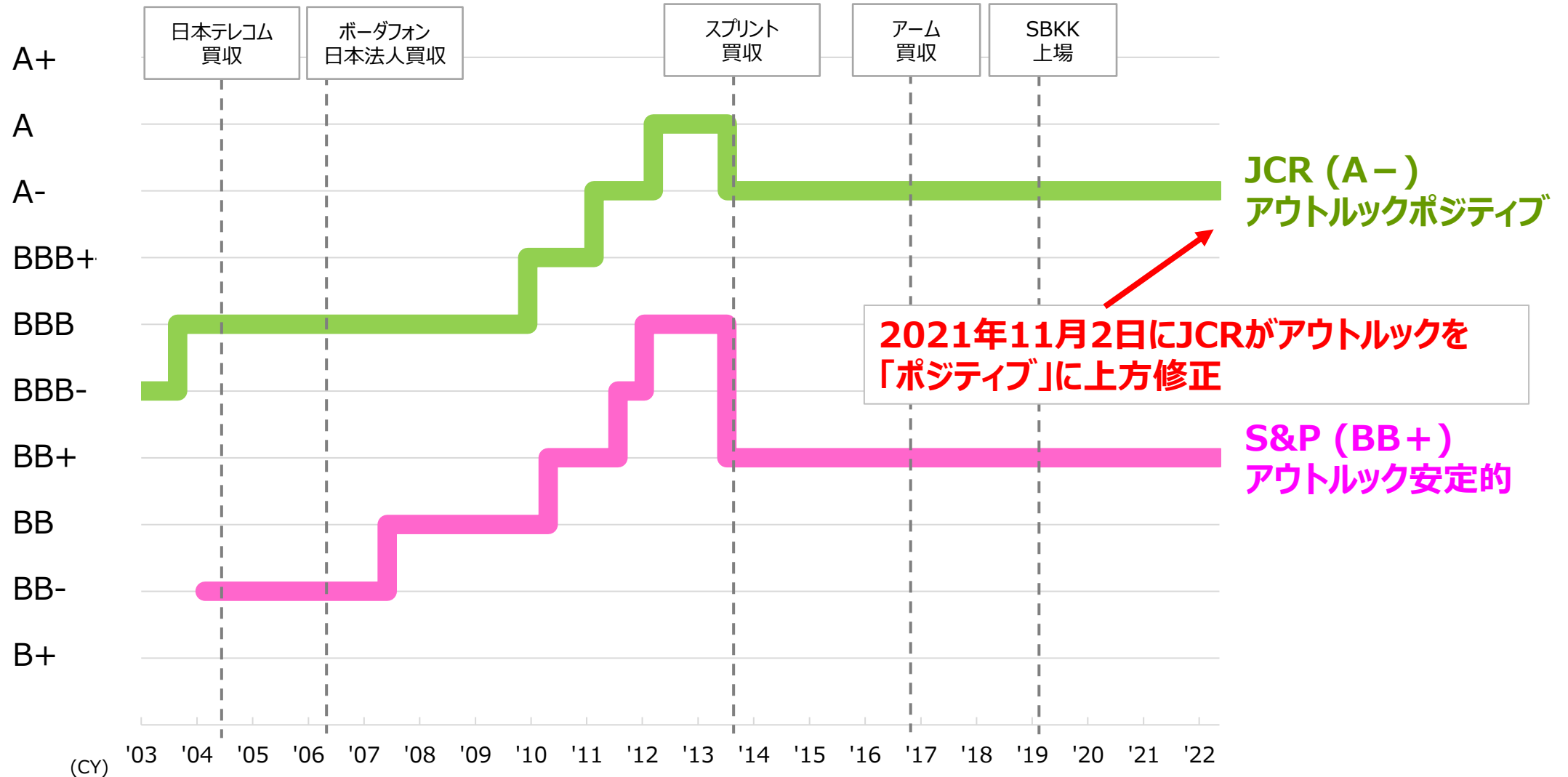
(兆円)

SBG単体 調整前純有利子負債		12.14	連結純有利子負債-独立採算子会社等の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.09		<ul style="list-style-type: none"> ・2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入 ・2016年9月・2021年2月・2021年6月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
アセットバック・ファイナンス調整	-7.32		
アリババ	-4.93		<ul style="list-style-type: none"> ・アリババ株式を活用した複数の先渡し買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡し契約金融負債（4兆1,961億円） ・アリババ株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（7,315億円）
アーム	-0.96		同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（9,615億円）
Tモバイル	-0.52		<ul style="list-style-type: none"> ・Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（2,516億円）のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額（1,816億円）*1 ・Tモバイル株式を活用した先渡し買契約（カラー契約）に係る株式先渡し契約金融負債（3,404億円）
ドイツテレコム	-0.41		2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,137億円）
SBKK	-0.50		SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（4,987億円）
SBG単体 調整後純有利子負債		4.72	

*1 Tモバイル株式を活用したマージン・ローン（借入総額\$2.06B）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$0.57B）を控除した金額をノンリコースのアセットバック・ファイナンスによる借入額としている。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージン・ローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている。

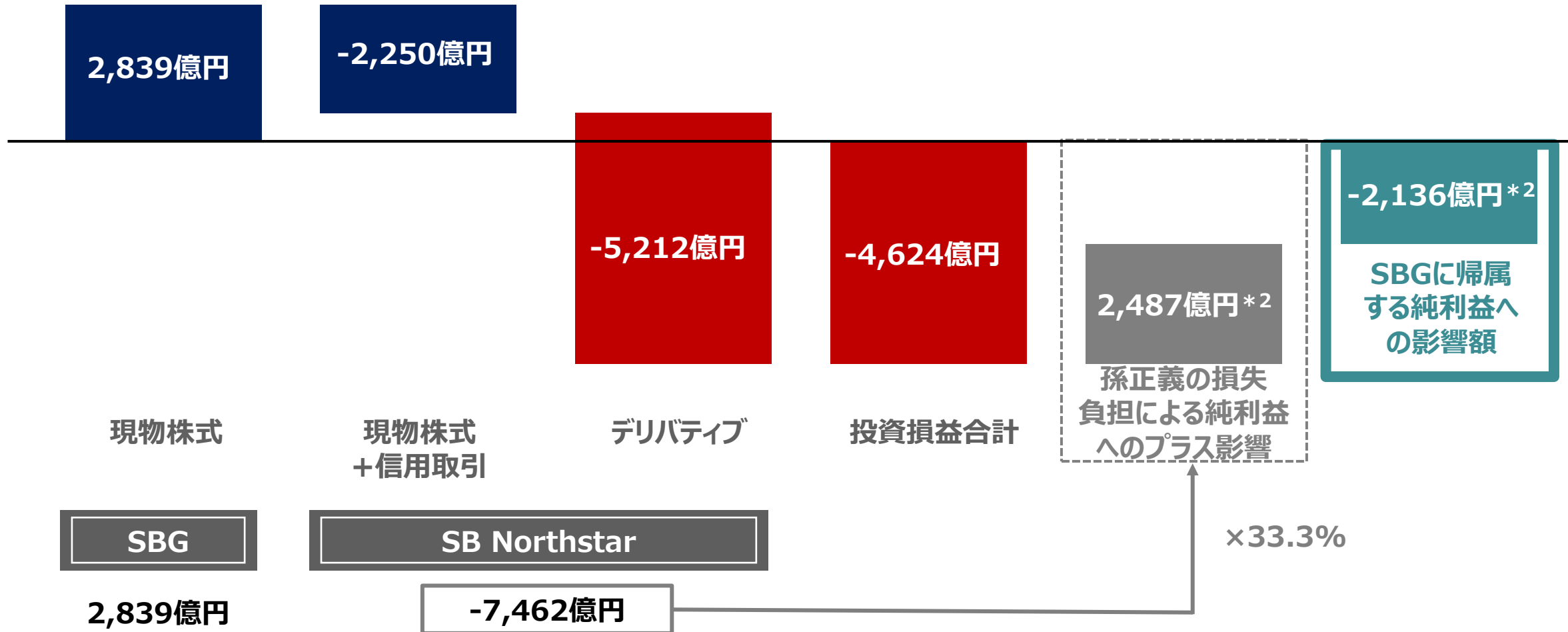
SBGの格付推移

投資持株会社の格付規準のもと、格付の向上を目指す



(注) 2022年5月13日時点

SB Northstar : 累計投資損益*1



*1 SBGが保有するNVIDIA Corporation株式に係る投資損益を含む。

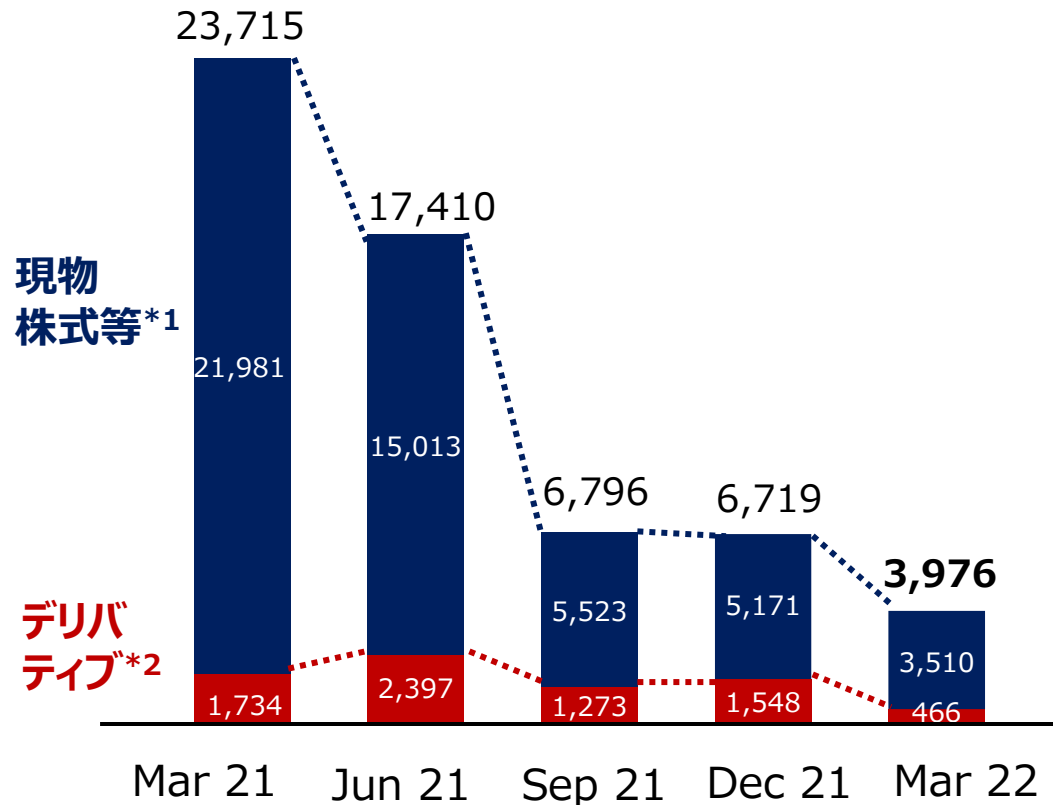
*2 販売費及び一般管理費や税金費用などの影響を含まない。

SB Northstar : 運用資産の状況 (2022年3月末時点)

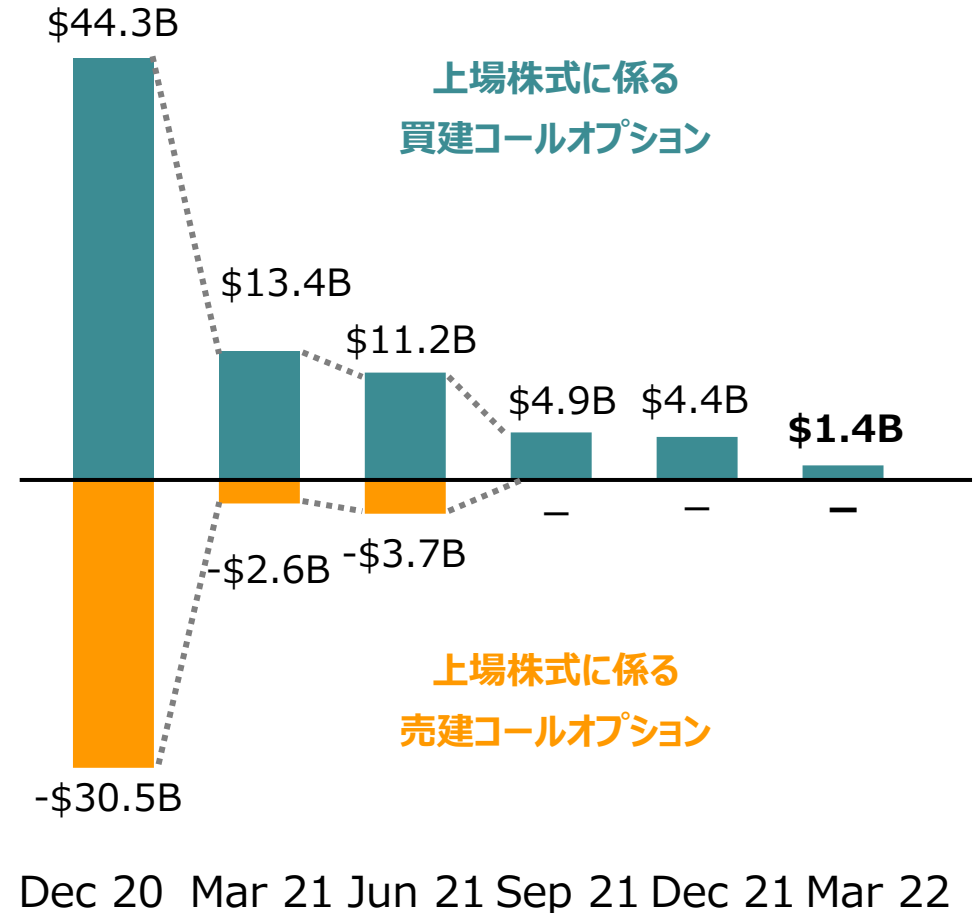
投資規模は大幅に減少

現物株式等およびデリバティブ (公正価値)

(億円)



オプション想定元本



*1 SBGが保有する現物株式とSB Northstarの投資 (現物株式、担保差入有価証券および転換社債) の合計

*2 SB Northstarにおけるデリバティブ金融資産とデリバティブ金融負債の純額

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Mar 21	Jun 21	Sep 21	Dec 21	Mar 22
SBG単体	130,233	140,334	139,674	138,604	149,187
うち、SB Northstar	18,665	14,245	2,863	2,754	335
SVF1&2	4,442	5,433	8,272	11,999	10,681
ソフトバンク事業	56,921	62,274	59,691	61,680	59,994
その他（アーム、ラテンアメリカ・ファンド等）	3,884	4,296	3,357	3,457	3,374
合計	195,480	212,338	210,995	215,739	223,236

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Mar 21	Jun 21	Sep 21	Dec 21	Mar 22
SBG単体	35,896	31,033	33,579	26,811	30,799
うち、SB Northstar	9,916	10,081	5,959	5,821	3,300
SVF1&2	1,311	3,842	1,009	2,474	1,983
ソフトバンク事業	12,856	14,013	10,575	12,834	12,219
その他（アーム、ラテンアメリカ・ファンド等）	5,248	4,742	5,146	6,137	7,228
合計	55,312	53,630	50,309	48,256	52,229

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Mar 21	Jun 21	Sep 21	Dec 21	Mar 22
SBG単体	94,337	109,301	106,096	111,793	118,388
うち、SB Northstar	8,749	4,164	-3,096	-3,067	-2,965
SVF1&2	3,131	1,591	7,263	9,525	8,698
ソフトバンク事業	44,064	48,261	49,116	48,846	47,775
その他（アーム、ラテンアメリカ・ファンド等）	-1,364	-446	-1,789	-2,681	-3,855
合計	140,168	158,708	160,686	167,483	171,006

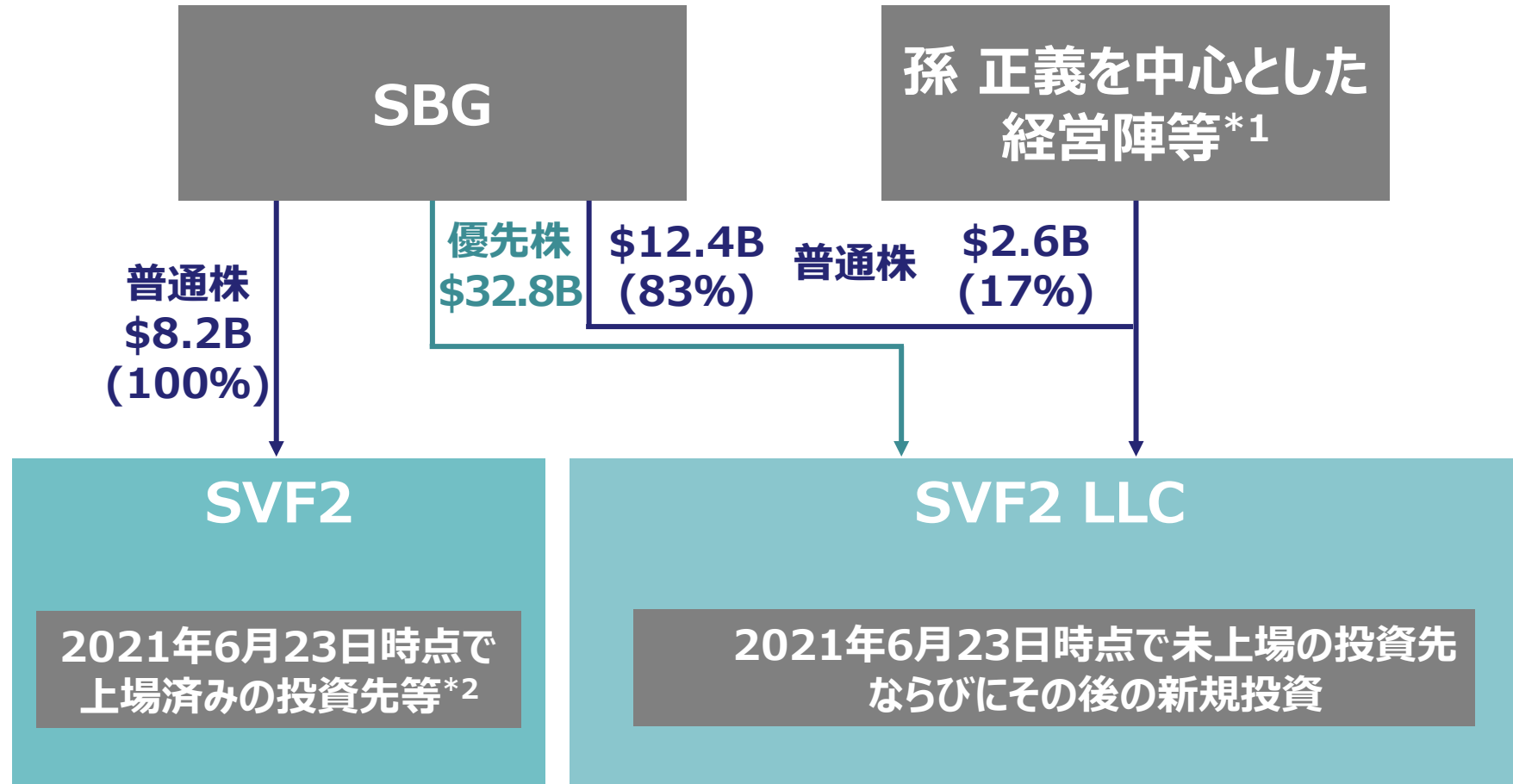
*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。PayPay銀行の手元流動性は含まない。

*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ

SVF2共同出資プログラムの導入

経営陣がSBGと共同出資し、利益のみならずそのリスクも共有の上、投資運用に専心し、当社の収益拡大への寄与を果たすことを目的に導入



(注) 2022年3月31日時点

*1 孫正義以外の経営陣の参加は2022年4月末現在未決定だが、将来的に参加を予定

*2 2021年6月23日時点で上場を公開申請していた投資先、取締役会がプログラムからの除外を承認した投資先を含む。

QUARTER ENDED MARCH 31, 2022

Investor Briefing

SoftBank Vision & LatAm Funds

NAVNEET GOVIL

Managing Partner & Chief Financial Officer
SoftBank Investment Advisers

Important Information (1 of 2)

This presentation (this “Presentation”) is furnished to you for informational purposes in connection with the interests of SoftBank Group Corp. (together with its affiliates, “SoftBank”) in SoftBank Vision Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund I” or “SVF I”) or SoftBank Latin America Fund GP Ltd and SBLA Holdings II DE LLC (together with, as the context may require, any parallel funds, feeder funds, co-investment vehicles or alternative investment vehicles, the “LatAm Funds”) and is not, and may not be relied on in any manner as, legal, tax, investment, accounting or other advice or as an offer to sell or a solicitation of an offer to buy limited partnership or comparable limited liability equity interests in the Vision Fund I or any other fund, managed by SB Investment Advisers (UK) Ltd. (the “Manager” or “SBIA”), or SoftBank Vision Fund II-2 L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, “SVF II” or the “Vision Fund II”), managed by SB Global Advisers Limited (“SBGA”) and its affiliates thereof. This Presentation is not intended to be relied upon as the basis for any investment decision, and is not, and should not be assumed to be, complete. The contents of this Presentation are not to be construed as legal, business or tax advice.

None of Vision Fund I, Vision Fund II, the LatAm Funds, any successor fund managed by the Manager, SBIA, SBGA, SoftBank or their respective affiliates makes any representation or warranty, express or implied, as to the accuracy or completeness of the information contained herein and nothing contained herein should be relied upon as a promise or representation as to past or future performance of Vision Fund I, Vision Fund II, the LatAm Funds, any successor fund managed by the Manager, SBGA or any other entity referenced in this Presentation.

Recipients of this Presentation should make their own investigations and evaluations of the information contained in this Presentation and should note that such information may change materially.

For the avoidance of doubt, the Vision Fund I is a prior fund managed by SBIA which is not being offered to investors. Information relating to the performance of the Vision Fund I or any other entity referenced in this Presentation has been included for background purposes only and should not be considered an indication of the future performance of the Vision Fund I, any other entity referenced in this Presentation or any future fund managed by SBIA. References to any specific investments of the Vision Fund I, to the extent included herein, are presented to illustrate the Manager’s investment process and operating philosophy only and should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. The investment performance of individual investments in the Vision Fund I may vary and the performance of the selected transactions is not necessarily indicative of the performance of all of the applicable prior investments. The specific investments identified and described herein do not represent all of the investments made by the Manager, and no assumption should be made that investments identified and discussed herein were or will be profitable.

Statements contained in this Presentation (including those relating to current and future market conditions and trends in respect thereof) that are not historical facts are based on current expectations, estimates, projections, opinions and/or beliefs of the Manager. Such statements involve known and unknown risks, uncertainties and other factors, and undue reliance should not be placed thereon. In addition, no representation or warranty is made with respect to the reasonableness of any estimates, forecasts, illustrations, prospects or returns, which should be regarded as illustrative only, or that any profits will be realized. Certain information contained herein constitutes “forward-looking statements,” which can be identified by the use of terms such as “may”, “will”, “should”, “expect”, “project”, “estimate”, “intend”, “continue”, “target” or “believe” (or the negatives thereof) or other variations thereon or comparable terminology. Due to various risks and uncertainties, actual events or results or actual performance of the Vision Fund I or any successor fund managed by the Manager (or any other entity referred to herein) may differ materially from those reflected or contemplated in such forward-looking statements. As a result, investors should not rely on such forward-looking statements in making their investment decisions. Further, the targets stated herein are based on an assumption that economic, market and other conditions will not deteriorate and, in some cases, improve. These projections involve significant elements of subjective judgment. No representation or warranty is made as to future performance or such forward-looking statements. None of the information contained herein has been filed with the U.S. Securities and Exchange Commission, any securities administrator under any securities laws of any U.S. or non-U.S. jurisdiction or any other U.S. or non-U.S. governmental or self-regulatory authority. No such governmental or self-regulatory authority will pass on the merits of the offering of interests in the Vision Fund I, or any successor fund managed by the Manager or the adequacy of the information contained herein. Any representation to the contrary is unlawful. Except where otherwise indicated herein, the information provided in this Presentation is based on matters as they exist as of the date of preparation of this Presentation and not as of any future date, and will not be updated or otherwise revised to reflect information that subsequently becomes available, or circumstances existing or changes occurring after the date hereof.

Important Information (2 of 2)

Vision Fund I performance herein is based on unrealized valuations of portfolio investments. Valuations of unrealized investments are based on assumptions and factors (including, for example, as of the date of the valuation, average multiples of comparable companies, and other considerations) that the Manager believes are reasonable under the circumstances relating to each particular investment. However, there can be no assurance that unrealized investments will be realized at the valuations indicated herein or used to calculate the returns contained herein, and transaction costs connected with such realizations remain unknown and, therefore, are not factored into such calculations. Estimates of unrealized value are subject to numerous variables that change over time. The actual realized returns on the Vision Fund I's unrealized investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions and circumstances on which the Manager's valuations are based.

Vision Fund I performance is based in part on valuations of certain investments that were recently acquired by the Vision Fund I as a portfolio from SoftBank Group Corp; accordingly, the performance information herein, which is based in part on valuations of unrealized investments, is not indicative of future results. The selection of such investments, the timing of such acquisitions and the valuation and subsequent performance of those investments had a material and positive impact on the performance of the Vision Fund I. SoftBank Group Corp. is under no obligation to offer similar assets to the Vision Fund I in the future.

Past performance is not necessarily indicative of future results. The performance of the Vision Fund I or any future fund managed by the Manager may be materially lower than the performance information presented herein. There can be no assurance that the Vision Fund I, Vision Fund II or any successor fund managed by the Manager will achieve comparable results as those presented herein or that investors in the Vision Fund I, Vision Fund II or any successor fund managed by the Manager will not lose any or all of their invested capital.

Certain information contained in this Presentation has been obtained from published and non-published sources prepared by other parties, which in certain cases has not been updated through the date hereof. While such information is believed to be reliable for the purposes of this Presentation, none of the Vision Fund I, Vision Fund II, any successor fund managed by the Manager, the Manager, SoftBank, or their respective affiliates assumes any responsibility for the accuracy or completeness of such information and such information has not been independently verified.

Certain hypothetical illustrations set forth herein contain projections, targets, assumptions and expectations with respect to the performance of investments. These hypothetical returns, including the projections, targets, assumptions and expectations contained therein, have been prepared and are set out for illustrative purposes only, and do not constitute forecasts. They have been prepared based on the Manager's current view in relation to future events and various assumptions and estimations, including estimations and assumptions with respect to events that have not occurred, any of which may prove incorrect. Others may select other underlying assumptions or methodologies that would significantly affect the projected returns or performance information set forth herein, even materially.

Third-party logos and vendor information included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that the Manager, the Vision Fund I's portfolio companies, any future portfolio companies of a successor fund managed by the Manager or SoftBank will work with any of the firms or businesses whose logos are included herein in the future.

Topics

01- Progress & Highlights

02- Performance & Impact on SoftBank Group (SBG)

03- In Focus: A Broadening Investment Platform

Progress & Highlights

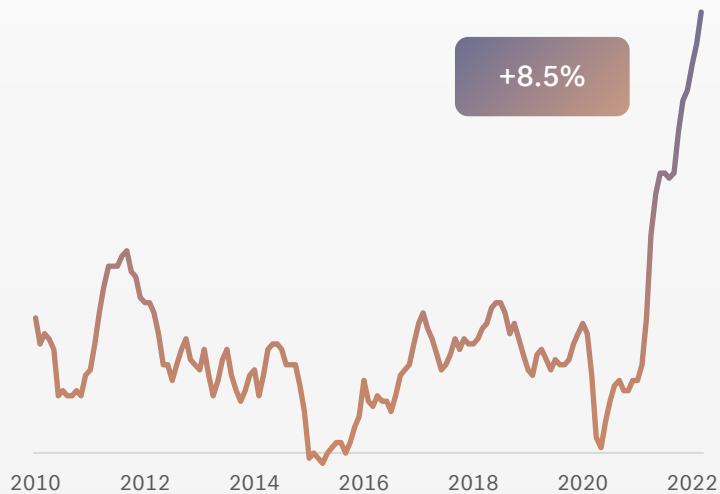
A Volatile & Uncertain Market Backdrop

Rising Inflation & Policy Responses

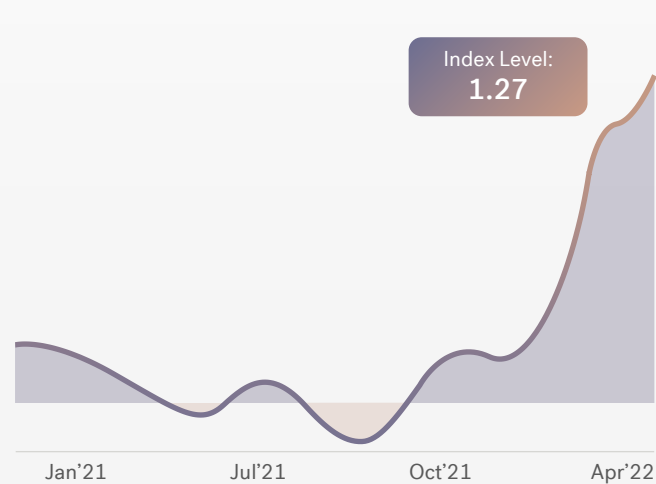
Geopolitical Risks

Energy Shock

Consumer Price Index¹
% Change YoY



Geopolitical Risk Index²



Price per Barrel - Oil (\$) ¹

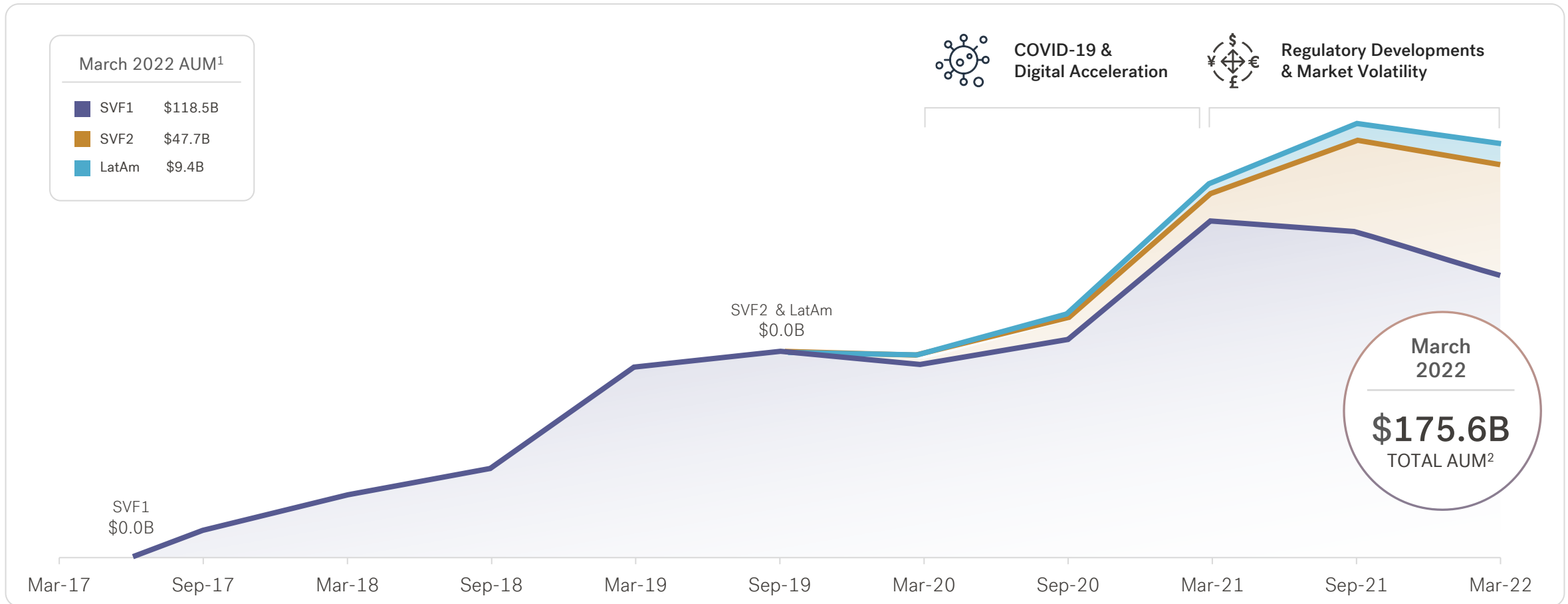


Footnotes:
1. Bloomberg, April 19, 2022.
2. BlackRock Geopolitical Risk Indicator, April 27, 2022.

The information is provided for illustrative purposes only. Certain information provided herein is provided by a third-party and SBIA makes no representation regarding its accuracy.

Market Impact on Assets Under Management

AUM Since Inception



Footnotes:

1. Assets under Management (AUM) is comprised of the fair value of Unrealized Investments and Gross Realized Proceeds for full and partially Realized Investments, together with their related hedges and Dividend Income received.
2. Total Assets under Management (AUM) is comprised of the fair value of Unrealized Investments and Gross Realized Proceeds for full and partially Realized Investments for SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds, together with their related hedges and Dividend Income received.

The information is provided for illustrative purposes only. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary, and such information is provided solely for illustrative purposes. It should not be assumed that Investments made in the future will be comparable in quality or performance to the Investments described herein

PROGRESS & HIGHLIGHTS

Performance Snapshot

As of March 31, 2022

	SoftBank Vision Fund 1	SoftBank Vision Fund 2	SoftBank LatAm Funds	Combined
Total Commitment	\$98.6B	\$56.0B	\$7.6B <small>Effective April 13, 2022</small>	\$162.2B
Acquisition Cost¹	\$87.7B	\$46.9B	\$7.0B	\$141.6B
Cumulative Investment Gains¹	\$30.8B	\$0.8B	\$2.4B	\$34.0B
Total Fair Value²	\$118.5B	\$47.7B	\$9.4B	\$175.6B
Distributions³	\$38.7B	\$8.6B	-	\$47.3B

Footnotes:

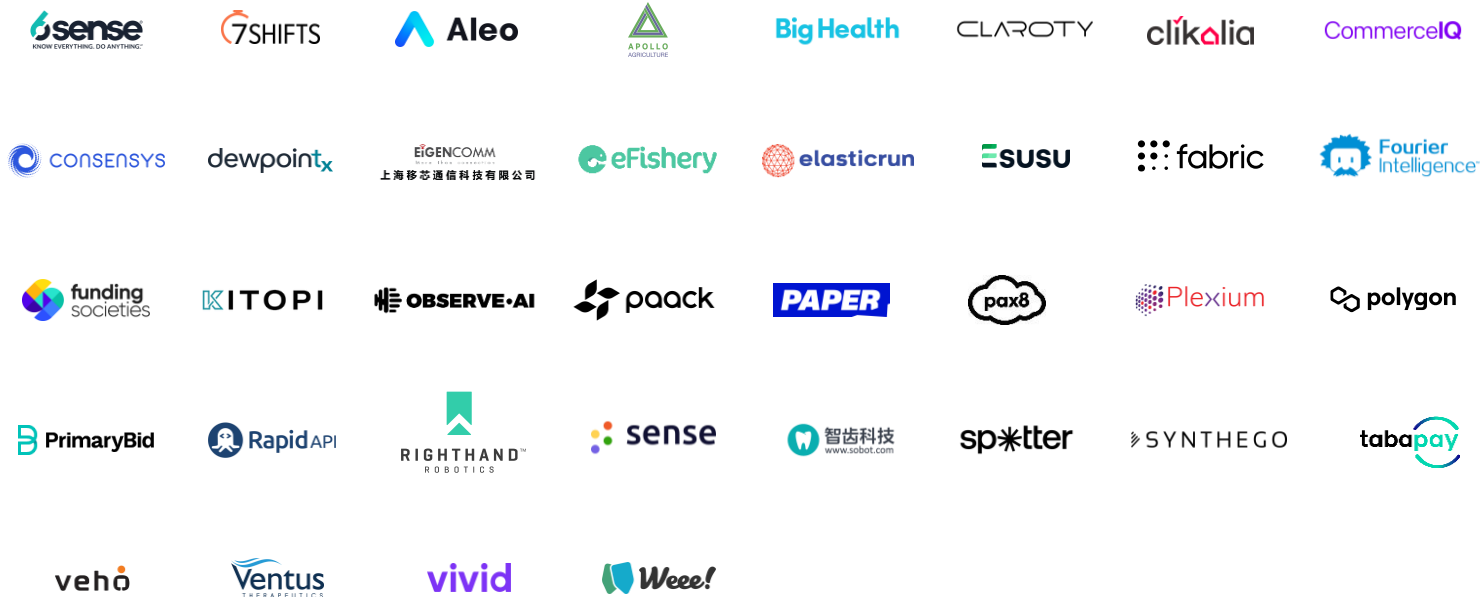
1. Acquisition Cost and Cumulative Investment Gains are cumulative from Fund Inception to March 31, 2022. Cumulative Investment Gains are before tax and expenses and include Unrealized and Realized gains and losses from Investments and their related hedges. Cumulative Investment Gains does not take into account fees or expenses and should not be construed as indicative of actual or future performance.
2. Total Fair Value is the Acquisition Cost plus Cumulative Investment Gains as of March 31, 2022.
3. Distributions include proceeds from Investment Realizations, Financing, and Preferred Equity Coupon distributed to Limited Partners from Fund Inception to March 31, 2022. It includes the Return of Recalable Utilized Contributions and the Return of Non-Recalable Utilized Contributions but does not include the Return of Recalable Unutilized Contributions.

The information herein is presented solely for SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds. These highlights are provided solely for illustrative purposes and individual investors' results may vary. Past performance is not necessarily indicative of future results. Cumulative Investment Gains and Total Fair Value include valuations of Unrealized Investments, do not take into account fees or expenses at the time of exit that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. Actual Realized amounts will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the valuations reported herein are based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.

Continued Conviction in the AI Revolution

As of March 31, 2022

Select New Investments¹



\$46.9B

\$4.5B

Dec-21
to Mar-22

\$42.4B

Inception to
Dec-21

Total Acquisition Cost¹

Footnotes:

1. Total Acquisition Cost includes cumulative cost from Inception of SoftBank Vision Fund 2 to March 31, 2022.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, is preliminary and is based on a variety of assumptions and estimates that are subject to various risks. Certain information presented herein is preliminary in nature, may be incomplete and inaccurate, and subject to change. Past performance is not necessarily indicative of future results. Please see visionfund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank Vision Fund 2 Investments.

Portfolio Overview

As of March 31, 2022

252

Total
Investments¹

\$46.9B

Total Acquisition
Cost²

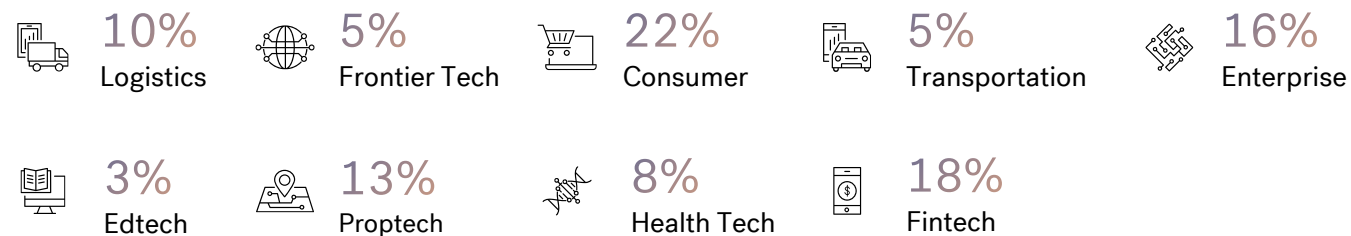
236

Current Private
Investments³

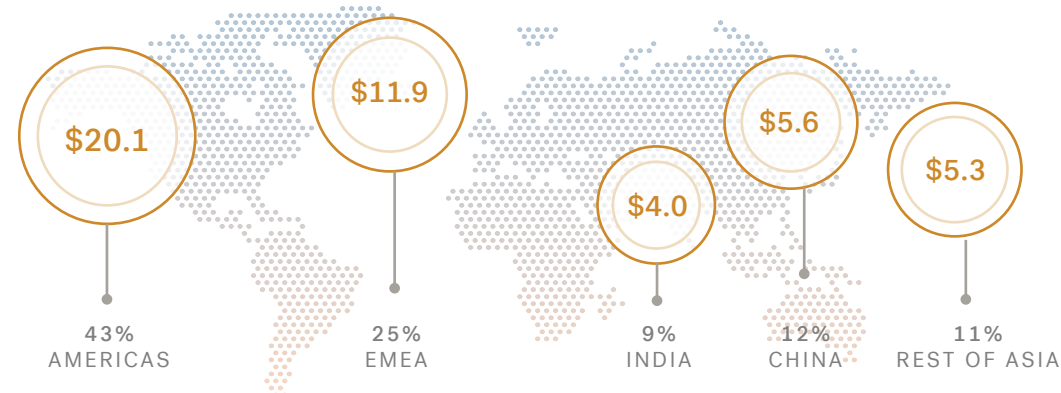
15

Current Public
Investments⁴

PORTFOLIO COST BY SECTOR (%)



PORTFOLIO COST BY GEOGRAPHY (\$B)



Footnotes:

1. Total Investments includes Investments in portfolio companies made by SoftBank Vision Fund 2 and joint-ventures with existing portfolio companies from SoftBank Vision Fund 2 Inception to March 31, 2022. It does not include hedges related to the Investments. Total Investments includes both current and fully exited investments.
2. Total Acquisition Cost includes cumulative cost from Inception of SoftBank Vision Fund 2 to March 31, 2022.
3. Current Private Investments made by SoftBank Vision Fund 2 is the total number of portfolio company Investments that have not been fully exited or publicly listed as of March 31, 2022.
4. Current Public Investments includes publicly listed portfolio companies that SoftBank Vision Fund 2 has not fully exited as of March 31, 2022.

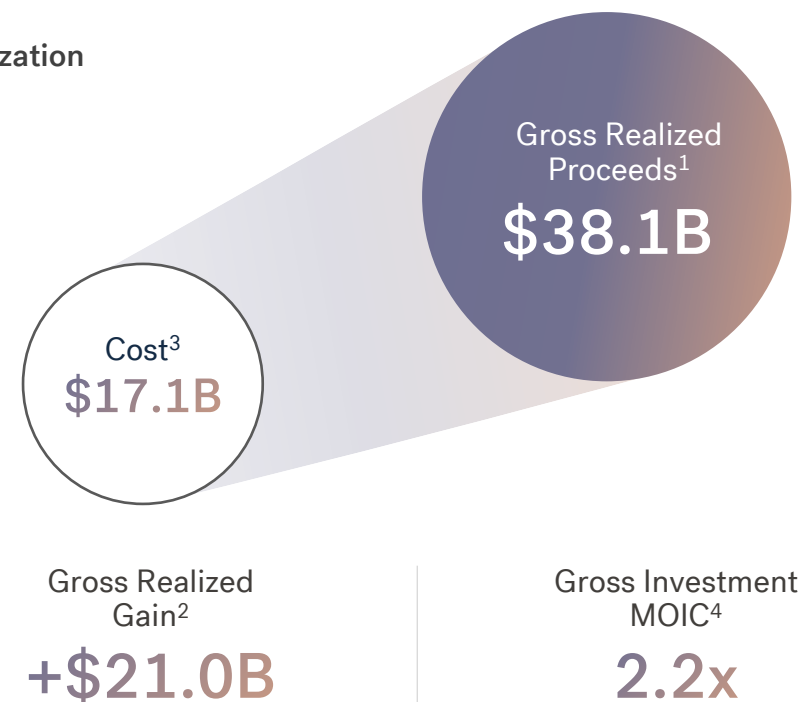
These highlights are provided solely for illustrative purposes. Past performance is not necessarily indicative of future results. Please refer to visionfund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank Vision Fund 2 Investments. Sector characterization has been determined by SBIA, and although SBIA believes that such determinations are reasonable, they are inherently subjective in nature.

Disciplined Monetization Strategy

Full & Partial Exits | Inception to March 31, 2022

Portfolio Company	Gross Realized Proceeds ¹	Gross Realized Gain ²	Holding Period (Years)
PUBLIC SALE			
 NVIDIA	\$5.8B	\$2.9B	1.3
 slack	\$1.0B	\$0.7B	2.8
 平安好医生 PINGAN GOOD DOCTOR	\$0.8B	\$0.4B	2.8
 10x GENOMICS	\$0.3B	\$0.3B	1.6
 众安保险 ZhongAn Insurance	\$0.4B	(\$0.2B)	4.3
M & A / OTHER			
 Flipkart	\$3.9B	\$1.5B	2.2
 OSIsoft	\$2.4B	\$1.5B	3.4
 CRUISE	\$2.3B	\$1.1B	3.1
Other Undisclosed Full & Partial Exits	\$21.2B	\$12.8B	-
Total	\$38.1B	\$21.0B	-

Key Monetization Metrics



Footnotes:

1. Gross Realized Proceeds represents proceeds received for full and partially Realized Investments, related hedges and dividend income as of March 31, 2022.
2. Gross Realized Gain represent the difference between Gross Realized Proceeds and Cost for fully and partially Exited investments as of March 31, 2022.
3. Cost represents Acquisition Cost for full and partially Realized Investments as of March 31, 2022.
4. Gross Investment Multiple of Invested Capital ("MOIC") is Gross Realized Proceeds divided by Investment Cost. Gross Realized Proceeds defined as the sum of all external cash flows derived from investments, gross of taxes, transaction fees, investment-related financing and other fund-related expenses. Investment Cost defined as the sum of all external cash flows directed towards Portfolio Companies, principal amounts borrowed as directly related to investments, and net premiums paid by SVF1 for investment-related hedges.

There can be no assurance that the operations and/or processes of SBIA and SoftBank Vision Fund 1 described in this Presentation will continue throughout the life of SoftBank Vision Fund 1 or any successor Fund managed by the Manager, and such processes and operations may change. Select Investments presented herein are solely for illustrative purposes and do not purport to be a complete list of SoftBank Vision Fund 1 Investments. References to Investments included herein should not be construed as a recommendation of any particular Investment or security. It should not be assumed that Investments made in the future will be comparable in quality or performance to the Investments described herein. Please refer to visionfund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank Vision Fund 1 Investments. Net performance for individual investments cannot be calculated without making arbitrary assumptions about allocations of fees and expenses, and for that reason is not included herein.

Distributions to Limited Partners

Since Inception to March 31, 2022

	(A)	(B)	Total Distributions		(E) = (B)-(C)
			(C)	(D)	
	Fund Commitment	Drawn Capital ¹	Return of Capital ²	Pref Coupon ³ / Equity Gains ⁴	Outstanding Capital ⁵
Preferred Equity	\$40.0B	\$36.2B	\$17.7B	\$6.0B	\$18.5B
Equity	\$58.6B	\$52.9B	\$12.9B	\$2.1B	\$40.0B
Total	\$98.6B	\$89.1B	\$30.6 B	\$8.1 B	\$58.5B
			\$38.7B		

Footnotes:

1. Drawn Capital includes Fund Commitment drawn down through capital calls and Return of Recalable Utilized Contributions that were retained and reinvested, less Return of Recalable Unutilized Contributions. Drawn Capital excludes any Drawdowns or Returns of Recalable Contributions which fall due post March 31, 2022.
2. Return of Capital includes Return of Non-Recalable Contributions and Return of Recalable Utilized Contributions from financing distributions.
3. Pref Coupon includes distributions of Preferred Equity Coupon financed by Net Proceeds and capital calls.
4. Equity Gains includes Net Proceeds distributions to the Limited Partners, distributing amounts in excess of Returns of Capital and Preferred Equity Coupon distributions.
5. Outstanding Capital includes Drawn Capital less Return of Capital (as defined above).

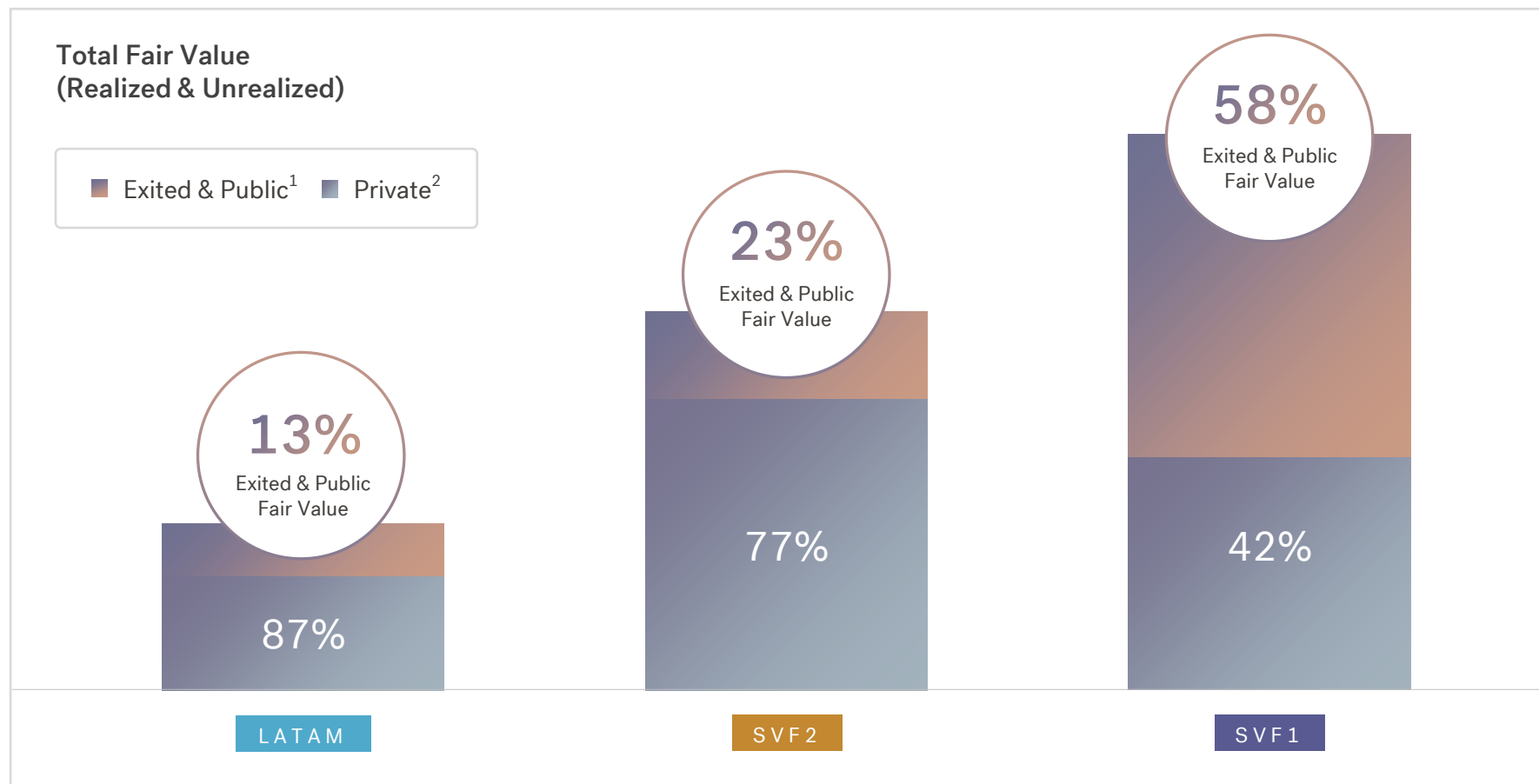
The information herein is presented solely for SoftBank Vision Fund 1. These highlights are provided solely for illustrative purposes and individual investors' results may vary. Past performance is not necessarily indicative of future results.

LATAM SVF2 SVF1

PROGRESS & HIGHLIGHTS

Portfolio Evolution

As of March 31, 2022



Footnotes:

1. Exited & Public Fair Value represents the Gross Realized Proceeds and Dividend Income from exited Investments plus the fair value of Unrealized Investments that were publicly listed as of March 31, 2022.
2. Private represents the fair value of Unrealized Investments that were not publicly traded as of March 31, 2022.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof, is preliminary and is based on a variety of assumptions and estimates that are subject to various risks. Certain information presented herein is preliminary in nature, may be incomplete and inaccurate, and subject to change. It should not be assumed that Investments made in the future will be comparable in quality or performance to the Investments described herein. Past performance is not necessarily indicative of future results. Valuations reflect Realized amounts and Unrealized estimated amounts and should not be construed as indicative of actual or future performance. Such values do not reflect fees and expenses that would reduce the value of returns experienced by SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds investors. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the returns portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the valuations reported herein are based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are partially Realized or Unrealized may differ materially from the values indicated herein. Please see visionfund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds Investments.

Portfolio Companies Maintain Healthy Access to Capital

Three-Month Period Ended March 31, 2022

20

Funding
Rounds¹

\$6.0B

Capital
Raised

\$50B+

Total Increase
in Valuation²

Plenty®

Series E

flexport.

Series E

OLA

Series J-1

creditas

Series F

ACULYS

Series B

OLAELECTRIC

Series D

fetch
REWARDS

Series E

forfo

Series D

TESSERA

Series C

BLOCKDAEMON

Series C

UPSIDE
fund

Series C

GoStudent

Series D

SWIGGY

Series K

FTX

Series C

IYUNO SDI
GROUP

Series B Preferred &
Series A Common

FTX US

Series B

alto

Series E

ITOPI

Series C

UNICO

Series D

creditas

Series F

betterfly

Series C

Footnotes:

1. Funding Rounds includes the number of follow-on rounds in SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds portfolio companies during the three-month period ended March 31, 2022. Includes rounds where SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds did not participate. Excludes any secondary funding rounds. Credits is a SoftBank Vision Fund 1 and a SoftBank LatAm Funds Investment.
2. Total Increase in Valuation represents the increase from the prior round pre-money valuation to the pre-money valuation of the round shown on the slide.

Select Investments presented herein are solely for illustrative purposes, have been selected in order to provide examples of the types of Investments in which SBIA Investments had funding rounds recently and do not purport to be a complete list of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds investments. References to Investments included herein should not be construed as a recommendation of any particular Investment or security. It should not be assumed that Investments made in the future will be comparable in quality or performance to the Investments described herein. Please refer to visionfund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds Investments. Valuations reflect Unrealized and partially Realized estimated amounts and should not be construed as indicative of actual or future performance. Such values do not reflect fees and expenses that would reduce the value of returns experienced by SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds investors. There is no guarantee that historical trends will continue throughout the life of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds. There can be no assurance that Unrealized and partially Realized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the returns portrayed herein. Actual returns on Unrealized and partially Realized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the valuations reported herein are based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are partially Realized or Unrealized may differ materially from the values indicated herein. 3rd party logos included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. Past performance is not necessarily indicative of future results.

Performance & Impact on SoftBank Group (SBG)

SVF1

PERFORMANCE & IMPACT ON SBG

Contribution to SBG, Net of 3rd Party Interests^{1,3}

Amounts in USD Billions

SVF1 Inception to

2022
Mar 31

Fund Net Profit ²	\$19.1
Less: Change in 3 rd Party Interests in Fund	(9.4)
SBG LP Income: Share of Fund Net Profit	9.7
SBG GP Income: Management & Performance Fees ³	3.4
Contribution to SBG, Net of 3rd Party Interests¹	\$13.1

Footnotes:

1. Contribution to SBG, Net of 3rd Party Interests reflects the income or loss from SBG's Limited Partner interest and Manager's Management and Performance Fee entitlement. Contributions to SBG and Fund Net Profit include the impact of SBG's interests in the Fund through the Employee Incentive Scheme.
2. Fund Net Profit includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
3. Management Fees and Performance Fees earned by SBG through its subsidiary, SBIA UK reflect total Management Fees and Performance Fees earned by the Manager from Inception of the Fund through March 31, 2022.

Information herein is presented for illustrative purposes and relates solely to SoftBank Vision Fund 1. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary.

SVF1

PERFORMANCE & IMPACT ON SBG

Contribution to SBG

As of March 31, 2022

SBG Paid-In Capital⁴

\$27.7B

SBG Total Value⁵

\$40.0B

Net Asset Value¹ **\$29.8B**

Distributions² **\$7.6B**

Accrued & Paid
Performance Fees³ **\$2.6B**

Footnotes:

1. Net Asset Value includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
2. Distributions include proceeds from Investment Realizations, Financing and Preferred Equity Coupon distributed to Limited Partner from Fund Inception to March 31, 2022. It includes the Return of Recalable Utilized Contributions and the Return of Non-Recalable Utilized Contributions but does not include the Return of Recalable Unutilized Contributions.
3. Accrued & Paid Performance Fees earned by SBG through its subsidiary, SBIA UK, reflect total Performance Fees earned by the Manager from Fund Inception through March 31, 2022.
4. SBG Paid-In Capital represents SBG Commitment drawn down through capital calls less Return of Recalable unutilized Contributions.
5. SBG Total Value reflects SBG's Limited Partner interest in the Fund together with SBG's interest in the Fund through the Employee Incentive Scheme and the Manager's Performance Fee entitlement.

Information herein is presented for illustrative purposes and relates solely to SoftBank Vision Fund 1. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary.

SVF2

PERFORMANCE & IMPACT ON SBG

Contribution to SBG

As of March 31, 2022

SBG Paid-In Capital³

\$46.6B

SBG Total Value⁴

\$46.2B

Net Asset Value¹

\$37.8B

Distributions²

\$8.4B

Footnotes:

1. Net Asset Value includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
2. Distributions include proceeds from Investment Realization and Financing distributed to Limited Partner from Fund Inception to March 31, 2022. It includes the Return of Rec callable Utilized Contributions and the Return of Non-Rec callable Utilized Contributions but does not include the Return of Rec callable Unutilized Contributions.
3. SBG Paid-In Capital represents SBG Commitment drawn down through capital calls less Return of Rec callable unutilized Contributions.
4. SBG Total Value reflects SBG's Limited Partner interest in the Fund.

Information herein is presented for illustrative purposes and relates solely to SoftBank Vision Fund 2. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary.

LATAM

PERFORMANCE & IMPACT ON SBG

Contribution to SBG

As of March 31, 2022

SBG Paid-In Capital³

\$6.5B

SBG Total Value⁴

\$8.3B

Net Asset Value¹

\$8.1B

Accrued
Performance Fees²

\$0.2B

Footnotes:

1. Net Asset Value includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
2. Accrued & Paid Performance Fees earned by SBG through its subsidiary, SBGA, reflect total Performance Fees earned by the Manager from Fund Inception through March 31, 2022.
3. SBG Paid-In Capital represents SBG Commitment drawn down through capital calls less Return of Recalable unutilized Contributions.
4. SBG Total Value reflects SBG's Limited Partner interest in the Fund and the Manager's Performance Fee entitlement.

Information herein is presented for illustrative purposes and relates solely to SoftBank LatAm Funds. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary.

In Focus:

A Broadening Investment Platform

Our Global Platform Continues to Expand

Shared Vision,
Amplified Ambition


Assets under
Management **\$175.6B¹**


Global
Offices **14**


Total
Investments² **449**


OUR THESIS

 Large Addressable
Market

 Disruptor

 Exceptional
Team

 AI-Powered

 Sustainable
Growth

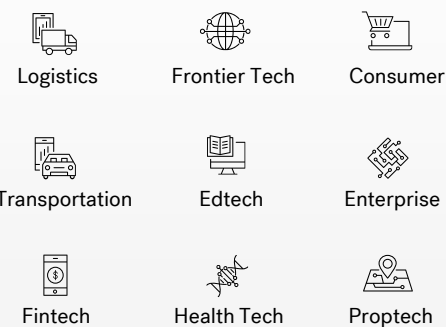


SVF1 **94**

SVF2 **252**

LATAM **103**

SECTOR DIVERSIFICATION



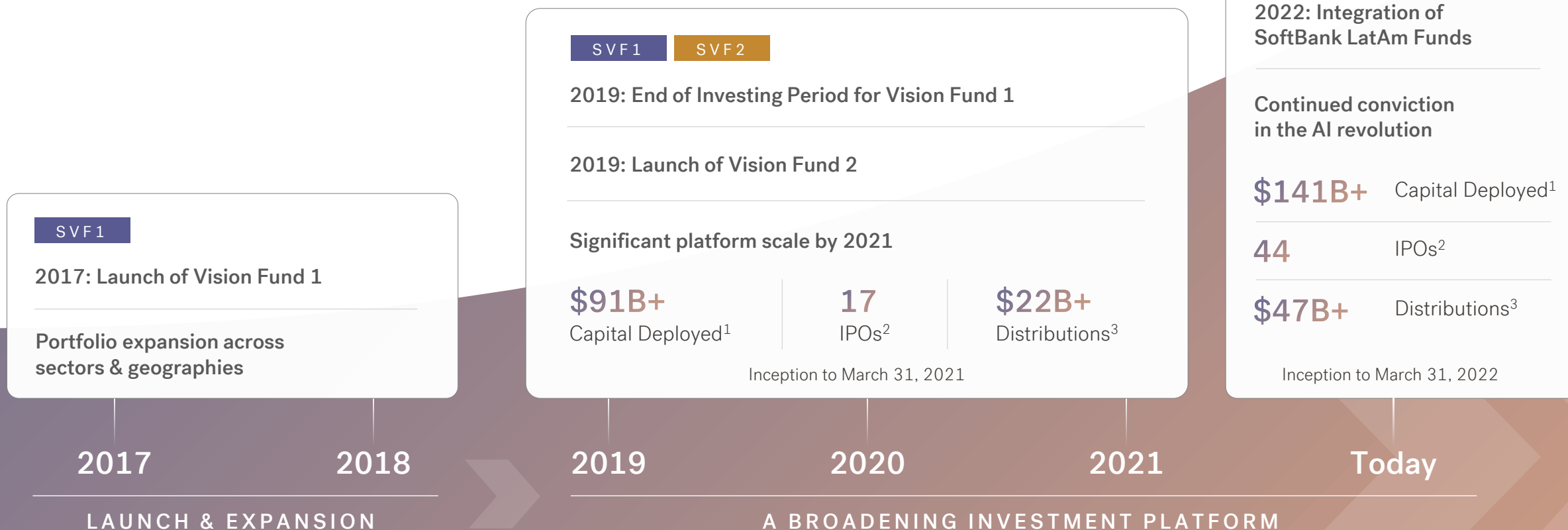
Footnotes:

- Assets under management consists of \$118.5B from SoftBank Vision Fund 1, \$47.7B from SoftBank Vision Fund 2 and \$9.4B from SoftBank LatAm Funds.
- Total Investments includes Investments in portfolio companies made by SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, SoftBank Bank LatAm Funds, and joint-ventures with existing portfolio companies from Funds inception to March 31, 2022. It does not include hedges related to the Investments. Total Investments includes both current and fully exited investments.

There can be no assurance that the operations and/or processes of SBIA and SoftBank Vision Fund 2 described herein will continue throughout the life of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision 2, the LatAm Funds or any successor fund advised by SBIA, and such processes and operations may change. Headcount is approximate as of the date listed above.

The Evolution of Our Investing Platform

As of March 31, 2022



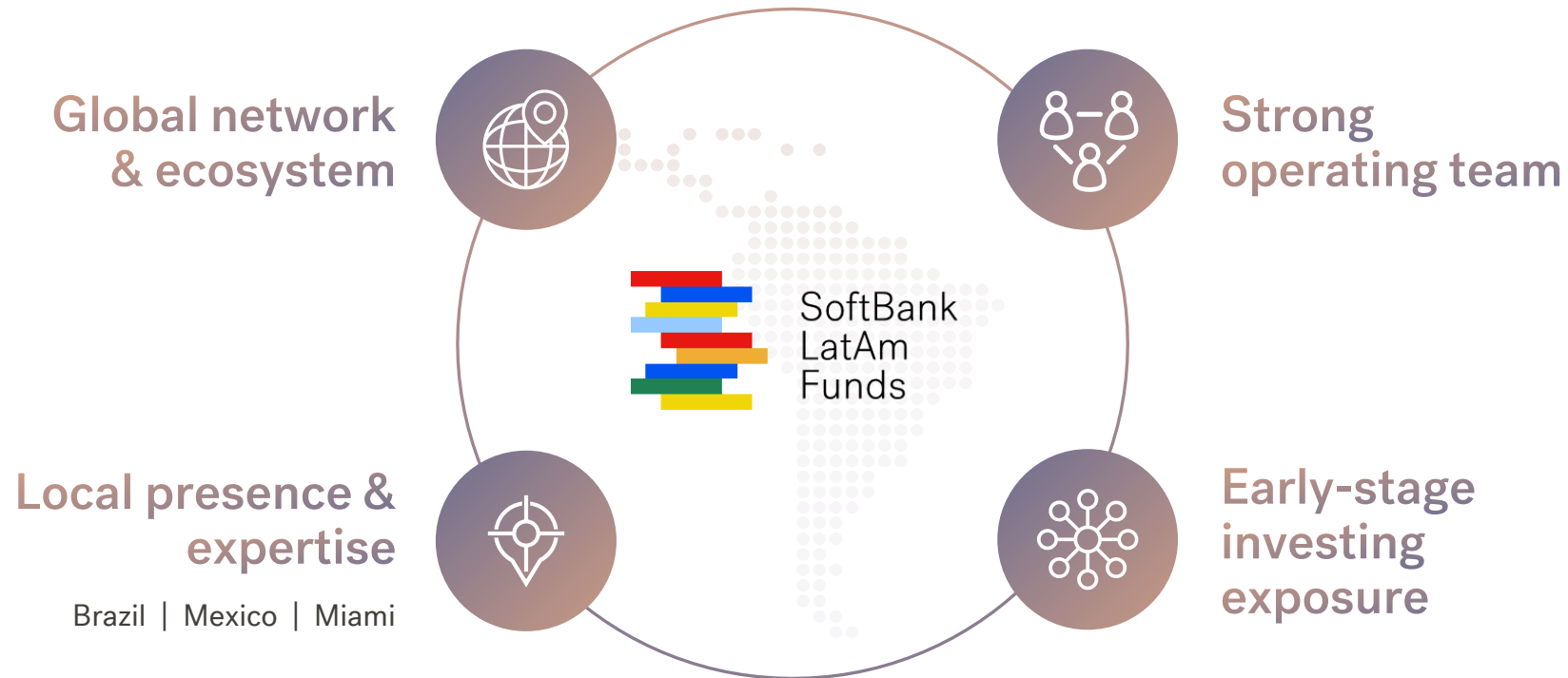
Footnotes:

1. Capital Deployed as of March 31, 2021 includes \$85.7B from SoftBank Vision Fund 1 and \$6.2B from SoftBank Vision Fund 2. Capital Deployed as of March 31, 2022 includes \$87.7B from SoftBank Vision Fund 1, \$46.9B from SoftBank Vision Fund 2, and \$7.0B from SoftBank LatAm funds.
2. IPOs as of March 31, 2021 includes 14 SoftBank Vision Fund 1 investments and 3 SoftBank Vision Fund 2 investments. IPOs as of March 31, 2022 includes 26 SoftBank Vision Fund 1 investments, 14 SoftBank Vision Fund 2 investments, and 6 SoftBank LatAm funds investments. WeWork and Full Truck Alliance are both SoftBank Vision Fund 1 and SoftBank Vision Fund 2 investments.
3. Distributions as of March 31, 2021 includes \$22.3B from SoftBank Vision Fund 1. Distributions as of March 31, 2022 includes \$38.7B from SoftBank Vision Fund 1 and \$8.6B from SoftBank Vision Fund 2.

The information provided herein is for illustrative purposes only and reflects the beliefs of SBIA as of the date of this presentation. There can be no assurance that the operations and/or processes of SVF 1, SVF 2 and SoftBank LatAm Funds described in this Presentation will continue throughout the life of SVF 1, SVF 2, SoftBank LatAm Funds, or any successor fund advised by SBIA, and such processes and operations may change. It should not be assumed that Investments made in the future will be comparable in quality or performance to the Investments described herein. Past performance is not necessarily indicative of future results.

The SoftBank LatAm Funds

OUR DIFFERENTIATORS



Partnering with entrepreneurs defining the future of Latin America



Footnotes:
1. The World Bank, 2020 GDP - Latin America & Caribbean.

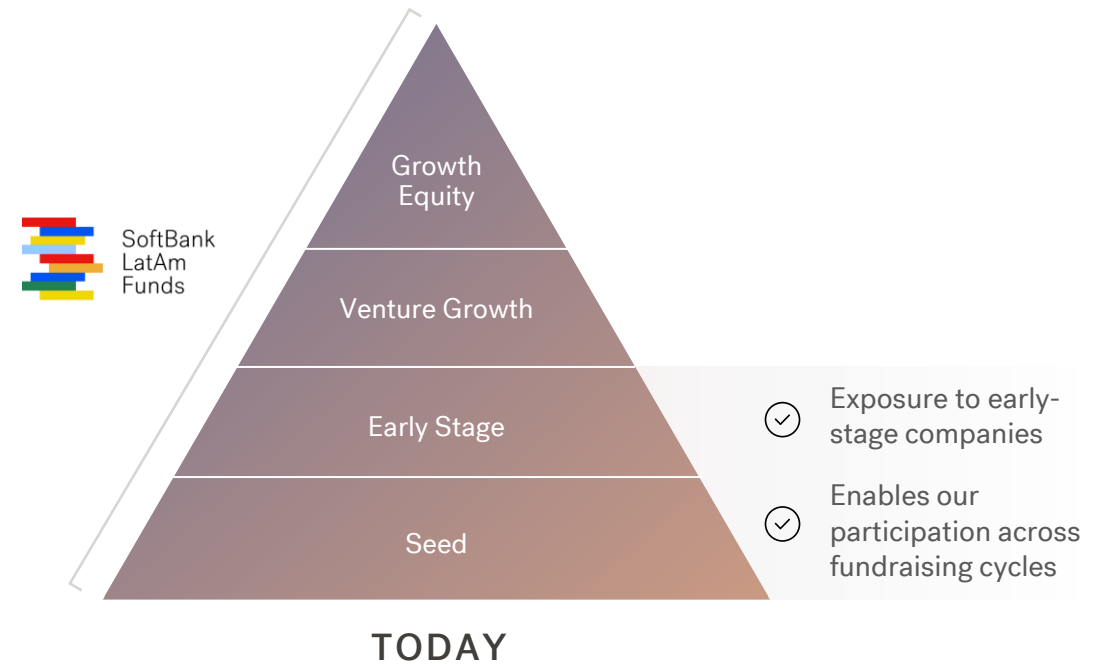
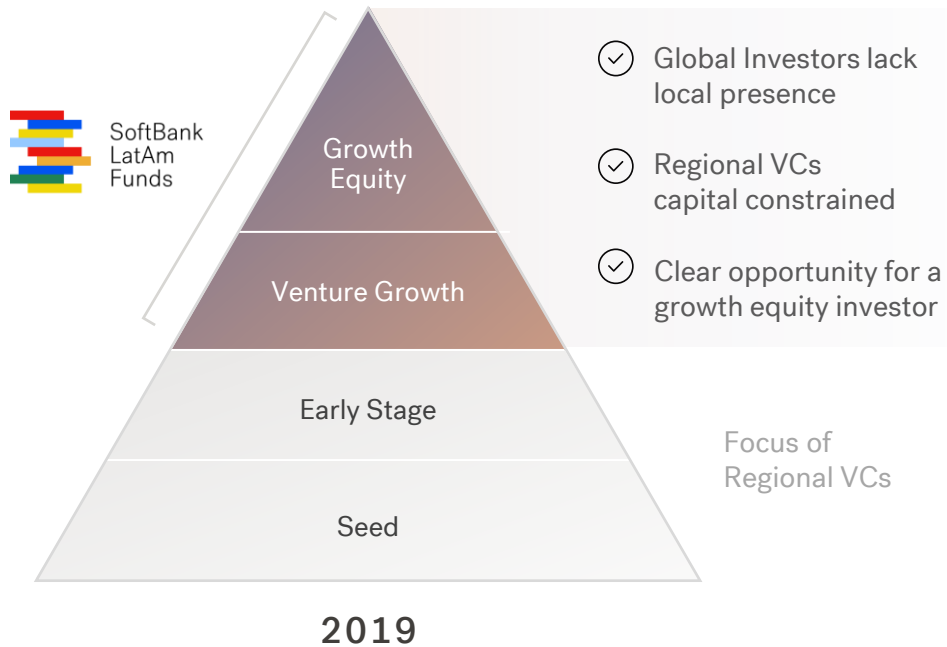
The information provided herein is for illustrative purposes only and reflects the beliefs of SBIA as of the date of this presentation. There can be no assurance that the operations and/or processes of SBIA and SoftBank LatAm Funds described in this Presentation will continue throughout the life of SoftBank LatAm Funds, or any successor fund managed by the Manager, and such processes and operations may change.

Our Investing Platform Spans Multiples Stages

As of March 31, 2022

Our multi-stage strategy is a unique and powerful differentiator

EVOLVING INVESTMENT STRATEGY



The information provided herein is for illustrative purposes only and reflects the beliefs of SBIA as of the date of this presentation. There can be no assurance that the operations and/or processes of SBIA and SoftBank LatAm Funds described in this Presentation will continue throughout the life of SoftBank LatAm Funds or any successor fund managed by the Manager, and such processes and operations may change.

Early Mover in a Market Ripe for Disruption

As of March 31, 2022

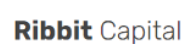


Active Global Investors

2019



2021



Annual VC Investment¹



Footnotes:

1. Source: PitchBook. Why 2021 was a breakout year for Latin America's VC ecosystem. December 2021.

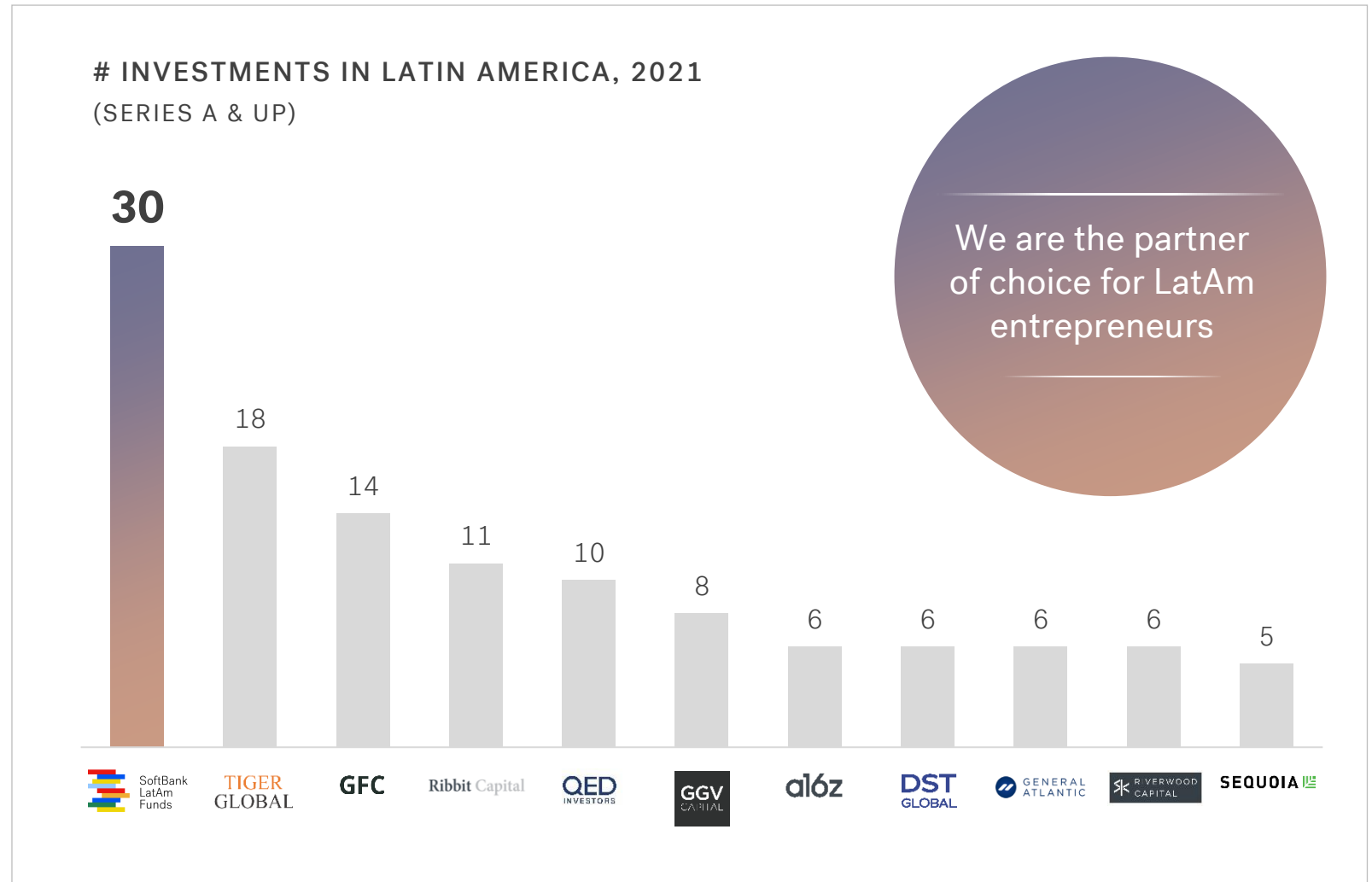
The information presented herein is provided for illustrative and informational purposes only and should not be relied upon in any way. The information provided herein is subject to change as well as uncertainties and risks. SBIA has no obligation to update any information. Third-party logos included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by or of such businesses. There is no guarantee that the Manager, SoftBank LatAm Funds, portfolio companies, or SoftBank will work with any of the businesses whose logos are included herein in the future. The comparables provided herein were selected by SBIA for illustrative purposes because SBIA believes that they present the most direct comparables in the industry within the relevant time period. Selection of such criteria is inherently subjective, and others might select other comparables based on their assessment of the market.

LATAM

A BROADENING INVESTMENT PLATFORM

The Leading Global Tech Investor in Latin America

As of March 31, 2022



Footnotes:
Source: Pitchbook & SBIA Analysis. Includes announced and completed 2021 investments. Rounds ranging from Series A to pre-IPO from international VC investors. April 2022.

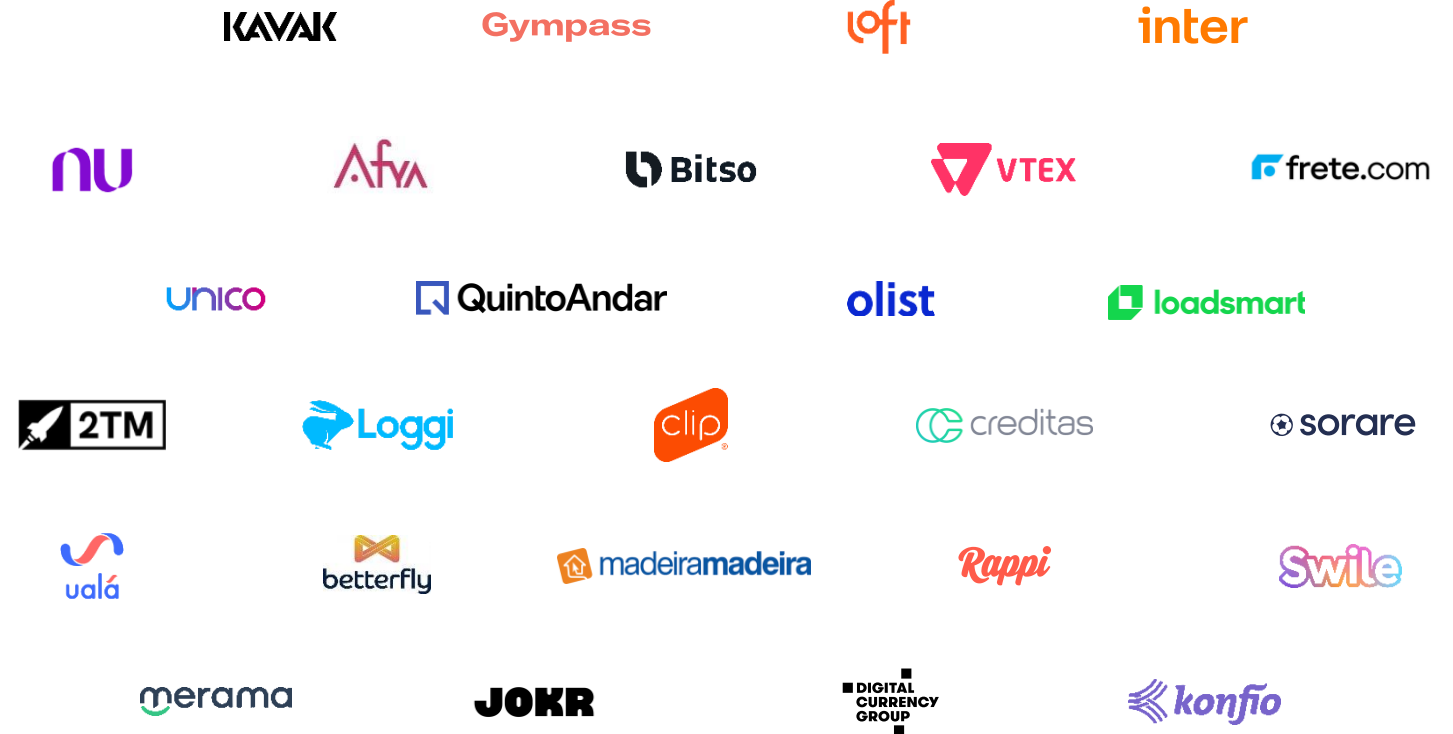
The information presented herein is provided for illustrative and informational purposes only and should not be relied upon in any way. The information provided herein is subject to change as well as uncertainties and risks. SBIA has no obligation to update any information. Third-party logos included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by or of such businesses. There is no guarantee that the Manager, SoftBank LatAm Funds, portfolio companies, or SoftBank will work with any of the businesses whose logos are included herein in the future. The comparables provided herein were selected by SBIA for illustrative purposes because SBIA believes that they present the most direct comparables in the industry within the relevant time period. Selection of such criteria is inherently subjective, and others might select other comparables based on their assessment of the market.

A BROADENING INVESTMENT PLATFORM

Invested in
32 Unicorns

As of March 31, 2022

Our portfolio of AI-enabled unicorns¹



1. Unicorns defined as investments with a value of over \$1B. Undisclosed investments logos are not included.

The Investments presented herein are solely for illustrative purposes, have been selected in order to demonstrate examples of SoftBank LatAm Funds Investments, and do not purport to be a complete list thereof. References to individual Investments should not be construed as a recommendation of any specific Investment or security. Please refer to www.latinamericafund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank LatAm Funds Investments.

SoftBank LatAm Funds Overview

As of March 31, 2022

103

Total
Investments¹

\$7.0B

Total Acquisition
Cost²

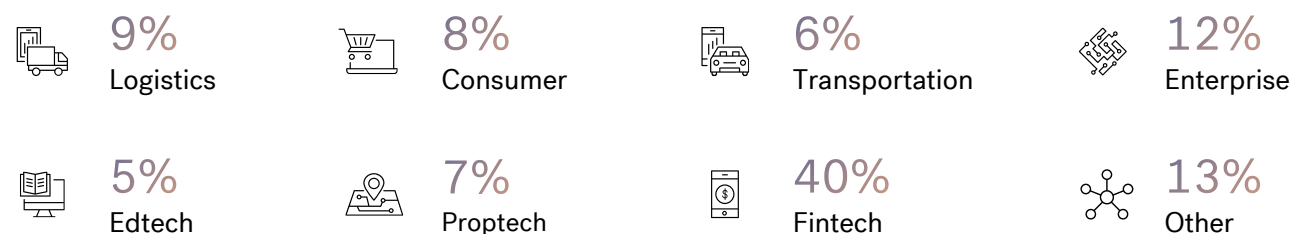
7

Current Public
Investments³

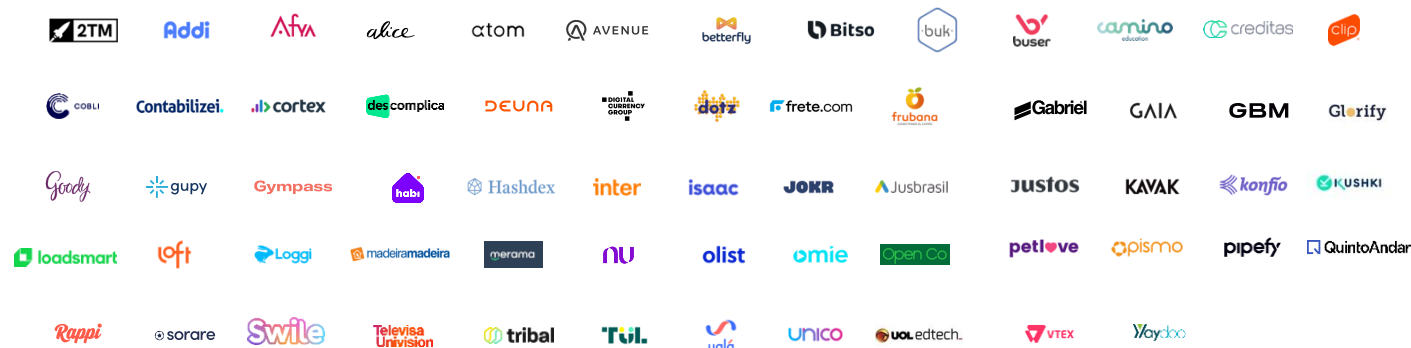
32%

Net Blended
IRR⁴

PORTFOLIO COST BY SECTOR (%)



SELECT INVESTMENTS



Footnotes:

- Total Investments includes Investments in portfolio companies made by SoftBank LatAm Funds and joint-ventures with existing portfolio companies from SoftBank LatAm Funds Inception to March 31, 2022. It does not include hedges related to the Investments. Total Investments includes both current and fully exited investments.
- Total Acquisition Cost includes cumulative cost from Inception of SoftBank LatAm Funds to March 31, 2022.
- Current Public Investments includes publicly listed portfolio companies that SoftBank LatAm Funds has not fully exited as of March 31, 2022.
- Latin America Funds ("LatAm Funds") segment reflects the aggregate performance of SBLA Latin America Fund LLC, including LatAm Fund 1 and LatAm Fund 2.. Net Blended IRR reflects the combined net performance of different classes of securities in the LatAm Funds structure, including Equity and Preferred Equity Interests, after taking into account management fees, performance fees, preferred equity coupon, operational expenses, organizational expenses and other expenses borne by the Limited Partners. It is computed using the Limited Partners' cash outflows (capital contributions) and inflows (distributions), net of investment-related financing, as well as the Net Asset Value as of March 31, 2022. It includes preferred equity coupon distributions and related accruals. Net Blended IRR (SBG (LP) + Manager's Performance Fee) reflects the Net Blended IRR specific to SBG's interests through SBLA, modified to reflect the additional impact of performance fee payments and related accruals from the perspective of the Manager, as applicable.

These highlights are provided solely for illustrative purposes. Past performance is not necessarily indicative of future results. Please refer to www.latinamericafund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank LatAm Funds Investments. Sector characterization has been determined by SBIA, and although SBIA believes that such determinations are reasonable, they are inherently subjective in nature. Latin America Funds have a limited operating history, and accordingly, performance information may not be representative and actual realized return on these unrealized investments may differ materially from the performance information indicated herein.

Powering the Next Generation of Underrepresented Founders

As of March 31, 2022

EMERGE ACCELERATOR

Our Emerge portfolio continues to grow, with further geographic expansion planned for 2022

2

Emerge Cohorts

22

Total Investments¹

300+

VC Partners



Blloc



kwara



Credrails



rebellyous
Foods



GAME JOLT



CALDO
RESTAURANT TECHNOLOGIES



OJAEXPRESS
BRINGING HOME TO YOUR HOME



SHYFT
POWER SOLUTIONS



Robin



juli



Fiat Republic



moment.ai



NODE



PROVEN



aquagenuity



BRIDGE TO COLLEGE



vitaance



pear bio



The Stack World



KONIKU



Mogul



SCRIPT HEALTH

Footnotes:

1. Total Investments includes Investments from Fund Inception to March 31, 2022.

The information presented herein is provided for illustrative and informational purposes only and should not be relied upon in any way. The information provided herein is subject to change as well as uncertainties and risks. SBIA has no obligation to update any information. Third-party logos included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by or of such businesses. There is no guarantee that the Manager, SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, SoftBank LatAm Funds, portfolio companies, or SoftBank will work with any of the businesses whose logos are included herein in the future outside of the Emerge program.

A Broadening Investment Platform



The Investment logos presented herein are solely for illustrative purposes, have been selected in order to demonstrate examples of SoftBank Vision Fund 2 investments, and do not purport to be a complete list thereof. References to individual Investments should not be construed as a recommendation of any specific Investment or security. Please refer to visionfund.com/portfolio and www.latinamericafund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and SoftBank LatAm Funds Investments. Sector characterization has been determined by SBIA, and although SBIA believes that such determinations are reasonable, they are inherently subjective in nature.

Thank You

